

事業報告書（令和5年度）

I 沿革

昭和10年10月	天理教校よのもと会により、よろづ相談所が開設され、医療・相談・厚生 の三部をおく。
昭和12年12月	私立病院開設認可。天理市別所町（旧丹波市町別所）において、内科・小 児科・眼科・レントゲン科の診療開始。結核療養所開設。
昭和15年2月	天理市川原城町（旧丹波市町川原城）に医療部のみ移転。 よろづ相談所結核研究所開設。
昭和41年3月4日	天理市三島町200番地（おやさとやかた西右第二、第三棟）において、財 団法人天理よろづ相談所開設の認可を受ける。 理事長 諸井慶五郎、身上部長・院長 山本俊平、事情部長 深谷忠政、 世話部長 東井三代次、院長補佐 柏原貞夫、事務部長 村上英雄。
昭和41年4月1日	開所式。
昭和41年4月1日	医師住宅田部荘竣工。（41. 3. 26入居開始）
昭和41年4月1日	医師住宅陽明寮、大同奈良土地(株)と賃貸借契約。（41. 3. 28入居開始）
昭和41年4月2日	業務開始。
昭和41年6月1日	「憩の家」月報創刊号発刊。
昭和41年7月7日	放射性同位元素使用許可。
昭和41年11月4日	コンゴブラザビル憩の家診療所開設。〔第一次医療班関係〕
昭和42年2月25日	天理高等看護学院を開設。
昭和42年3月14日	天理衛生検査技師学校を開設。
昭和42年4月1日	I・C・U 開設。（67病棟内に7床）
昭和42年6月14日	医師住宅おやさと8号館竣工。（42. 7. 2入居開始）
昭和42年10月14日	女子職員独身寮 別所荘新館竣工。（42. 11. 15入居開始）
昭和43年5月16日	医師住宅天理ビル譲渡契約。（43. 6. 29入居開始）
昭和43年7月16日	臨床研修を行う病院に指定。（以後継続）
昭和43年10月1日	日本医学放射線学会認定放射線科専門医修練機関。（以後継続）
昭和43年12月1日	事務部長 村上英雄 退任。後任：春野喜春。
昭和43年12月1日	男子職員独身寮おやさと1号館賃貸借契約。（43. 12. 14入居開始）
昭和44年4月28日	医学研究所動物研究室第一期工事完成。
昭和44年5月1日	天理よろづ相談所病院別所分院を開設。
昭和44年10月7日	日本医学図書館協会準会員加盟承認。
昭和44年9月9日	人工腎臓室開設。（60病棟内に6床）
昭和45年1月16日	医師住宅おやさと11号館竣工。（45. 1. 17入居開始）
昭和45年8月1日	日本脳神経外科学会認定医訓練場所。（以後継続）
昭和46年4月3日	日本内科学会認定内科専門医教育病院。（以後継続）
昭和46年5月1日	C・C・U 開設。（69病棟内に2床）

昭和46年 8 月31日 医師住宅陽明寮、大同奈良土地(株)から買収する。

昭和46年10月22日 職員住宅おやさと12号館第一期工事竣工。

昭和47年 2 月 3 日 職員住宅おやさと12号館第二期工事竣工。

昭和47年 3 月25日 理事長 諸井慶五郎、身上部長・院長 山本俊平 退任。
後任：理事長兼身上部長 東井三代次、事情部長 深谷忠政、
世話部長 橋本兼正、院長 山本利雄、副院長 柏原貞夫、
事務部長 春野喜春。

昭和47年 9 月 2 日 日本麻酔科学会麻酔教育指導病院。(以後継続)

昭和47年 9 月15日 第1回准看護婦予備試験実施。(以降毎年夏に実施)

昭和47年 9 月26日 相談センター開設。

昭和47年12月 1 日 職員就業規則(全文改正)施行。(47. 11. 1 適用)

昭和48年 4 月 1 日 天理医学技術学校(3年制)開校。

昭和48年 5 月 1 日 天理市立山の辺小学校および同北中学校養護学級担当教員訪問授業受入れ
について、天理市教育長と協定す。

昭和49年 3 月31日 天理衛生検査技師学校(2年制)廃止。

昭和49年 5 月30日 よろこび寮(准看学生寮)竣工。(49. 6. 2 入居開始)

昭和50年 2 月18日 世話部アメリカ事務取扱所の設置。

昭和50年 5 月 1 日 レジデント制度の実施。

昭和50年 6 月20日 仮設託児室開室。

昭和50年12月23日 南別館(許可病床92床)竣工。

昭和51年 1 月16日 南別館使用開始。(総合病棟92床)

昭和51年 3 月31日 仮設託児室、教庁託児所へ託児移管。

昭和51年11月15日 天理よろづ相談所別所分院管理棟の移築。(67床に変更)

昭和52年 3 月31日 第二よろこび寮(看護学院寮)の竣工。(52. 4. 3 入居開始)

昭和52年12月31日 別所分院特設修養科廃止。

昭和52年12月31日 コンゴブラザビル憩の家診療所閉鎖。

昭和53年 3 月25日 理事長 東井三代次、世話部長 橋本兼正、院長 山本利雄 退任。
後任：理事長兼身上部長 中山慶一、事情部長 深谷忠政、
世話部長兼事務局長 春野喜春、院長 柏原貞夫、
副院長 永田 誠・高橋 浩。

昭和53年 3 月25日 事務部を事務局と名称変更。

昭和54年 1 月 5 日 おやさとやかた西右第四棟(憩の家)起工式。

昭和54年 2 月27日 学校教育法に基づく専修学校(専門課程)の許可を天理高等看護学院、天
理医学技術学校の両校ともに受ける。認可に伴い天理高等看護学院は天理
看護学院と校名変更。

昭和54年 3 月31日 日本病理学会認定病院。(以後継続)

昭和54年 4 月 1 日 給与等銀行振込制度実施。

昭和54年10月 2 日 日本外科学会認定病院。(以後継続)

昭和55年 2月12日 医師住宅おやさと19号館竣工。(55. 3. 10入居開始)

昭和55年 4月19日 医師住宅おやさと11号館本部管財課へ移管。

昭和55年 9月11日 医師住宅田部荘本部管財課へ移管。

昭和55年12月 1日 世話部長兼事務局長 春野喜春 退任。後任：井上護国。

昭和56年 7月 1日 日本臨床病理学会臨床検査医研修施設。(以後継続)

昭和56年12月 1日 日本消化器内視鏡学会認定指導施設。(以後継続)

昭和56年12月 6日 日本胸部外科学会認定医認定制度指定施設。(以後継続)

昭和57年 3月23日 おやさとやかた西右第四棟(憩の家)上棟式。

昭和57年 6月 1日 天理よろづ相談所健康保険組合設立認可。(理事長 柏原貞夫)

昭和57年 6月 2日 機械棟電気室受電式。(57. 7. 15使用開始)

昭和57年11月 1日 玄関棟竣工。

昭和57年12月22日 北別館2階・3階増築完成。

昭和58年 4月 1日 おやさとやかた西右第四棟竣工。

昭和58年 4月11日 日本整形外科学会認定制度研修施設。(以後継続)

昭和58年 6月26日 理事長兼身上部長 中山慶一 退任。後任：松田元次。

昭和58年10月 1日 日本眼科学会専門医制度研修施設。(以後継続)

昭和58年11月 1日 おやさとやかた西右第四棟完成に伴い病棟再編成実施。

昭和59年 3月24日 日本耳鼻咽喉科学会認定専門医制度研修施設。(以後継続)

昭和59年 3月25日 事情部長 深谷忠政、世話部長兼事務局長 井上護国 退任。
後任：世話部長兼事務局長 中田武彦、事情部長 田辺教一。

昭和59年 5月 1日 南別館3階・4階教育研修棟使用開始。

昭和59年 5月 8日 心療内科診療開始。

昭和59年 9月 1日 外来部門全面禁煙区域の実施。(但し玄関棟に喫煙コーナー設置)

昭和59年11月 5日 日本医学図書館協会正会員加盟承認。
(天理よろづ相談所病院医学図書館に改称)

昭和59年11月13日 日本消化器外科学会専門医修練施設。(以後継続)

昭和60年 1月26日 天理看護学院3年制課程併設認可。
3年制課程：第一看護学科 2年制課程：第二看護学科。

昭和60年 4月 1日 コンピューターによる医事システム全面開始。

昭和60年 4月 6日 天理看護学院第一看護学科第一期生入学。

昭和60年 5月 1日 形成外科診療開始。

昭和60年 8月11日 天理看護学院第一看護学科予備試験開始。(准看護婦予備試験同日実施)

昭和61年 1月 1日 アテンディングドクター制度採用。

昭和61年 1月24日 天理教教祖百年祭に伴う救護活動実施。(至2月19日)

昭和61年 3月 3日 日本小児科学会認定医制度研修施設。(以後継続)

昭和61年 3月30日 第二よろこび寮(看護学院棟)増築完成。(昭61. 4. 5入居開始)

昭和61年 4月 1日 日本泌尿器科学会専門医教育施設。(以後継続)

昭和61年 4月 6日 創立20周年記念誌「よろづ相談所の歩み」発刊。

昭和61年 5 月 2 日 事情部長 田辺教一 退任。後任：榊井幸吉。

昭和62年 1 月19日 別所分院改築工事起工式。

昭和62年 3 月 7 日 **MR 棟**新築工事起工式。

昭和62年 4 月 1 日 日本皮膚科学会認定研修施設。(以後継続)

昭和62年 5 月28日 日本心身医学会認定医制度研修診療施設。(以後継続)

昭和62年 9 月25日 日本産婦人科学会認定医制度卒後研修指導施設。(以後継続)

昭和62年10月 3 日 別所分院竣工。(62. 11. 1 使用開始)

昭和62年10月 3 日 **MR 棟**竣工。(62. 11. 21使用開始)

昭和63年 1 月 5 日 日本形成外科学会認定医研修施設。(以後継続)

昭和63年 3 月29日 外国医師、外国歯科医師が臨床修練を行う病院に指定。

昭和63年 6 月30日 女子職員独身寮改修工事完了。(着工昭和62年11月 1 日)

昭和63年10月20日 日本消化器病学会認定施設。(以後継続)

昭和64年 1 月 1 日 日本肝臓学会認定医制度認定施設。(以後継続)

平成元年11月 8 日 日本呼吸器外科学会専門医制度認定施設。(以後継続)

平成 2 年 3 月31日 医師住宅陽明寮改修工事完了。(着工平成元年 9 月 1 日)

平成 2 年 3 月31日 日本血液学会認定医制度研修施設。(以後継続)

平成 2 年 4 月 8 日 日本胸部疾患学会認定医制度認定施設 (内科系)。(以後継続)

平成 2 年 4 月11日 薬品庫増築工事完了。(着工平成 2 年 2 月 1 日)

平成 2 年12月 1 日 新診療カード使用。再来受付機 6 台設置稼動。

平成 2 年12月 1 日 日本気管支学会認定医制度認定施設。(以後継続)

平成 3 年 2 月 1 日 新コンピューターによる医事・会計システム全面開始。

平成 3 年 4 月10日 日本胸部疾患学会認定医制度認定施設 (外科系)。(以後継続)

平成 3 年 4 月15日 コンピューターによる薬剤システム稼動。

平成 3 年 6 月 1 日 在宅療養支援開始・在宅世話どりセンター設置。

平成 3 年 6 月19日 杉本町医師住宅 (32戸) 新築工事起工式。(天理市杉本町382-1)

平成 3 年12月 1 日 当所単独電話交換室開設・交換業務開始。

平成 4 年 1 月13日 天理看護学院第一看護学科入学推薦試験実施。

平成 4 年 2 月 3 日 ドクターコール使用廃止。院内専用ポケットベル使用開始。

平成 4 年 4 月 1 日 4 週 5 休制実施。

平成 4 年 4 月 1 日 日本循環器学会循環器専門医研修施設。(以後継続)

平成 4 年 6 月 1 日 副院長 楠川禮造 就任。

平成 4 年 9 月23日 杉本町医師住宅おやさと24号館 (32戸) 竣工。(平 4. 10. 1 入居開始)

平成 5 年 3 月12日 天理看護学院長 奥村秀弘 就任。

平成 5 年 3 月25日 院長 柏原貞夫 退任。後任：楠川禮造。

平成 5 年 7 月12日 夏季休暇制度実施。(3 日間)

平成 5 年 7 月26日 外来者・身体障害者専用駐車場完備、使用開始。

平成 5 年12月16日 副院長 羽白 清・今中孝信 就任。

平成 6 年 1 月 1 日 日本核医学会認定医教育病院施設。(以後継続)

平成 6 年 1 月 17 日 路線バス（天理・奈良間）運行開始。（停留所名：憩の家病院）

平成 6 年 1 月 25 日 1 階診察室（投薬診察専用）使用開始。
〔内科（消・循・呼・分・神）眼科、耳鼻咽喉科〕

平成 6 年 5 月 25 日 医療廃棄物焼却処理システム完成・火入れ式執行。（6 月 1 日使用開始）

平成 6 年 6 月 1 日 4 週 6 休制実施。（週実働 39.5 時間）

平成 6 年 10 月 28 日 入院患者に対する適時適温給食実施。

平成 6 年 11 月 1 日 病棟面会時間延長実施。（午後 2 時～午後 7 時）

平成 6 年 11 月 15 日 別所分院正面玄関等移転工事着工。（竣工平成 7 年 3 月 31 日）

平成 6 年 12 月 28 日 わらく荘（天理市指柳町 318-1）25 戸 医師住宅として使用開始。

平成 7 年 1 月 20 日 阪神・淡路大震災被災地へ医師、看護婦他 医療班派遣・神戸市長田保健所管内にて 2 月 6 日まで 7 班延 51 名従事。

平成 7 年 2 月 7 日 同・奈良県対策本部医療救護班（奈良県病院協会チーム）として東灘保健所管内にて 2 月 13 日まで 3 班延 15 名従事。

平成 7 年 2 月 10 日 南別館 3 階・外来（泌尿器科・形成外科・皮膚科）転用のため改修工事着工。（完工 6 月中旬予定）

平成 7 年 4 月 15 日 ヴィラ・キッポー（天理市三島町 154-8）24 戸
ジュニアレジデント宿舎として使用開始。

平成 7 年 5 月 1 日 天理よろづ相談所健康保険組合「いこい健保だより」創刊。

平成 7 年 5 月 2 日 事情部長 梶井幸吉 退任。後任：高橋一男。

平成 7 年 5 月 17 日 天理看護学院・天理医学技術学校新校舎建築起工式。（天理市別所町 80-1）

平成 7 年 6 月 24 日 南別館 3 階・外来（泌尿器科・形成外科・皮膚科）診療開始。

平成 7 年 9 月 4 日 外来者用スリッパ洗浄システム完成・始動開始。

平成 7 年 10 月 3 日 日本透析医学会認定医制度認定施設。（以後継続）

平成 7 年 10 月 23 日 外科外来（心臓血管外科・胸部外科・脳神経外科）四棟移転・診療開始。

平成 7 年 11 月 27 日 日本糖尿病学会認定教育施設。（以後継続）

平成 7 年 12 月 11 日 内科外来（消内・血内・分内）及び眼科 2 診 旧外科外来に移転・診療開始。

平成 7 年 12 月 15 日 天理よろづ相談所健康保険組合体育館新築工事起工式。（天理市指柳町 312-1）

平成 8 年 3 月 18 日 第 2 専門外来・神経内科 旧泌尿器科外来に移転・診療開始。

平成 8 年 3 月 25 日 理事長兼身上部長 松田元次 退任。後任：深谷善和。
世話部長 中田武彦、事情部長 高橋一男、事務局長 今村俊三。

平成 8 年 4 月 26 日 開設 30 周年記念年譜（昭和 61 年～平成 7 年）発行。

平成 8 年 6 月 1 日 副院長 鍋島祥男・新納京子 就任。

平成 8 年 9 月 1 日 天理看護学院・天理医学技術学校新校舎竣工。

平成 8 年 10 月 4 日 天理よろづ相談所健康保険組合体育館竣工。

平成 9 年 3 月 31 日 MR 装置 1.5 テスラ更新。（4 月 2 日使用開始）

平成 9 年 4 月 1 日 財団事務局に「憩の家ひのきしんセンター」設置。

平成9年4月1日 日本神経学会教育認定施設。(以後継続)

平成9年4月1日 放射線科を放射線部と改め診断、治療、RI、MRの四部門で構成。

平成9年6月8日 天理よろづ相談所健康保険組合理事長 奥村秀弘 就任。

平成9年7月22日 「夏休みふれあい看護一日体験(高校生対象)」実施。(至8月22日)

平成9年9月1日 天理医学技術学校長 奥村秀弘 就任。

平成10年4月1日 人工腎臓室を改め透析センターと名称変更。

平成10年4月1日 事務部門に人事課を新設。給食課を栄養課に名称変更。

平成10年4月1日 日本ハイパーサーミア学会認定施設。

平成10年6月17日 脳ドック(日帰り)の開設。

平成10年7月8日 西右二棟各階浴室改修工事完了・使用開始。

平成10年7月15日 日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設。

平成10年7月27日 非血縁者間骨髄移植採取施設。

平成10年8月1日 40B病棟観察室(稼働10床)設置・使用開始。

平成10年8月7日 三棟地下放射線部リニアック室増築工事着工。(竣工平成11年10月12日)

平成10年8月21日 桜井市に憩の家研修資料室設置・使用開始。

平成10年10月1日 コンピューターによる歯科システム稼動。

平成10年12月25日 学術雑誌「天理医学紀要」創刊号発行。

平成11年1月4日 入退院動態モニターシステム導入・稼動。

平成11年3月25日 理事長兼身上部長 深谷善和 退任。後任：畑林清次。
院長 楠川禮造 退任。後任：奥村秀弘(身上部長兼任)。

平成11年4月1日 事務部門に医療情報課を新設。

平成11年4月1日 歯科医師臨床研修施設。

平成11年4月1日 感染症新法に基づく小児科、インフルエンザ、基幹病院、定点医療機関指定。

平成11年4月1日 第二種エネルギー管理指定工場指定。

平成11年5月1日 献血センター移転。(南別館1階東側)

平成11年6月30日 言語外来移転。(南別館1階東側)

平成11年8月1日 財団事務局ひのきしんセンターを世話部に所管変更。

平成11年8月6日 看護婦・士予備試験を単独で実施。今回より准看護婦予備試験を廃止。

平成11年8月28日 第1回憩の家健康感謝祭開催。

平成11年8月30日 天理よろづ相談所医の倫理委員会発足。

平成11年9月2日 脳死による臓器提供施設指定受諾。

平成11年10月12日 三棟地下放射線部に放射線治療システムリニアック「CLINAC 2300C/D」稼動。

平成11年12月25日 第3外来駐車場新設使用開始。(100台)

平成12年1月26日 ノーマイカーデー完全実施。(毎月26日)

平成12年5月1日 天理よろづ相談所病院「法的脳死判定マニュアル」承認。

平成12年5月1日 日本臍帯血バンク登録。

平成12年 5 月22日 臨床病理部に輸血管理室設置。

平成12年 7 月 1 日 新医事会計・薬剤処方及び調剤システム開始。

平成12年 7 月 1 日 夜間勤務等看護加算算定開始及び 4 階・5 階・6 階 A・B 病棟を 0・1 にそれぞれ名称変更。(例40A→40、40B→41)

平成12年 7 月 1 日 レジデントの院外研修開始。(奈良県山添村波多野診療所にて外来研修週 1 回)

平成12年 8 月21日 憩の家リーフレット作成。

平成13年 1 月16日 56病棟、66病棟内特別室使用開始。

平成13年 1 月31日 副院長 太田 茂 就任。

平成13年 2 月 1 日 外来患者情報提供(お薬説明書)開始。

平成13年 3 月30日 天理医学技術学校に臨床工学専攻科増設。

平成13年 3 月31日 MR 装置1.5テスラ更新。(4 月 2 日使用開始)

平成13年 3 月31日 理事長 畑林清次 退任。

平成13年 4 月 1 日 理事長 中田武彦 就任。(世話部長兼任)

平成13年 4 月 1 日 事務局栄養課を診療補助部門栄養部に変更。

平成13年 5 月 1 日 クリーンルーム(2 床)使用開始。

平成13年11月 1 日 新救急外来使用開始。

平成13年11月21日 日本放射線腫瘍学会施設。(以後継続)

平成13年12月12日 寄附行為一部改訂。(役員定数及び任期)

平成14年 1 月15日 憩の家リーフレットの英訳版完成。

平成14年 2 月16日 天然ガス導入整備工事竣工式。

平成14年 2 月21日 院内インターネットサービス開始。

平成14年 3 月 1 日 女子職員独身寮「別荘新館」を世話部所管とする。

平成14年 3 月 1 日 法律改正に伴い「看護婦」を「看護師」の呼称に統一。

平成14年 3 月14日 「白川分院」新築工事起工式。

平成14年 3 月31日 副院長 新納京子 退任。

平成14年 4 月 1 日 憩の家ホームページ開設。

平成14年 5 月15日 管理栄養士初任者臨床研修病院。

平成14年 6 月10日 「診療記録等に関する院内規約」作成。

平成14年 9 月19日 第28回日本診療録管理学会 主催。(なら100年会館 学会長 奥村秀弘)

平成14年10月 1 日 郵便貯金自動預払機(ATM)設置。

平成15年 1 月 1 日 「診療助手」の名称を「臨床事務」に名称変更。

平成15年 3 月24日 新外来カルテ管理システム稼動。

平成15年 3 月29日 講堂に本部神殿写真パネル設置。

平成15年 3 月31日 よろこび寮閉寮。

平成15年 3 月31日 副院長 鍋島祥男 退任。

平成15年 4 月 1 日 副院長 松末 智 就任。

平成15年 4 月 1 日 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構認定修練施設。

平成15年 4 月 1 日 日本臨床細胞学会施設。
平成15年 4 月 1 日 医療安全管理室 開室。
平成15年 4 月15日 医療安全管理マニュアル第2版 総論 改訂。
平成15年 4 月24日 医事課入院計算室移設。(医事課カウンター内へ)
平成15年 6 月30日 「白川分院」竣工。
平成15年 7 月 7 日 「白川分院」を開設。(療養病床100床、精神科病床43床)
平成15年 7 月 7 日 本院病床再編成。(1,001床から815床へ)
平成15年 7 月10日 胸部外科の名称を呼吸器外科に変更。
平成15年 7 月12日 白川分院礼拝棟 神実様鎮座祭。
平成15年 8 月28日 男子独身寮「おやさと一号館」竣工。(平成15.9.1開寮)
平成15年 8 月31日 天理看護学院長 奥村秀弘 退任。
平成15年 9 月 1 日 事情部講師ユニフォーム更新。
平成15年 9 月 1 日 別所分院。(40床から30床へ)
平成15年 9 月 1 日 天理看護学院長 山中忠太郎 就任。
平成15年 9 月 8 日 日本アレルギー学会教育施設。
平成15年11月 1 日 地域医療連携室 開室。
平成15年11月11日 「新外来棟」起工式。
平成16年 1 月 1 日 白川分院 B 棟 2 階開放病棟(43床)使用開始。
平成16年 3 月25日 理事長兼世話部長 中田武彦 退任。後任：理事長 横山一郎。(事情部長兼任)、世話部長 諸井博和。
事務局長 今村俊三 退任。後任：諸井博和。(兼任)
平成16年 4 月 1 日 就業規則一部改訂。
平成16年 4 月 1 日 日本周産期・新生児医学会専門医制度指定研修施設。
平成16年 4 月 5 日 透析センターを腎透析科(血液浄化センター)に名称変更。30病棟改造。
(血液浄化センター、混合病棟共用開始)
平成16年 4 月11日 医療情報課を診療情報課へ、電算室を医療情報システムセンターに名称変更。
平成16年 5 月 1 日 2階外来に心療内科診察室を増設。2階栄養指導室を1階玄関棟内慢性外来へ移設。
平成16年 5 月 1 日 北別館1階動物舎を会議室に改修。
平成16年 6 月 1 日 事情部長 中山慶純 就任。
平成16年 6 月21日 天理医学技術学校 臨床検査学科定員40名から30名に変更。
平成16年 8 月31日 日本静脈経腸栄養学会「NST(栄養サポートチーム)稼動施設」。
平成16年10月 1 日 レジデントの院外研修場所の変更、奈良県山添村波多野診療所から東山診療所へ。(外来研修週1回)
平成16年12月 1 日 喫茶コーナー改修。
平成17年 2 月11日 日本脳卒中学会研修教育病院。
平成17年 3 月31日 天理看護学院2年生課程：第二看護学科閉科。

平成17年 3 月31日 「別所分院」閉院。

平成17年 4 月 1 日 天理看護学院助産師養成課程（助産学科）設置。

平成17年 4 月 1 日 憩の家めばえ託児所開所。

平成17年 5 月 1 日 理事長兼事情部長 横山一郎、世話部長 中山慶純、事務局長 諸井博和。

平成17年 5 月 1 日 セカンドオピニオン外来開設。

平成17年 5 月17日 治験管理室設置。

平成17年 8 月27日 日本アレルギー学会教育施設（皮膚科）。

平成17年10月31日 「外来診療棟」竣工引渡式。

平成17年11月 5 日 天理教教会本部電話交換機から天理よろづ相談所単独の交換機に切り替え。

平成17年12月16日 職員名札の変更。

平成18年 1 月 1 日 オーダリングシステム導入。

平成18年 1 月 1 日 認定臨床微生物検査技師制度研修施設。

平成18年 1 月10日 「外来診療棟」落成真柱様お入り込み。

平成18年 1 月16日 「外来診療棟」を開設。

平成18年 1 月25日 日本静脈経腸栄養学会「栄養サポートチーム専門療法士。認定規則」実施修練認定教育施設。

平成18年 3 月 1 日 事務局長 諸井博和 退任。

平成18年 3 月25日 事務局長 中山慶純 就任。（世話部長兼任）

平成18年 3 月31日 おやさと12号館閉鎖。

平成18年 4 月 1 日 日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設。

平成18年 9 月 1 日 日本栄養療法推進協議会認定「NST（栄養サポートチーム）稼動施設」。

平成18年10月 5 日 日本感染症学会研修施設。

平成18年10月10日 注射薬自動払い出し機（ピッキングマシーン）稼動。

平成18年10月27日 医療安全管理室 南別館 3 階へ移設。

平成19年 1 月 1 日 救急外来、ICU、手術室オーダリングシステム稼動。

平成19年 1 月 5 日 本館 1 階改修工事完成（玄関棟撤去、救急外来、玄関ホール改修）10病棟（救急病棟）新設。

平成19年 3 月28日 別所研修棟女子独身者用ワンルームマンション使用開始。

平成19年 4 月 1 日 レセプトオンライン請求開始。

平成19年 5 月 2 日 第 4 血管撮影室増設。

平成19年 6 月 1 日 別所荘新館閉館。

平成19年 6 月 1 日 憩の家小田中レディースマンション、憩の家三島レディースマンション使用開始。

平成19年 7 月 1 日 DPC 準備病院。

平成19年 8 月 1 日 「患者の権利と義務憲章」を公示。

平成19年 9 月10日 本館 6 階泌尿器科 X 線検査室増設。

平成19年10月 1 日 日本心療内科学会専門医研修施設。

平成19年11月 1 日 日本がん治療認定医機構認定研修施設。

平成19年11月12日 ステントグラフト実施施設。

平成19年12月 3日 外来診療棟診療費クレジット支払機設置。

平成20年 1月 1日 日本乳癌学会関連施設。

平成20年 2月 1日 日本食道学会全国登録認定施設。(放射線部・消化器内科・腹部一般外科)

平成20年 2月 8日 地域がん診療連携拠点病院指定。

平成20年 2月18日 外来診療棟が「住みよい福祉のまちづくり施設賞」最優秀賞受賞。

平成20年 3月27日 肝疾患に関する医療圏中核専門医療機関。

平成20年 5月11日 放射線画像参照用モニタシステム 全館に配置。

平成20年 5月12日 C-アーム型エックス線テレビ装置導入。

平成20年 5月16日 職員を対象とする「こころの相談室」開設。

平成20年 9月 1日 呼吸器の内科・外科病棟を統合。

平成20年 9月29日 東芝・全身用エックス線 CT 更新導入。

平成20年12月 2日 本館 2 階旧外来診察に医療相談室・がん相談支援センター・地域医療相談室を移設。

平成21年 1月15日 本館の携帯電話使用許可エリアを指定。

平成21年 3月26日 世話部長兼事務局長 中山慶純 退任。

平成21年 4月 1日 世話部長 横山一郎 (理事長、事情部長兼任)、事務局長 諸井忠喜 就任。

平成21年 4月 1日 DPC 指定病院。

平成21年 9月 1日 「天理医療大学 (仮称)」設立準備室開設。

平成21年 9月15日 「別所よろこび寮」女子学生独身寮竣工。(平成21. 9. 24開寮)

平成21年 9月15日 「緩和ケア外来」開設。

平成21年11月 2日 精神神経科外来を白川分院に移転。

平成21年12月14日 「自己血外来」開設。

平成22年 3月15日 奈良県神経難病医療専門協力病院。

平成22年 4月30日 院長代行 太田 茂 退任。

平成22年 5月 1日 副院長 石井 均・庄司和彦 就任。

平成22年 7月25日 よろこび寮解体工事完了。

平成22年 9月22日 がん患者サロン “サロンいこい” 開設。(毎月第 4 水曜日)

平成22年12月 6日 46病棟にクリーンルーム 2 床設置。(旧クリーンルーム 2 床は一般病床へ)

平成22年12月 9日 看護師、臨床検査技師養成所の「学生募集中止届出書」提出。

平成22年12月17日 公益法人移行申請認定書を内閣府に提出。

平成22年12月31日 世話部長 横山一郎 退任。(理事長、事情部長兼任)

平成23年 1月 1日 世話部長 諸井忠喜 就任。(事務局長兼任)

平成23年 1月 1日 救急診療科開設。(近隣 4 病院と病病連携開始)

平成23年 1月 1日 病院敷地内全面禁煙を実施。

平成23年 2月 1日 ホームページリニューアル。

平成23年 3月31日 副院長 (兼) 白川分院長 松末 智 退任。

平成23年 3月31日 奈良県赤十字血液センター 天理出張所閉鎖。

平成23年 3 月31日 学校法人天理よろづ相談所学園寄附行為認可申請・天理医療大学設置認可申請を文部科学省に提出。

平成23年 4 月 1 日 白川分院長 郡 義明。(副院長兼任)、事務局長 前川安博 就任。

平成23年 4 月 8 日 東日本大震災(平成23年 3 月11日発生)被災地へ奈良県医療救護班第 6 班として、宮城県気仙沼市立小原木中学校診療所へ医師、看護師他 医療班派遣・同診療所を中心に 4 月12日まで 8 名従事。

平成23年 5 月30日 内閣総理大臣(菅 直人)より「公益財団法人天理よろづ相談所」と認定。

平成23年 6 月 1 日 法人名「公益財団法人天理よろづ相談所」と改称し登記。

平成23年 6 月 2 日 公益財団法人 第 1 回理事会開催。

平成23年 6 月15日 公益財団法人 第 1 回評議員会開催。

平成23年10月24日 文部科学省大臣より「学校法人天理よろづ相談所学園 天理医療大学」設立認可。理事長 奥村秀弘、学長 吉田 修 就任。

平成23年10月26日 「学校法人天理よろづ相談所学園 天理医療大学」登記完了。

平成23年11月30日 「新入院棟」建築起工式。(天理市別所町)

平成23年12月 1 日 被災県福島県より医師派遣要請により JA 福島厚生連鹿島厚生病院へ医師派遣開始。

平成23年12月31日 院長 奥村秀弘 退任。

平成24年 1 月 1 日 総長 奥村秀弘 就任。(身上部長兼任)

平成24年 1 月 1 日 院長 上田裕一 就任。(医学研究所長兼任)

平成24年 2 月29日 世話部長 諸井忠喜 退任。

平成24年 3 月 1 日 世話部長 上田純治 就任。(事務部長兼任)

平成24年 4 月 3 日 「学校法人天理よろづ相談所学園 天理医療大学」開学式および第 1 期生入学式。(看護学科74名・臨床検査学科31名、計105名入学)

平成24年 6 月 1 日 白川分院 A 棟に「回復期リハビリテーション病棟」開設。

平成24年 8 月 1 日 外来診療棟に「入院案内センター」開設。

平成24年 8 月 1 日 外来化学療法室を 9 床より20床に増床。

平成25年 4 月 1 日 「病理診断部」開設。及び「臨床病理部」を「臨床検査部」と改称。

平成25年 4 月 1 日 「心カテセンター」を「心臓カテーテルセンター」と改称。

平成25年 4 月 1 日 「小児科循環器センター」を閉鎖し「先天性心疾患センター」開設。

平成25年 6 月30日 事情部長 横山一郎 退任。(理事長・事情部相談役兼任)

平成25年 7 月 1 日 事情部長 濱田道仁 就任。

平成25年 7 月13日 「白川分院」開設10周年記念祭執行。

平成25年 8 月31日 院長 上田裕一 退任。

平成25年 9 月 1 日 院長 太田 茂 就任。(医学研究所長兼任)

平成25年 9 月30日 副院長 石井 均 退任。

平成25年10月 1 日 副院長 山中忠太郎・金子嘉志 就任。

平成25年11月30日 「新入院棟(東病棟・西病棟)」竣工引渡式。

平成26年 1 月12日 「新入院棟(東病棟・西病棟)」落成 真柱様お入り込み。

平成26年 2 月 1 日 「新入院棟（東病棟・西病棟）」を開設。（許可病床512床）

平成26年 2 月 1 日 「本館（南病棟）」病床再編成。（815床から303床へ）

平成26年 2 月 1 日 西病棟に「脳卒中センター」開設。

平成26年 3 月14日 「天理看護学院」閉校式執行 真柱様お入り込み。

平成26年 3 月22日 「天理医学技術学校」閉校式執行 真柱様お入り込み。

平成26年 4 月 1 日 レジデントの院外研修場所の変更、大西内科医院から松村医院へ。

平成26年 9 月 1 日 「呼吸管理センター」開設。

平成26年10月17日 外来診療棟に「外来棟リハビリテーション室」開設。

平成26年10月17日 外来腹部外科点滴室45を改修、「外来棟生理検査室」を併設。

平成27年 1 月30日 南44病棟（旧46病棟）クリーンルーム 2 床より 6 床に増床。

平成27年 4 月23日 南44病棟（旧46病棟）クリーンルーム 6 床より 8 床に増床。

平成27年 6 月 1 日 心療内科閉鎖に伴い届出診療科取下げ、「腹部一般外科」を「消化器・一般外科」と改称。

平成27年 6 月10日 ダヴィンチ指導施設認定。

平成27年 8 月11日 南44病棟（旧46病棟）クリーンルーム 8 床より12床に増床。

平成27年11月 1 日 「腹腔鏡センター」開設。

平成28年 1 月 1 日 めばえ託児所を三棟 3 階（旧38病棟）へ移設。

平成28年 3 月12日 「学校法人天理よろづ相談所学園 天理医療大学」第 1 期生卒業式。
（看護学科61名・臨床検査学科29名、計90名卒業）

平成28年 3 月22日 電子カルテシステム導入。

平成28年 3 月25日 事情部長 濱田道仁、世話部長 上田純治 退任。（事務部長兼任）

平成28年 3 月26日 事情部長 永尾信雄、世話部長 高橋道一 就任。

平成28年 4 月 1 日 「わかぎ学童保育所」三棟 3 階（旧39病棟）開設。

平成28年 4 月 1 日 めばえ託児所兼わかぎ学童保育所施設長 高橋道一 就任。（世話部長）

平成28年 5 月 1 日 公益財団法人 天理よろづ相談所「憩の家」開設50周年記念式典 執行。

平成28年 5 月 2 日 理事長兼事情部相談役 横山一郎 退任。

平成28年 5 月 2 日 理事長 山田清太郎 就任。

平成28年 7 月 開設50周年記念誌「よろづ相談所のあゆみ 第Ⅱ号」発刊。

平成28年 8 月 1 日 「消化器・一般外科」を「消化器外科」と改称。

平成28年12月 6 日 「在宅世話どりセンター」二棟 1 階（旧救急病棟）へ移設。

平成28年12月12日 「健康管理室」二棟 1 階（旧救急外来）へ移設。

平成28年12月22日 「看護部事務室」「看護支援室」二棟 2 階（旧整形外来）へ移設。

平成28年12月25日 「事情部分室」二棟 1 階（旧救急外来）開設。

平成29年 1 月 1 日 「かかりつけ医ネットワーク」開設。

平成29年 2 月20日 「健康保険組合」二棟 1 階（旧救急外来）へ移設。

平成29年 3 月31日 院長 太田 茂、事務局長 前川安博 退任。

平成29年 4 月 1 日 院長 山中忠太郎（医学研究所長兼任）、副院長 田口善夫（呼吸器内科部長兼任）、事務局長 辰巳慶三 就任。

平成29年 5 月 1 日 「本館（南病棟）」病床再編成。（303床から203床へ）

平成29年 5 月 1 日 南26病棟（全室個室）10床運用開始。

平成29年 7 月31日 副院長（兼）白川分院長 郡 義明 退任。

平成29年 8 月 1 日 副院長（兼）白川分院長 西村 理 就任。

平成29年11月 1 日 「IVR センター」開設。

平成30年 1 月 1 日 「肝臓センター」開設。

平成30年 1 月 1 日 新部長室（おやさとやかた西右第三棟 6 階）運用開始。

平成30年 2 月 5 日 東西病棟 3 階に「東西棟リハビリテーション室」開設。

平成30年 3 月31日 身上部長・総長 奥村秀弘 退任。

平成30年 4 月 1 日 身上部長・院長 山中忠太郎 就任。

平成30年 4 月 1 日 副院長 奥村和弘・中川義久 就任。

平成30年 4 月 1 日 標榜診療科「緩和ケア内科」の届出。

平成30年 4 月 1 日 「患者総合支援センター」開設。

平成30年 4 月 1 日 「レジデントセンター」を「卒後臨床研修センター」と改称。

平成30年 7 月 第 2 土曜日の外来診療休診。（4 週 7 休制実施）
ホームページリニューアル。（スマートフォン対応）

平成30年 7 月 2 日 緩和ケア病棟（南26病棟）開設。

平成30年 8 月 1 日 白川分院 B 2 病棟43床を返床し「精神科・ショートケア」開設。（186床から143床へ）
「治験管理室」を「臨床研究支援室」と改称。

平成30年 9 月 1 日 「神経内科」を「脳神経内科」と改称。

平成30年 9 月25日 「医学図書館」二棟 4 階（旧南24病棟）へ移設。

平成30年11月30日 副院長（兼）循環器内科・栄養部部長 中川義久 退任。

平成30年12月 1 日 「心不全センター」開設。

平成31年 3 月31日 副院長（兼）看護部長 阪井眞利子 退任。

平成31年 4 月 1 日 医師事務作業補助者（専従）の導入に伴う「診療支援室」の設置。

平成31年 4 月 1 日 夏季休暇をリフレッシュ休暇へ名称変更。（取得日数：3 日間、取得期間：5 月から12月）

平成31年 4 月 1 日 年次有給休暇 5 日取得義務化。

平成31年 4 月 1 日 「臨床工学部」の設置。

平成31年 4 月 1 日 「IVR センター」を「放射線部 IVR 部門」と改称。

令和元年 6 月 病院マネジメント強化プロジェクト始動。

令和元年 7 月 1 日 副院長（兼）白川分院長 西村 理 退任。
副院長（兼）白川分院長 日村好宏 就任。

令和元年 7 月 1 日 「在宅世話どりセンター」を白川分院へ移転。

令和元年 8 月24日 電話交換機更新。

令和元年 9 月25日 給与支給明細の電子交付開始。

令和元年 9 月25日 「ファミリーマート」開店しイートインコーナーを併設。（東西病棟）

令和元年10月1日 フレックスタイム制導入開始。

令和元年10月1日 東西病棟玄関前有料駐車場運用開始。(駐車台数：47台)

令和元年11月1日 医師勤怠管理システムを構築し、運用開始。

令和元年11月9日 大規模災害対策訓練「第1回 院内メディカルラリー」実施。

令和元年11月12日 「ファミリーマート」開店。(外来診療棟)

令和元年12月16日 「病理診断部」を三棟6階へ移設。

令和元年12月31日 南別館を閉鎖。

令和2年2月1日 がんゲノム医療支援センター設置。

令和2年2月22日 新型コロナウイルス感染症の流行「発熱外来」を設置。

令和2年3月9日 奈良県より「帰国者・接触者外来」指定を受け、3月16日より運用開始。

令和2年3月31日 副院長(兼)医療情報システムセンター長、診療支援室長 庄司和彦 退任。

令和2年4月1日 副院長 秋山義典 就任。

令和2年4月1日 南病棟防災センターが管理課内に設置。

令和2年4月13日 奈良県より「新型コロナウイルス感染症疑い患者受入協力医療機関」の指定を受け、運用開始。

令和2年4月13日 東3病棟(1床)で「新型コロナウイルス感染症」疑似症患者受入開始。

令和2年4月22日 「診療情報課」を2棟1階(旧在宅世話どりセンター)へ移設。

令和2年4月27日 院内での「新型コロナウイルス感染症」PCR検査を開始。

令和2年4月29日 南45病棟(8床)で「新型コロナウイルス感染症」疑似症患者受入病棟として運用開始。(南46病棟：46床閉鎖)

令和2年5月1日 法人事務局「企画準備室」設置。

令和2年5月2日 ICU(1床)で「新型コロナウイルス感染症」疑似症患者受入開始。

令和2年7月16日 南45病棟での「新型コロナウイルス感染症」疑似症患者受入病床を10床に増床。

令和2年10月1日 本館(南病棟)より2床移設しSCU(7床)から(9床)に増床し、運用開始。

令和2年12月1日 「脳卒中センター」を「脳卒中診療部」と改称。

令和2年12月24日 奈良県より「新型コロナウイルス感染症重点医療機関」の指定を受け運用開始。

令和2年12月24日 南45病棟で「新型コロナウイルス感染症」陽性患者受入開始。

令和3年1月4日 予定入院患者の新型コロナウイルスPCR検査開始。

令和3年1月7日 南45病棟での「新型コロナウイルス感染症」陽性患者受入病床を8床に増床。

令和3年2月22日 看護師特定行為研修指定研修機関に認定。
特定行為区分(13区分)、領域別パッケージ研修。(在宅・慢性期領域)

令和3年3月8日 新型コロナウイルス対応の全職種職員の1回目ワクチン接種の実施。
(～以降、継続)

令和3年3月15日 本館（南病棟）地下放射線 RI PET-CT 装置更新。

令和3年3月25日 事情部長 永尾信雄 退任。

令和3年3月26日 事情部長 飯降 力 就任。

令和3年4月1日 全ての土曜日の外来診療休診。（4週8休体制実施）

令和3年4月1日 「リハビリセンター」を「リハビリテーション部」と改称。

令和3年4月8日 新型コロナウイルス感染症の診断を迅速に行うため、外来棟北橋を新設。
（4月12日より運用開始）

令和3年4月19日 「新型コロナウイルス感染症」陽性患者受入病床を10床へ増床。（疑似症受入病床7床）

令和3年5月17日 「新型コロナウイルス感染症」陽性患者受入病床を13床へ増床。（疑似症受入病床4床）

令和3年6月1日 初診時選定療養費改訂。医科：5,000円（税込）、歯科：2,500円（税込）

令和3年6月15日 天理市新型コロナウイルスワクチン集団接種の協力依頼により白川分院で実施。

令和3年7月7日 定期受診患者への新型コロナウイルスワクチン個別接種の実施。

令和3年9月15日 「新型コロナウイルス感染症」陽性患者受入病床を15床へ増床。（疑似症受入病床4床）

令和4年2月5日 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、全面会禁止（原則）の実施。

令和4年2月21日 外来診療棟 CT 装置更新。

令和4年3月8日 天理市新型コロナウイルスワクチン集団接種の協力依頼により外来診療棟で実施。（～以降、継続）

令和4年4月1日 事務部門庶務課を総務課に名称変更。

令和4年4月1日 「周産期センター」開設。

令和4年4月2日 天理市新型コロナウイルスワクチン集団接種の協力依頼により外来診療棟で実施。

令和4年4月11日 本館（南病棟）より1床移設し SCU（9床）から（10床）に増床し運用開始。

令和4年5月1日 白川分院 総師長を看護部長、課長を事務長に呼称変更。

令和4年6月6日 本館（南病棟）より2床移設し SCU（10床）から（12床）に増床し運用開始。

令和4年6月9日 郵便仕分機導入。

令和4年6月20日 自動精算機更新、外来棟1階窓口レイアウト変更、患者導線変更。

令和4年6月25日 天理市新型コロナウイルスワクチン集団接種の協力依頼により外来診療棟で実施。

令和4年9月1日 「大動脈センター」開設。

令和4年10月1日 「病床管理室」設置。

令和4年10月31日 副院長（兼）脳神経外科特定嘱託部長、脳卒中診療部特定嘱託部長、医療情報システムセンター長、秋山義典 退任。

令和4年11月1日 副院長 中川達雄 就任。

令和4年11月5日 天理市新型コロナウイルスワクチン集団接種の協力依頼により外来診療棟で実施。

令和4年11月19日 大規模災害訓練「近畿地方 DMAT ブロック訓練」実施。

令和4年12月14日 ダヴィンチ更新。(2台体制とする)

令和5年1月1日 西5病棟特別室1床新設 運用開始。

令和5年2月15日 「新型コロナウイルス感染症」陽性患者受入病床を10床へ減床。(疑似症受入病床4床)

令和5年3月10日 東西病棟320列 CT 更新。

令和5年3月31日 「学校法人 天理よろづ相談所学園 天理医療大学」天理大学との統合により閉校。

令和5年4月1日 「腫瘍内科」設置。

令和5年5月8日 「新型コロナウイルス感染症」感染症法上の位置づけが2類感染症から5類感染症へ

令和5年5月9日 「新型コロナウイルス感染症」陽性患者受入病床を8床へ減床。(自院運用病床4床)

令和5年7月1日 「総合事務室」設置。室長 長野吉晴 就任。

令和5年7月1日 「耳鼻咽喉科」を「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」と改称。

令和5年7月1日 「教育・研修事務局」を設置。

令和5年10月1日 重点医療機関が廃止され、「新型コロナウイルス入院患者数」段階ごとの確保病床(段階2 2床、段階3 5床)となる。

令和5年11月1日 初診時選定療養費改訂。医科：8,800円(税込)、歯科：5,500円(税込)。

令和5年12月1日 南別館の解体工事開始。

令和5年12月26日 「災害派遣医療チーム奈良 DMAT」の指定病院となる。

令和6年1月10日 能登半島地震(令和6年1月1日発生)被災地へDMAT隊6名派遣。

令和6年1月21日 能登半島地震被災地へ薬剤師1名派遣。

令和6年1月27日 能登半島地震被災地へ看護師1名派遣。

令和6年2月1日 「院内がん登録室」設置。

令和6年2月16日 「新型コロナウイルス入院患者数」段階2へ移行、即応病床2床稼働となる。

令和6年2月28日 「新型コロナウイルス入院患者数」段階1へ移行。

令和6年3月1日 南45病棟の新型コロナウイルス感染症病棟閉鎖

令和6年3月8日 厚生労働省主催『上手な医療のかかり方アワード』厚生労働省医政局長賞受賞

令和6年3月8日 能登半島地震被災地へ薬剤師1名派遣。

令和6年3月25日 事情部長 飯降 力 退任。

令和6年3月26日 事情部長 紺谷清春 就任。

I 沿革（付録）

許可病床数変遷一覧表

【本院（本館南病棟・東病棟・西病棟）】

開設許可事項 変更許可年月日	構造設備 使用許可年月日	事項
昭和41. 3. 30	昭和41. 4. 1	天理よろづ相談所病院開設 （許可病床数600床）
〃 41. 9. 6	〃 41. 9. 6	（許可病床数720床となる）
〃 41. 9. 16	〃 41. 9. 16	（許可病床数725床となる）
〃 42. 5. 10	〃 42. 5. 10	（許可病床数817床となる）
〃 42. 11. 18	〃 42. 11. 20	（許可病床数872床となる）
〃 43. 4. 12	〃 43. 4. 12	（許可病床数909床となる）
〃 50. 12. 23		南別館新築竣工（92床）
〃 51. 1. 12	〃 51. 1. 16	（南別館新築により許可病床数1,001床となる）
〃 57. 12. 23	〃 58. 3. 31	おやさとやかた西右第四棟新築完成に伴う病棟編成 （西右第四棟で233床の許可を受け、南別館92床及び 西右第二棟・第三棟から141床を減らし、差引許可病 床数は、1,001床と変わらず）
〃 58. 4. 1		おやさとやかた西右第四棟新築竣工式挙行
平成15. 7. 16	平成15. 8. 1	白川分院（186床）開設に伴い、許可病床数815床とな る（精神科病棟取り下げ）
〃 26. 2. 1	〃 26. 2. 1	新入院棟（東病棟・西病棟）新築完成に伴う病棟編成 【許可病床数815床のうち、新入院棟（東病棟・西病 棟）へ512床を移転し、本館（南病棟）は303床となる】
〃 29. 5. 1	〃 29. 5. 1	本館（南病棟）改修工事に伴い病棟再編。100床を減 らし、本館（南病棟）は203床となる
令和2. 9. 11	令和2. 9. 29	本館（南病棟）より SCU（西病棟）へ2床移転し、 本館（南病棟）は201床、東病棟・西病棟514床となる
〃 4. 3. 31	〃 4. 4. 8	本館（南病棟）より SCU（西病棟）へ1床移転し、 本館（南病棟）は200床、東病棟・西病棟515床となる
〃 4. 5. 6	〃 4. 5. 23	本館（南病棟）より SCU（西病棟）へ2床移転し、 本館（南病棟）は198床、東病棟・西病棟517床となる
〃 4. 7. 25	〃 4. 8. 10	本館（南病棟）より西5病棟へ1床移転し、本館（南 病棟）は197床、東病棟・西病棟518床となる

（別所分院）

昭和44. 4. 28	昭和44. 5. 1	天理よろづ相談所病院別所分院開設 （許可病床数85床）
〃 51. 6. 28	〃 51. 11. 15	天理よろづ相談所病院別所分院管理棟移築 （許可病床数67床となる）
〃 62. 3. 2	〃 62. 10. 16	天理よろづ相談所病院別所分院新築竣工 （許可病床数32床）
平成元 6. 23	平成元 8. 1	（分院許可病床数40床となる）
〃 15. 9. 5	〃 15. 9. 1	（分院許可病床数30床となる）
〃 15. 9. 5	〃 17. 3. 31	閉院

(白 川 分 院)

平成15. 6. 16	平成15. 7. 7	天理よろづ相談所病院白川分院開設 (許可病床数、療養100床・精神43床)
〃 15.12. 3	〃 16. 1. 1	精神43床開設 (許可病床数186床となる)
〃 30. 6. 22	〃 30. 8. 1	精神43床減床 (許可病床数143床となる)

Ⅱ 事業の概要

公益財団法人天理よろづ相談所は、財団法人として昭和41年3月に発足し、その組織は身上部・事情部・世話部の三部門からなっている。すなわち、身上部は現代医学の粋を集めた医療設備をもって患者の診療にあたり、事情部は天理教の教えに基づいて人々の苦悩の解決指導にあたり、世話部は生活上の諸問題および医療従事者の養成に関する相談世話どりをを行う。この三部が緊密なる連携のもとに医学と信仰と生活の三面から悩める人々の救済をはかり、もって天理教の理想とする「陽気ぐらし」の世界実現に寄与せんとする施設である。財団法人として45年を経て、平成23年6月1日より公益財団法人に移行した。本年度における法人運営および各部門の事業概要、実績は次の通りである。

1. 定例会議

- (イ) 理事会（月1回 毎月2日）
- (ロ) 評議員会（年2回 3月・6月）
- (ハ) 常務理事会（月1回）

2. 主たる理事会に関する事項

開 会 年 月 日	議 事
令和5.5.2（第132回）	第26回評議員会開催について
令和5.6.2（第133回）	令和4年度会計監査等結果報告 令和4年度事業報告承認の件 令和4年度収支予算決算及び財務諸表承認の件
令和5.6.17 （臨時理事会）	理事長・専務理事・常務理事の互選の件（書面表決）
令和6.2.2（第140回）	第27回評議員会開催について
令和6.3.2（第141回）	令和6年度事業計画について 令和6年度収支予算について

3. 主たる評議員会に関する事項

開 会 年 月 日	議 事
令和5.6.17（第26回）	令和4年度事業報告承認の件 令和4年度収支予算決算及び財務諸表承認の件 第七期役員の選任の件 第四期評議員の選任の件
令和6.3.11（第27回）	令和6年度事業計画について 令和6年度収支予算について 第七期役員の選任の件

Ⅲ 身 上 部（病院）

本年度においては、入院患者数は169,516名、一日平均入院数463名（前年度464名）、外来患者延数は419,681名、一日平均1,727名（前年度1,803名）であった。

1. 現 況

(イ) 診療部門

内科（呼吸器、循環器、消化器、血液、脳神経、内分泌、腫瘍）、小児科、精神神経科、皮膚科、外科（消化器、乳腺、呼吸器、脳神経、心臓血管）、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、形成外科、整形外科、泌尿器科、腎透析科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科、緩和ケア科、海外医療科、手術部、放射線部（診断・IVR・治療・RIの四部門）、臨床検査部、臨床工学部、病理診断部、総合診療教育部、救急診療部、脳卒中診療部、集中治療部、内視鏡センター、リハビリテーション部、健診センター、血液浄化センター、腹腔鏡センター、糖尿病センター、先天性心疾患センター、膠原病センター、感染症管理センター、心不全センター、心臓カテーテルセンター、肝臓センター、神経筋疾患センター、入院案内センター、呼吸管理センター、周産期センター、大動脈センター、栄養部、薬剤部、看護部

(ロ) 病 棟

南 病 棟		許可病床数	系 統
6 階	南46	46	
〃	南26	10	緩和ケア科（個室病棟）
5 階	南45	33	「新型コロナウイルス感染症」受入病棟
4 階	南44	38	血液内科
3 階	南43	42	脳神経内科、腎透析科
〃	南43	2	ドック
〃	南23	26	
南病棟合計		197	
東 病 棟		許可病床数	系 統
10階	東10	49	消化器内科、循環器内科
9 階	東 9	50	呼吸器内科、呼吸器外科
8 階	東 8	50	総合内科、消化器内科
7 階	東 7	50	消化器外科
6 階	東 6	50	心臓血管外科、循環器内科
5 階	東 5	47	整形外科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科
4 階	東 4	44	眼科、消化器内科
3 階	東 3	20	小児科
2 階	東 2	40	脳神経外科、脳神経内科、腎透析科、形成外科、歯科
東病棟合計		400	

西 病 棟		許可病床数	系 統
5 階	西 5	31	泌尿器科、皮膚科
3 階	西 3	45	産婦人科、乳腺外科
2 階	ICU・CCU	15	集中治療部（ICU・CCU）
1 階	救急	15	救急診療部
1 階	SCU	12	脳卒中診療部（SCU）
西病棟合計		118	
総 合 計		715	

2. 定例会議

- (イ) 院内部長会（月 1 回 第 2 木曜日）
- (ロ) 院内各部署代表者会議（月 1 回 第 3 木曜日）
- (ハ) 院長・副院長会議（月 1 回 第 1 水曜日）

3. 各種専門委員会

令和 6 年 3 月 31 日現在

（委 員 会 名）	（委 員 長）	（副 委 員 長）
薬事委員会	田 口 善 夫	中 川 達 雄
栄養委員会	林 野 泰 明	
保険委員会	野 田 和 男	田 中 栄 作
図書委員会	住 吉 真 治	
治験審査委員会	田 口 善 夫	種 田 和 清
造血幹細胞移植実施委員会	赤 坂 尚 司	
医療ガス安全管理委員会	石 井 久 成	
輸血療法委員会	上 岡 樹 生	新 井 善 雄
放射線安全管理委員会	高 山 賢 二	
特別薬事委員会	山 中 忠 太 郎	
医療安全管理委員会	金 子 嘉 志	羽 白 高 奥 村 和 弘
研究所委員会	中 川 達 雄	
院内感染対策委員会	田 中 栄 作	萱 島 す が
医療廃棄物管理委員会	上 岡 樹 生	
医療機器材料委員会	奥 村 和 弘	
臨床検査適正使用検討委員会	上 岡 樹 生	
防災管理委員会	森 岡 正 彦	
脳死判定委員会	末 長 敏 彦	
包括的ケア管理委員会	末 長 敏 彦	福 原 真 美
研修管理委員会	八 田 和 大	
安全衛生管理委員会	奥 村 和 弘	
天理医学紀要編集委員会	大 野 仁 嗣	

(委 員 会 名)	(委 員 長)	(副 委 員 長)
救急管理委員会	近 藤 博 和	田 中 宏 和
化学療法管理委員会	山 城 大 泰	
省エネルギー管理委員会	森 岡 正 彦	
ICU 運営委員会	田 村 俊 寛	
クリニカルパス委員会	田 口 善 夫	
臨床研究等に関する倫理委員会	大 野 仁 嗣	
透析機器安全管理委員会	金 子 嘉 志	
チーム医療推進委員会	奥 村 和 弘	田 口 善 夫
利益相反委員会	大 野 仁 嗣	田 口 善 夫
がん診療連携拠点病院機能推進委員会	田 口 善 夫	
内科専門研修プログラム管理委員会	田 口 善 夫	八 田 和 大
ハラスメント委員会	金 子 嘉 志	
虐待防止委員会	芝 剛	
外科専門研修プログラム管理委員会	中 川 達 雄	
コスト削減委員会	奥 村 和 弘	
特定放射性同位元素防護委員会	高 山 賢 二	
医療放射線管理委員会	久 保 武	寺 口 昌 和
看護師特定行為研修管理委員会	山 中 忠太郎	野 田 和 男
診療録・医療情報システム管理委員会	中 川 達 雄	田 村 俊 寛

4. 研 究 会 他

1) 診療関係

- | | |
|--------------------------------|------------------------------------|
| (1) 消化器術前検討会 (週 1 回) | (10) 産婦人科カンファレンス (週 1 回) |
| (2) 消化器内科症例カンファレンス (週 1 回) | (11) 周産期カンファレンス (週 1 回) |
| (3) 消化器内科レジデントカンファレンス (週 1 回) | (12) 産婦人科術前カンファレンス (週 1 回) |
| (4) 呼吸器内科・呼吸器外科カンファレンス (週 1 回) | (13) 小児科カンファレンス (週 2 回) |
| (5) 呼吸器内科・放射線科カンファレンス (週 1 回) | (14) 循環器内科抄読会 (週 1 回) |
| (6) 呼吸器内科レジデントカンファレンス (週 1 回) | (15) 循環器内科・心臓血管外科合同カンファレンス (週 1 回) |
| (7) 内分泌内科カンファレンス (週 2 回) | (16) 循環器内科レジデントカンファレンス (週 1 回) |
| (8) 内分泌内科レジデントカンファレンス (週 1 回) | (17) 心不全チームカンファレンス (週 1 回) |
| (9) 産婦人科術前カンファレンス (週 2 回) | (18) 心外リスクカンファレンス (週 1 回) |
| | (19) 心臓血管外科術前カンファレンス (週 1 回) |
| | (20) 先天性心疾患カンファレンス (週 1 回) |

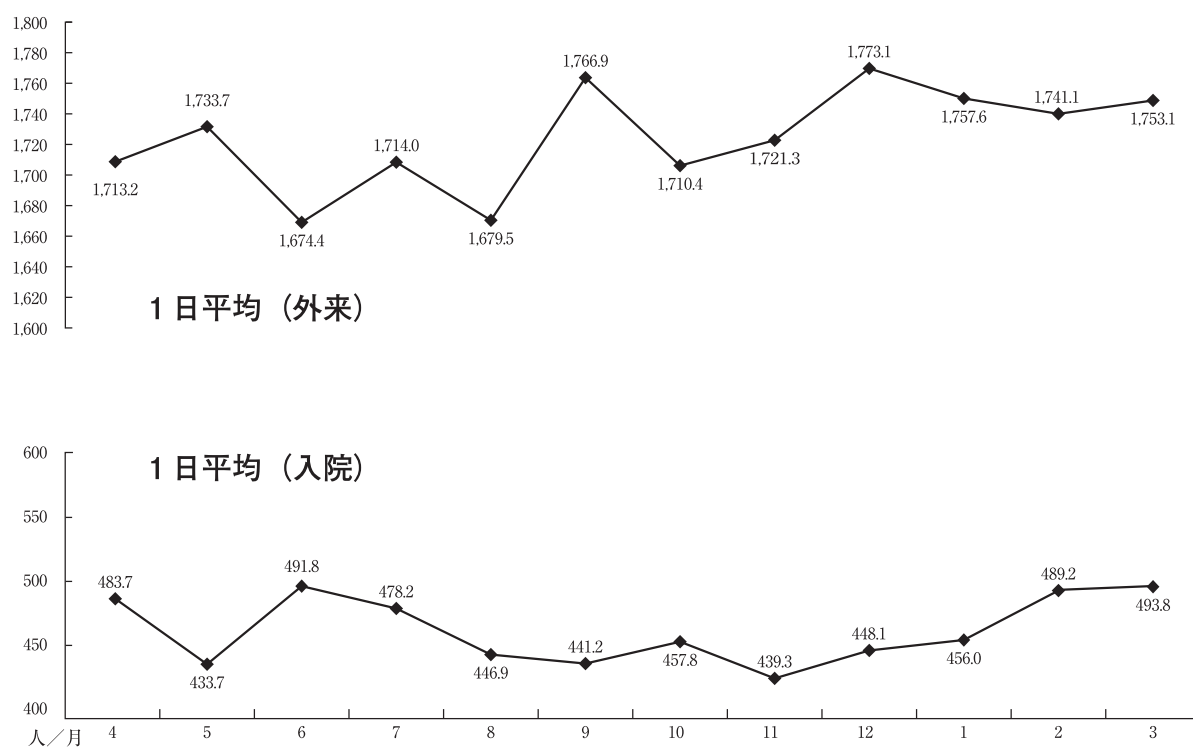
- | | |
|------------------------------|----------------------------|
| (21) 脳神経内科カンファレンス (週5回) | (49) 救急蘇生小委員会 (月1回) |
| (22) 脳神経内科レジデントカンファレンス (週1回) | (50) 栄養ケアチームリンクナース会議 (月1回) |
| (23) 血液内科カンファレンス (週1回) | |
| (24) 血液内科レジデントカンファレンス (週1回) | 2) 看護部関係 |
| (25) SCU カンファレンス (週2回) | (1) 看護師長会議 (月2回) |
| (26) 耳鼻咽喉科カンファレンス (週2回) | (2) 副看護師長・主任看護師会 (隔月1回) |
| (27) 消化器外科カンファレンス (週2回) | (3) 看護教育研究委員会 (月1回) |
| (28) 消化器外科重症患者カンファレンス (週2回) | (4) 看護部医療安全担当者会議 (月1回) |
| (29) 消化器外科抄読会 (週1回) | (5) 看護部記録委員会 (月1回) |
| (30) 乳腺外科術前術後カンファレンス (週1回) | 3) 技師関係 |
| (31) 歯科・口腔外科症例検討会 (週1回) | (1) 放射線部技局会 (月1回) |
| (32) 泌尿器科カンファレンス (週1回) | (2) 放射線部連絡会 (月1回) |
| (33) 救急カンファレンス (週1回) | (3) 放射線部技師勉強会 (月3回) |
| (34) M&Mカンファレンス (月1回) | (4) 放射線部技師長・主任会 (週1回) |
| (35) 総合内科カンファレンス (週3回) | (5) 臨床検査部日当直業務連絡会 (週1回) |
| (36) 早朝カンファレンス (週4回) | (6) 臨床検査部勉強会 (月4回) |
| (37) 院内グラウンドカンファレンス (月1回) | (7) くりばそ学術勉強会 (月1回) |
| (38) レジデントグループカンファレンス (週1回) | (8) 臨床検査部リーダー会 (月1回) |
| (39) レジデント教育講義 (月1回) | 4) 事務関係 |
| (40) CPC (月2回) | (1) 課長会 (月1回) |
| (41) POC 抄読会 (週1回) | (2) 係長会 (月1回) |
| (42) RCB (月4回) | (3) 経理課連絡会 (月1回) |
| (43) 呼吸ケア対策チーム会議 (月1回) | (4) 管理課勉強会 (月1回) |
| (44) 緩和ケアチーム会議 (週1回) | (5) 総務課連絡会 (月1回) |
| (45) 緩和ケアチームカンファレンス (週1回) | (6) 医事課勉強会 (月1回) |
| (46) 緩和ケアチーム会議 (月1回) | (7) 医事課 保険委員会 (月1回) |
| (47) 緩和ケアチームリンクナース会議 (隔月1回) | (8) 用度課・管理課連絡会 (月1回) |
| (48) ICT 症例検討会 (週1回) | (9) 診療情報委員会 (月1回) |
| | (10) 施設基準等管理・検討会議 (月1回) |
| | (11) 外来連絡会 (月1回) |

5. 業務概要

(1) 令和5年度 月別患者数 診療日数243日（平日のみ）

		入院患者	外来患者		
			新患	再来	計
4 月	患者数 1 日平均	14,510 483.7	3,351 167.6	30,913 1,545.7	34,264 1,713.2
5 月	患者数 1 日平均	13,444 433.7	3,395 169.8	31,279 1,564.0	34,674 1,733.7
6 月	患者数 1 日平均	14,753 491.8	3,710 168.6	33,126 1,505.7	36,836 1,674.4
7 月	患者数 1 日平均	14,825 478.2	3,565 178.3	30,714 1,535.7	34,279 1,714.0
8 月	患者数 1 日平均	13,855 446.9	3,776 171.6	33,173 1,507.9	36,949 1,679.5
9 月	患者数 1 日平均	13,236 441.2	3,621 181.1	31,716 1,585.8	35,337 1,766.9
10 月	患者数 1 日平均	14,192 457.8	3,472 165.3	32,447 1,545.1	35,919 1,710.4
11 月	患者数 1 日平均	13,178 439.3	3,340 167.0	31,086 1,554.3	34,426 1,721.3
12 月	患者数 1 日平均	13,892 448.1	3,270 163.5	32,191 1,609.6	35,461 1,773.1
1 月	患者数 1 日平均	14,137 456.0	3,520 185.3	29,874 1,572.3	33,394 1,757.6
2 月	患者数 1 日平均	14,187 489.2	3,259 171.5	29,822 1,569.6	33,081 1,741.1
3 月	患者数 1 日平均	15,307 493.8	3,367 168.4	31,694 1,584.7	35,061 1,753.1
計	患者数 1 日平均	169,516 463.2	41,646 171.4	378,035 1,555.7	419,681 1,727.1

(2) 令和5年度 月別患者数動態表（1日平均）



(3) 令和5年度 各科実績報告

（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

		内 科	小 児 科	精 神 科	皮 膚 科	外 科	産婦人科	眼 科	耳鼻咽喉科 頭頸部外科	形成外科
入院患者	延数	89,690	3,822	0	549	36,924	5,123	6,297	6,953	1,031
	一日平均	245.1	10.4	0.0	1.5	100.9	14.0	17.2	19.0	2.8
外来患者	延数	215,119	10,646	414	19,540	31,817	15,069	30,077	25,652	4,179
	一日平均	885.3	43.8	1.7	80.4	130.9	62.0	123.8	105.6	17.2
新入院患者		7,089	766	0	53	2,424	728	1,447	682	105
退院患者		6,967	766	0	52	2,461	729	1,468	689	109

整形外科	泌尿器科	腎透析科	歯 科 口腔外科	放射線部	ド ッ ク	麻 酔 科	救 急 診 療 科	緩 和 ケ ア 科	合 計
6,347	9,573	1,020	77	147	137	0	208	1,618	169,516
17.3	26.2	2.8	0.2	0.4	0.4	0.0	0.6	4.4	463.2
15,024	24,758	5,212	14,346	7,742	0	0	30	56	419,681
61.8	101.9	38.0	59.0	31.9	0.0	0.0	0.1	0.2	1,727.1
339	1,186	109	31	36	139	0	41	2	15,177
344	1,177	113	31	36	139	0	23	87	15,191

	内 科									小児・ 児先心	精神 神経科	皮膚科
	総合	呼吸器	循環器	消化器	血液	脳神経	内分泌	腫瘍	合計			
外来患者延数	35,066	34,779	33,707	28,480	14,362	22,928	44,029	1,768	215,119	10,646	414	19,540
入院患者延数	11,859	20,873	17,533	13,093	10,504	12,771	2,864	193	89,690	3,822	—	549

外 科						産婦 人科	眼科	耳鼻・ 頭頸部 外科	整形 外科	形成 外科	泌尿 器科	腎透 析科	歯科	放射 線部	麻酔科	救急 診療科	緩和 ケア	ドック	合計	一日平均
消化器	乳腺	呼吸器	脳神経	心臓	計															
10,337	7,502	2,053	6,366	5,559	31,817	15,069	30,077	25,652	15,024	4,179	24,758	5,212	14,346	7,742	0	30	56	入院のみ	419,681	1,727.1
13,701	1,686	2,076	10,087	9,374	36,924	5,123	6,297	6,953	6,347	1,031	9,573	1,020	77	147	0	208	1,618	137	169,516	463.2

放射線 検査件数	一般撮影	一般撮影 (ポータブル)	手術室 透視・撮影	マンモステ レオ生検	泌尿器・ 胆道造影	CT (単純)	CT (造影)	MRI (単純)	MRI (造影)	脳アン ギオ	放科 アンギオ	心カテ	消化管 造影	その他 透視	透視内 視鏡	治療計画 CT	治療 計画	治療
	71,126	21,323	2,615	1,414	824	28,944	10,783	10,619	2,373	303	814	1,631	278	495	968	491	420	7,579

臨床 検査	尿・一般	血液	生化学・免疫	微生物	緊急	超音波(心臓)	超音波(他)	心電図	神経機能	呼吸機能	提携	合計	病理 診断	細胞診	病理組織	計
	142,499	1,212,791	3,994,811	89,597	573,510	12,247	28,313	40,433	13,971	16,784	77,142	6,202,098		7,863	9,048	16,911

		総内	呼内	循内	消内	血内	脳内	分内	腫内	小児	児先心	皮膚	消外	乳外	呼外	脳外	心外	産婦	眼科	耳鼻頭	整形	泌尿	麻酔	放線	歯科	腎透	形成	救急	計
手術	外来	0	0	2	852	0	1	0	0	0	0	133	131	2	4	18	0	57	1,030	205	64	201	0	0	1,160	206	515	0	4,581
	入院	73	52	1,226	1,173	10	35	9	4	13	3	5	1,224	173	289	401	751	403	2,268	794	400	906	0	35	58	78	187	0	10,570
		総内	呼内	循内	消内	血内	脳内	分内	腫内	小児	児先心	皮膚	消外	乳外	呼外	脳外	心外	産婦	眼科	耳鼻頭	整形	泌尿	麻酔	放線	歯科	腎透	形成	救急	計
外来化学療法 件数		904	2,436	0	1,217	1,483	27	0	1,091	0	0	19	1,313	313	29	26	0	267	0	108	0	742	0	0	0	0	0	0	9,975

*手術について…手術室施行の件数と手術室以外施行の件数を合計して掲載

麻酔 件数	全身 麻酔	硬膜外 麻酔	脊椎 麻酔	計	分娩 件数	男	女	不明	計	栄養指 導件数	外来	入院	計
	3,228	0	492	3,720		131	157	1	289		674	959	1,633

RI センター	検 査		合計	R I 治療	血液浄化 センター	定期	臨 時				合計
	外来	入院					帰参者	入院	出張透析	CHDF (その他)	
	2,546	95	2,641	9			48	2251	145	277	

内視鏡	気管支鏡	上部消化管			下部消化管			ERCP		超音波 内視鏡	肝穿刺検査 ・治療	腎生検・ その他	尿道膀胱 ファイバー	計	緊急	時間外
		検査	治療	ESD	検査	治療	ESD	検査	治療							
	395	6,160	520	151	3,100	2,042	61	479	642	414	37	39	1,703	15,743	919	352

疾患別リハビリテーション料	理学療法		作業療法		言語聴覚療法		合 計	
	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数
脳血管疾患等リハビリテーション料	11,276	17,053	10,773	19,823	4,660	7,210	26,709	44,086
心大血管リハビリテーション料 (心臓リハビリ集団を含む)	13,404	25,610	1,329	2,258	0	0	14,733	27,868
廃用症候群リハビリテーション料	11,497	15,698	2,338	4,032	801	1,417	14,636	21,147
運動器リハビリテーション料	4,472	7,581	823	1,545	0	0	5,295	9,126
呼吸器リハビリテーション料	10,127	13,313	1,115	1,822	2,242	3,786	13,484	18,921
がん患者リハビリテーション料	1,697	2,160	98	150	0	0	1,795	2,310
合 計	52,473	81,415	16,476	29,630	7,703	12,413	76,652	123,458

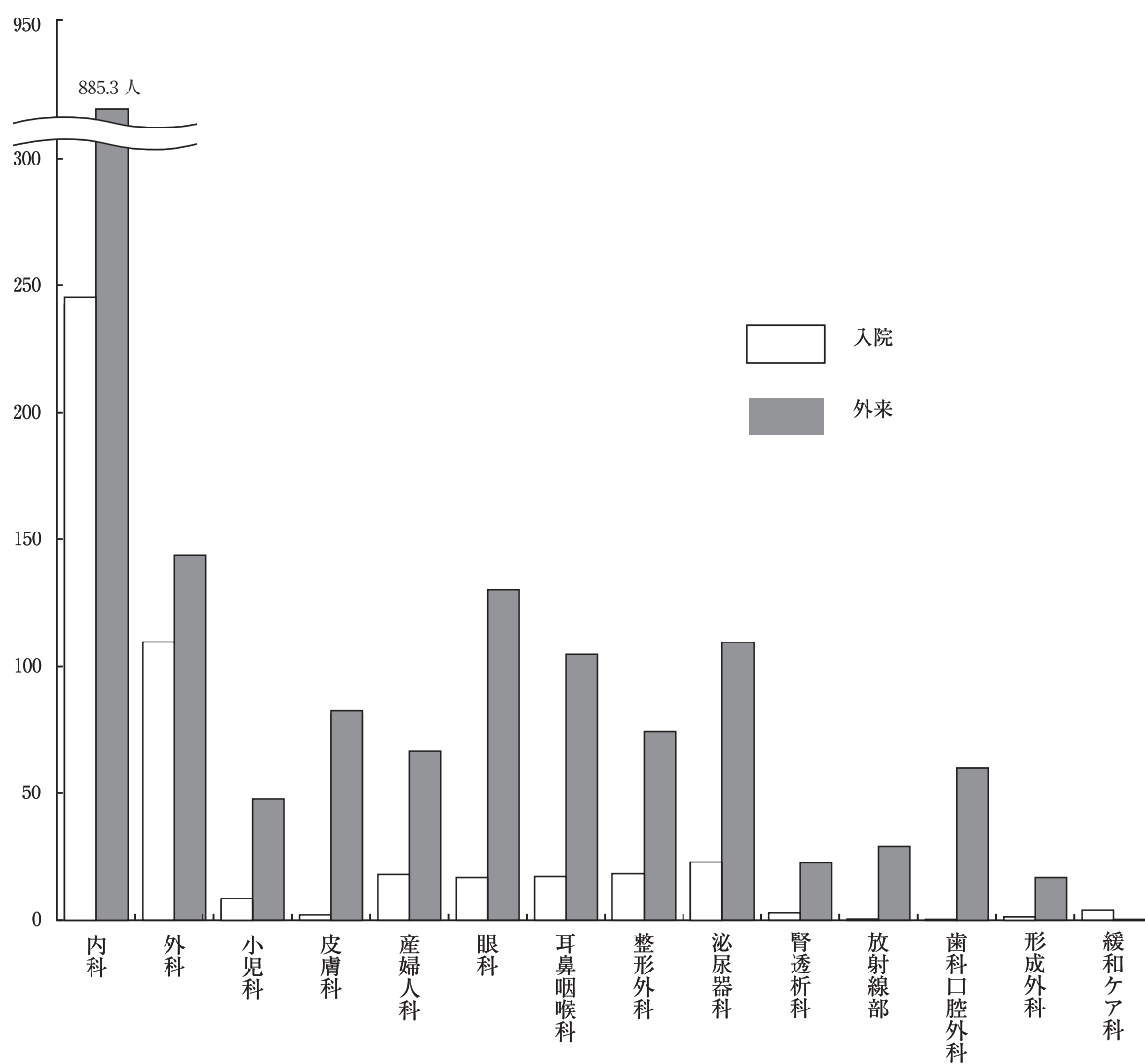
	心臓リハビリ集団	
	件数	単位数
外 来	2,861	8,500
入 院	1,736	4,204
合 計	4,597	12,704

退院時リハビリテーション (件)	2,135
早期離床リハビリテーション (件)	707

投薬 (処方箋)	注 射		枚 数	本 数	内服外用薬		枚 数	件 数	日 数
	外 来		149,371	244,768	外 来		266,168	816,129	27,547,168
	入 院	定期	1,252,277	1,413,341	入 院	定期	0	0	0
		臨急	66,466	144,001		臨急	120,801	238,057	1,209,560
	計		1,468,114	1,802,110	計		386,969	1,054,186	28,756,728

投薬指導 (退 院 時 指導含)	件数	人数
	9,160	6,344

(4) 令和 5 年度 診療科別患者数（1 日平均）



(5) 令和5年度 科別剖検状況

(令和5年4月～令和6年3月)

内 訳 科 別	退 院 数	入院後48時間 以後死亡数	入院後48時間 以内死亡数	全 死 亡 数	解 剖 数
(内 科)					
呼 吸 器 内 科	1,601	103	14	117	1
循 環 器 内 科	1,739	44	8	52	1
脳 神 経 内 科	674	21		21	
消 化 器 内 科	1,527	48	7	55	
血 液 内 科	478	36	5	41	
内 分 泌 内 科	223	1	4	5	
総 合 内 科	703	55	9	64	13
腫 瘍 内 科	22	1		1	
(外 科)					
脳 神 経 外 科	576	30	7	37	
心臓血管外科	431	14	5	19	
呼 吸 器 外 科	258	3		3	
消 化 器 外 科	1,017	10	4	14	
乳 腺 外 科	179	3	2	5	
小 児 科	719				
児 循 ・ 先 天 心	47				
産 婦 人 科	729	4	1	5	
腎 透 析 科	113				
耳 鼻 咽 喉 科	689	2		2	
形 成 外 科	109				
眼 科	1,468				
皮 膚 科	52	2		2	
泌 尿 器 科	1,177	12		12	
歯科・歯科口腔外科	31				
整 形 外 科	344	1		1	
放 射 線 科	36				
麻 酔 科					
救 急 診 療 科	23	1		1	
緩 和 ケ ア 科	87	86		86	
ド ッ ク	139				
白 川 分 院	661	35		35	1
合計（剖検率2.8%）	15,852	512	66	578	16

(6) 令和5年度 心理相談室業務（臨床心理検査、心理療法、チーム医療活動）実施件数

月	臨床心理検査（病棟含）				心理療法（病棟含）				合計
	小児科	精神科 （白川分院含む）	その他 全科	小計	小児科	精神科 （白川分院含む）	その他 全科	小計	
4	1	25	2	28	19	60	37	116	144
5	5	26	0	31	24	69	29	122	153
6	4	26	0	30	21	60	32	113	143
7	4	34	0	38	20	61	23	104	142
8	5	31	0	36	22	63	19	104	140
9	3	21	0	24	22	59	22	103	127
10	3	24	0	27	14	61	17	92	119
11	7	24	0	31	15	68	9	92	123
12	9	24	0	33	19	64	17	100	133
1	2	11	1	14	20	59	25	104	118
2	8	28	0	36	15	63	19	97	133
3	1	29	2	32	17	70	24	111	143
計	52	303	5	360	228	757	273	1,258	1,618

* チーム医療…緩和ケアチーム、糖尿病教室、糖尿病心理カンファレンス、小児科病棟、ダウン症教室、精神科家族教室、精神科作業療法、その他

臨床心理検査内訳

月	発達および 知能検査	人格検査	その他心理検査	合計
4	7	8	13	28
5	7	18	6	31
6	10	12	8	30
7	5	17	16	38
8	9	11	16	36
9	8	9	7	24
10	8	10	9	27
11	10	14	7	31
12	16	11	6	33
1	4	2	8	14
2	8	11	17	36
3	8	10	14	32
計	100	133	127	360

(7) 白川分院（令和5年4月～令和6年3月）

1. 現 況

病 棟	許可病床数	系 統	開 業 日
A-1	50	内科・リハビリテーション科	平成15年7月7日
A-2	50	内科・リハビリテーション科	平成15年7月7日
B-1	43	精神神経科	平成15年7月7日

2. 各種専門委員会

(委 員 会 名)	(委 員 長)	(委 員 会 名)	(委 員 長)
医療安全委員会	坂 上 祐 司	診療録管理委員会	橋 本 和 典
院内感染対策委員会	坂 上 祐 司	医療ガス委員会	坂 上 祐 司
創傷管理委員会	西 村 理	防災管理委員会	橋 本 和 典
栄養委員会	西 村 理	回復期リハビリテーション 病棟運営委員会	坂 上 祐 司
行動制限最小化委員会	橋 本 和 典		
医療廃棄物管理委員会	橋 本 和 典	医療従事者勤務改善委員会	坂 上 祐 司

3. 定 例 会 議

院内各部署代表者会議 （月1回 第4木曜日）

地域包括ケア病床運営委員会 （月1回 第4水曜日）

4. 業 務 概 要

① 入院月別患者数延日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
患 者 数	3,531	3,711	3,594	3,518	3,558	3,409
一日平均	117.7	119.7	119.8	113.5	114.8	113.6

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3,543	3,554	3,467	3,128	3,150	3,459	41,622
114.3	118.5	111.8	100.9	108.6	111.6	113.7

② 外来月別患者数（精神神経科 診療日数243日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
患 者 数	1,697	1,685	1,779	1,744	1,742	1,790
一日平均	84.9	84.3	80.9	87.2	79.2	89.5

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1,793	1,743	1,690	1,631	1,607	1,801	20,702
89.7	83.0	84.5	85.8	84.6	90.1	85.2

外来月別患者数（内科 診療日数323日）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
患 者 数	216	230	226	172	185	191
一日平均	9.0	8.5	8.7	6.6	6.9	6.6

10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	合計
183	209	173	167	174	170	2,296
6.8	7.2	6.9	6.2	7.0	5.9	7.2

③ 在宅世話どりセンター活動状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
対象患者数	69	69	66	65	65	62
新 患 者 数	8	5	6	4	5	3
死亡患者数	5	9	4	4	5	3
中止(軽快・転院・転居等)	0	1	0	1	1	0
床ずれ外来患者数・その他	12	11	11	10	8	8
訪 問 診 療 回 数	176	190	180	142	151	152
訪 問 看 護 回 数	121	110	129	97	120	116
訪問栄養士回数	21	20	22	19	19	19
床ずれ外来回数	13	10	9	8	6	6
合計	331	330	340	266	296	293

10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	合 計
65	70	67	69	67	69	803
6	9	4	5	6	5	66
3	7	3	6	2	4	55
1	0	0	2	1	2	9
8	8	8	8	8	8	108
153	170	142	138	146	145	1,885
113	133	110	99	107	135	1,390
15	16	19	18	17	17	222
6	9	6	6	8	3	90
287	328	277	261	278	300	3,587

④ 各科実績報告

	内 科	リハビリテーション科	精 神 神 経 科
入 院 患 者 数	260	237	154
退 院 患 者 数	275	234	152
在院患者延数	14,137	16,366	11,780
一 日 平 均	38.7	44.8	32.3

入院患者延数	内 科		リハビリテーション科	精神神経科	合 計	1 日平均
	地ケア	療養				
	6,891	7,249				

外 来 患 者 延 数	診 療 科		初 診	再 診	訪問診療・往診	訪問看護	訪問栄養・リハ	合 計	一日平均
	在宅 (内科)	医療 保険	54	338	1,891	529	6	3,804	11.7
		介護 保険				785	201		
	精神科		534	20,169				20,703	85.2

放射線	フィルム 枚数	※一般 撮影	※C T 検査	※造影 検査
	1,113	826	0	1

精神科 作業療法	件数	単位数
	381	2,296
精神科 ショートケア	件数	単位数
	214	595

※は件数

臨 床 検 査	一般検査	血液	化学	電気生理	緊急検査	合 計
	0	0	0	306	0	306

リ ハ ビ リ	理学療法		作業療法		言語聴覚療法		合 計	
	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数
脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	11,995	22,883	12,210	24,074	6,490	10,678	30,695	57,635
廃用リハビリテーション料(I)	2,532	4,653	2,920	4,947	635	836	6,087	10,436
運動器リハビリテーション料(I)	5,856	11,653	4,641	9,588	0	0	10,497	21,241
呼吸器リハビリテーション料(I)	1,014	1,703	813	1,335	381	575	2,208	3,613
合 計	21,397	40,892	20,584	39,944	7,506	12,089	49,487	92,925

指 導 料／リハビリテーション料	件数	指 導 料／リハビリテーション料	件数
退院前訪問指導料	22(2)	リハビリテーション総合計画評価料	1,292(1,095)
退院時リハビリテーション指導料	37	摂食機能療法	315
目標設定等支援・管理料	235	栄養指導	98(13)

() は算定可能件数

投 薬	入 院	内服外用薬			注射薬		薬剤管理指導	
		枚数	件数	日数	枚数	本数	件数	人数
	定期処方	5,513	34,277	248,117	11,774	12,380	179	64
	臨急処方	10,582	22,362	177,738				
	外 来	精神科外来			内科外来			
		枚数	件数	日数	枚数	件数	日数	
	院内	455	1,272	22,104	93	159	4,758	
	院外	17,700			1,124			

⑤ 心 理 相 談

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
延患者数	13	15	15	13	12	13

10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	合 計
15	20	18	15	17	20	186

Ⅳ 事 情 部

事情部は、入院患者をはじめ、さまざまな病気や事情の悩みから当相談所を訪れる人々に対して、天理教の教えに基づいた相談にあたり、病気平癒の祈りなどを行う部門である。天理教教人の中より、約60名を教師として委嘱し、以下の活動を行っている。

1. 入院患者に対して、心の悩みを解消し精神的安定を得ることを目的に、事情部教師が患者の話の聞き相談にあたる。また適宜、病気平癒の祈りを行っている。
2. さまざまな病気や事情の悩みから当相談所を訪れる人々に対して、天理教の教えに基づいて相談に応じる「外来相談」を行っている。また電話や手紙による相談にも応じている。
3. 入院患者の平癒と心の悩みの回復を祈念して、誰でも自由に参加できる朝夕のおつとめを勤めている。また職員と共に毎月「憩の家月次遙拝式」を勤め、入院患者及び外来者の平癒と悩みの解決を祈念している。
4. 白川分院において、病気や事情の悩み相談にあたるとともに、礼拝所にて朝夕のおつとめおよび月次祭並びに春秋の霊祭を勤めている。
5. 地域住民の健康増進の意識向上を推進するため、「憩の家講座」を開催している。
6. 患者の苦悩解決に向けて、院内放送やビデオの放送を提供している。
7. 医師、看護師など職員を対象に、相互理解や創設理念の周知徹底などを目的として、懇談会や勉強会または研修会を開催している。
8. 事情部教師の資質の向上を目的に、勉強会や研修会を開催している。
9. 入院患者および外来患者の個人情報保護の遺漏なきよう、研修会などを実施して万全の対策を図る。

※以上の活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一時自粛や変更しているものもある。

事情部おたすけ相談件数

(令和5年4月～令和6年3月)

年月	入 院	外 来	電 話	手 紙	合 計	男女別	
						男	女
令和5年 4月	2,905	0	63	0	2,968	1,429	1,539
5月	2,770	0	104	1	2,875	1,370	1,505
6月	3,495	0	104	0	3,599	1,738	1,861
7月	3,432	0	82	1	3,515	1,691	1,824
8月	3,205	0	64	1	3,270	1,819	1,451
9月	3,288	0	64	1	3,353	1,737	1,616
10月	3,468	0	75	1	3,544	1,823	1,721
11月	3,343	0	71	0	3,414	1,818	1,596
12月	3,290	0	60	1	3,351	1,834	1,517
令和6年 1月	3,112	0	76	1	3,189	1,691	1,498
2月	3,372	0	74	0	3,446	1,787	1,659
3月	3,418	0	74	3	3,495	1,844	1,651
合 計	39,098	0	911	10	40,019	20,581	19,438
総 計 40,019							

※新型コロナウイルス感染症拡大防止により、以下のように活動を制限しています。

- ・入院患者へのおたすけ
教師数やおたすけにまわる病棟数・患者数を調整
- ・外来相談
令和2年3月10日～休止
- ・電話相談
13：00～15：00と時間を変更して実施

憩の家講座

(令和5年4月～令和6年3月)

開催日	受講方法	回数	テーマ	講師
令和5年 6月22日 7月15日～ 8月31日	ライブ配信 オンデマンド配信	562	こころの病気を知る ～不安障害、適応障害～	精神神経科 部長 橋本 和典
令和5年 10月23日 11月13日～ 12月22日	ライブ配信 オンデマンド配信	563	いびき、眠気は要チェック ～睡眠時無呼吸症候群～	呼吸器内科 医員 池上 直弥
令和6年 3月19日 4月15日～ 5月24日	ライブ配信 オンデマンド配信	564	認知症を知る ～対処から予防まで～	脳神経内科 部長 末長 敏彦

備考：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、受講方法などを調整し開催している。

事情部外来相談件数

(令和5年4月～令和6年3月)

総数：0件				
相談内容内訳	男性	女性	合計	割合
①身上相談（病気の悩み）	0	0	0	0.0%
②事情相談（家庭の悩み）	0	0	0	0.0%
③身上、事情が重複した相談	0	0	0	0.0%
④おさづけ取次ぎ	0	0	0	0.0%
合 計	0	0	0	0.0%

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月10日から休止しています。

V 世 話 部

世話部は天理よろづ相談所を訪れる、さまざまな人々の世話どりをさせていただくため、以下の係をおいて業務を進めている。

令和5年4月に継続的な教育研修を統括する部門・体制の準備として「教育・研修事務局」を新設した。職員全体の研修、各職種における研修体制、関係する委員会と連携しての研修を統括していく。また、医療ようばく育成制度として「天理よろづ相談所 創設の理念」に基づいて医師、看護師をはじめ各種医療従事者を目指す者で、将来、天理よろづ相談所での勤務を志す人材の育成を行っている。

「相談係」は教内外の区別なく、喜びにあふれた幸せな家庭を築いていただけるように、結婚相談（平成30年4月から休止）をはじめ生活全般にわたる相談に応じている。

「編集係」は刊行物により啓発ならびに広報に当たるとともに、施設のあゆみを史料として編纂し、その向上に資するよう努めている。

「天理よろづ相談所ひのきしんセンター」は幅広くひのきしん者（奉仕者）を受け入れ、その企画や調整を担当している。受診案内、車イスの貸し出し、移動貸出図書など、憩の家を利用される方々に対してさまざまな分野で世話どりを行っている。

「めばえ託児所・わかぎ学童保育所」は、職員が安心して働くことができる職場環境を調べ、もって人材確保に資するために設立し、6ヵ月～就学前の乳幼児（めばえ託児所）と小学1年生～4年生（わかぎ学童保育所）の児童の保育を担っている。

他に糖尿病患者と医療関係者の会である「天理陽友会」事務局の事務を担当している。

身上部と協力して患者総合支援センターを設置し、入院から退院、またその後の療養生活までの手厚い世話どりを行っている。

「医療福祉係」として、医療福祉相談、低額診療業務を担当し、ソーシャルワーカーが患者やその家族の精神面、経済面、生活面などの相談相手となり、諸般の問題解決に努力している。

「在宅世話どりセンター」（令和元年7月より白川分院へ移設）は、当院での医療管理を継続中の在宅療養者に訪問診療、訪問看護を通して在宅医療を展開し、療養者とその家族へ支援活動を行っている。

1. 養 成 係

A 管外医療ようぼく養成の現況 (令和6年3月現在)

養 成 種 類	人 員
医 師 養 成	0名
薬 剤 師 養 成	1名
助 産 師 ・ 看 護 師 養 成	14名
理 学 療 法 士 養 成	0名
作 業 療 法 士 養 成	2名
合 計	17名

2. 福 祉 係

A 福祉法による診療状況 (件数) (令和5年4月～令和6年3月)

	生活保護			更生医療			育成医療			養育	指定難病			小児慢性 特定疾病			措置児童			合 計		
	入	外	計	入	外	計	入	外	計		入	外	計	入	外	計	入	外	計	入	外	計
4	35	393	428	2	20	22	1	2	3	0	61	1,221	1,282	9	48	57	0	8	8	108	1,692	1,800
5	37	389	426	7	22	29	0	1	1	0	58	1,217	1,275	7	50	57	1	8	9	110	1,687	1,797
6	30	440	470	7	21	28	0	1	1	0	65	1,283	1,348	8	56	64	0	8	8	110	1,809	1,919
7	38	381	419	7	20	27	0	1	1	1	53	1,218	1,271	4	53	57	0	9	9	103	1,682	1,785
8	26	364	390	3	20	23	0	2	2	0	73	1,228	1,301	7	68	75	0	11	11	109	1,693	1,802
9	22	366	388	3	17	20	0	1	1	0	65	1,222	1,287	5	51	56	0	6	6	95	1,663	1,758
10	33	392	425	5	18	23	0	1	1	0	73	1,223	1,296	7	52	59	0	6	6	118	1,692	1,810
11	42	393	435	12	17	29	0	0	0	0	67	1,221	1,288	6	46	52	0	3	3	127	1,680	1,807
12	44	390	434	6	13	19	0	0	0	0	68	1,262	1,330	8	68	76	0	6	6	126	1,739	1,865
1	42	393	435	5	13	18	0	0	0	0	64	1,139	1,203	7	47	54	0	4	4	118	1,596	1,714
2	45	371	416	3	11	14	0	0	0	0	67	1,126	1,193	5	46	51	0	3	3	120	1,557	1,677
3	39	382	421	4	15	19	0	0	0	1	71	1,208	1,279	5	70	75	0	5	5	120	1,680	1,800
計	433	4,654	5,087	64	207	271	1	9	10	2	785	14,568	15,353	78	655	733	1	77	78	1,364	20,170	21,534

B 初回面接月別件数 (入院患者のみ)

(令和5年4月～令和6年3月)

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
面接数	573	556	575	517	544	533	537	528	476	522	545	577	6,483

C 低額診療減免状況（一般医療減免分）

（令和5年4月～令和6年3月）

	区 分	患者診療日数（日）	診療費減免額（円）
令和5年 4～6月	外 来	2,307	4,174,890
	入 院	5,100	39,649,670
	計	7,407	43,824,560
7～9月	外 来	2,266	4,693,850
	入 院	4,875	38,777,540
	計	7,141	43,471,390
10～12月	外 来	2,394	5,499,760
	入 院	5,076	38,350,210
	計	7,470	43,849,970
令和6年 1～3月	外 来	2,108	4,048,860
	入 院	5,446	37,650,640
	計	7,554	41,699,500
合 計	外 来	9,075	18,417,360
	入 院	20,497	154,428,060
	計	29,572	172,845,420

D 献眼・献腎（令和5年4月～令和6年3月）

献 眼 登 録 者	0
角 膜 登 録 者	0
献 腎 登 録 者	0

3. 天理よろづ相談所ひのきしんセンター

天理よろづ相談所ひのきしんセンターは、天理よろづ相談所におけるひのきしん活動の推進と充実を目指し、平成9年4月に設置された。ひのきしんの活動内容は、従来から修養科・専修科により行われている清掃等のほかに、ひのきしん会員（主婦や教内勤務者、会社員などで構成、登録者数は令和5年度末で94名）により行われている外来者に対する案内や車椅子利用者への援助、また、入院者に対する移動貸出図書ほかの活動が行われている。

新型コロナウイルス感染予防の為、令和2年3月5日より、外来診療棟、本館南病棟、白川分院の病棟内におけるひのきしん活動は休止。(外来診療棟は令和4年5月9日より一部再開) 屋外のひのきしん活動は引き続き行っている。

ひのきしん活動状況

(令和5年4月～令和6年3月)

項 目	実 施 日 数	のべ実施者数(1回平均)
1. 会員によるひのきしん	198日 ／ 365日	430名 (2.2)
①外来診療棟(車椅子の援助や受診手続き援助など)	198日	219名 (1.5)
②移動貸出図書(本整理作業も含む)		0名 (0.0)
③カラオケ教室		0名 (0.0)
④ガーデニング(園芸活動)		50名 (1.0)
※⑤イベント		161名 (17.8)
2. 修養科・専修科によるひのきしん	48日 ／ 365日	695名 (14.5)
①修養科ひのきしん	11日	216名 (19.6)
②専修科ひのきしん	37日	479名 (12.9)
合 計 (1 + 2)	210日 ／ 365日	1120名 (4.6)

※⑤イベントの活動内容

北寮幹事会による環境整備

4. めばえ託児所・わかぎ学童保育所活動状況

○めばえ託児所

(令和5年4月～令和6年3月)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通常 保育	保育日数	20	20	22	20	23	20	20	20	20	19	19	20	243
	入所幼児数	2	1	0	0	0	3	0	1	2	0	0	1	10
	退所幼児数	3	1	3	0	1	1	2	0	0	1	0	4	16
	前月繰越幼児数	15	14	14	11	11	10	12	10	11	13	12	12	
	当月末在籍数	14	14	11	11	10	12	10	11	13	12	12	9	
	延べ利用者数	308	256	260	173	169	197	205	188	195	215	206	201	2,573
特別 保育	保育日数	8	8	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	23
	延べ利用者数	24	16	2	10	0	0	0	0	0	0	0	0	52
事前 保育	保育日数	0	4	0	0	3	5	6	6	10	0	5	4	43
	延べ利用者数	0	4	0	0	6	5	6	6	10	0	5	4	46
夜間 保育	保育日数	0	2	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	6
	延べ利用者数	0	2	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	6
病児 保育	保育日数	0	4	5	5	2	2	0	0	0	0	4	1	23
	延べ利用者数	0	5	8	5	2	2	0	0	0	0	4	1	27

○わかぎ学童保育所

(令和5年4月～令和6年3月)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通常 保育	保育日数	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243
	入所児童数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退所児童数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	前月繰越児童数	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	
	当月末在籍数	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	
	延べ利用者数	124	129	130	112	103	131	108	110	94	83	73	87	1,284
特別 保育	保育日数	5	0	0	10	22	4	4	1	8	2	0	7	63
	入所児童数	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	退所児童数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	前月繰越児童数	5	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
	当月末在籍数	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
	延べ利用者数	7	0	0	30	68	4	4	1	26	5	0	18	163
延長 保育	保育日数	13	11	9	13	16	11	9	12	8	6	5	8	121
	延べ利用回数	21	11	11	22	27	16	11	21	16	10	7	11	184

Ⅵ 医 学 研 究 発 表

令和5年4月1日～令和6年3月31日における医学研究発表は、書籍16件、学術雑誌170件、学会352件、研究会210件、その他の講演182件、院内集談会44件、一般向け誌上・講演39件、企業内講演3件であった。国際学会での発表等は、アメリカ合衆国、カナダ、中華人民共和国、香港、ドイツ、大韓民国、シンガポールの7カ国、海外出張は11件であった。国外・国内を問わず、学会や研究会がWeb開催や現地開催とWeb開催とのハイブリッド開催で実施された。なお、科・部等の配列順は機構図に基づいた。他施設との共同研究では、天理よろづ相談所の職員を下線で示した。2つ以上の科・部にまたがる研究は、指定のない限り、筆頭著者・演者の所属科・部に含めた。

総合内科・総合診療教育部

◇学 術 雑 誌

(欧 文)

1. Miyake H, Sada RM, Akebo H, Tsugihashi Y, Hatta K: Prevalence and factors associated with polypharmacy among patients with rheumatoid arthritis: a single-centre, cross-sectional study. *Clinical Rheumatology* 2023 ; 42(9) : 2287–2295.
2. Sakaguchi YM, Murakami K, Akebo H, Sada RM, Abe N, Maeda T, Goto M, Takahashi T, Takahashi Y, Kashiwara E, Shim J, Miyake H, Hatta K: Successful treatment of streptococcal toxic shock syndrome complicated by primary peritonitis and bilateral empyema in a healthy young woman: Identification of uncommon clone emm 103 and novel sequence type 1363. *IDCases* 2024 ; 35 : e 01927.
3. Miyake H, Minoda Sada R, Manabe A, Tsugihashi Y, Hatta K: Factors and reasons for non-vaccination among patients with systemic lupus erythematosus: A single-centre, cross-sectional study. *Internal Medicine* 2023 ; 62(17) : 2483–2491.
4. Nagatomi H, Sada RM, Abe N, Miyake H, Akebo H: Reviving Sternheimer stain: A single-center retrospective study to detect the diagnostic utility of urinary tract infections in the emergency department. *Journal of Infection and Chemotherapy* 2024 ; : S 1341-321 X(24)00054-0.
5. Kashiwara E, Sada RM, Tsugihashi Y, Obayashi H, Nakamura A, Abe N, Miyake H, Akebo H: Efficacy and safety of cefmetazole for bacteremia caused by extended-spectrum β -lactamase-producing enterobacterales vs carbapenems: A retrospective study. *Open Forum Infectious Diseases* 2023 ; 10(10) : ofad 502.

〈他施設との共同研究〉

6. Nozaki Y, Kotani T, Takeuchi T, Hidaka T, Miyake H, Hatta K, Kurosawa Y, Sudo M, Ito S, Kinoshita K, Matsumura I: The impact of early optimization of infliximab blood concentrations $>1 \mu\text{g/mL}$ on therapeutic effectiveness in rheumatoid arthritis. *Frontiers in Bioscience (Landmark Ed)* 2023 ; 28(4) : 68.

(邦 文)

7. 八田 和大：【原因不明で経過する発熱，不明熱患者のみかた】自己炎症性疾患・自己免疫疾患 家族性地中海熱. 診断と治療 2023 ; 111 (8) : 1069 – 1073.
8. 松島 弘季，明保 洋之，佐田 竜一：What's your diagnosis? (第247回) 理由に口無し. 総合診療 2023 ; 33 (7) : 764 – 768.
9. 井岡 修，明保 洋之：What's your diagnosis? (第253回) 黒い限定ベンツ. 総合診療 2024 ; 34 (1) : 14 – 17.
10. 木下 慶一郎，明保 洋之，佐田 竜一，仲野 健三，待本 貴文，八田 和大：腹部緊急手術における長期ステロイド使用と手術部位感染症の関係. 天理医学紀要 2023 ; 26 (2) : 76 – 82.

◇学 会

国内学会

特別講演・教育講演

1. 八田 和大：脊椎関節炎 診断のピットフォールと最新の治療戦略. 第38回日本臨床リウマチ学会，2023. 11. 18，北九州，現地開催

特別企画（シンポジウム・パネルディスカッション）

2. 明保 洋之：医師は，どのような時に傾聴に限界を感じるのか，それはなぜなのか？ NPO 法人対人援助・スピリチュアルケア研究会第16回大会，2023. 10. 22，Web 開催

一般演題（口演）

3. 吉田 和馬，佐田 竜一，柏原 英里子，明保 洋之，三宅 啓史，八田 和大：大型血管炎の診断 頭蓋型巨細胞性動脈炎（cranial GCA）における側頭動脈エコー検査の診断性能に関する単施設での検討. 第67回日本リウマチ学会総会・学術集会，2023. 4. 25，福岡，現地開催
4. 八田 和大：RA 加療中消化管穿孔を生じた関節リウマチの2例. 第67回日本リウマチ学会総会・学術集会，2023. 4. 25，福岡，現地開催
5. 八田 和大，明保 洋之，三宅 啓史，佐田 竜一：強皮症の検査と画像所見 強皮症心筋障害の検討. 第67回日本リウマチ学会総会・学術集会，2023. 4. 25，福岡，現地開催
6. 坂口 義彦，村上 廣一郎，柏原 英里子，佐田 竜一，阿部 教行，福田 砂織，中西 琴音，上岡 樹生：原発性腹膜炎と両側膿胸を合併し救命し得た streptococcal toxic shock syndrome の1例. 第97回日本感染症学会総会・学術講演会，第71回日本化学療法学会学術集会合同学会，2023. 4. 28 – 30，横浜・ハイブリッド開催
7. 村上 廣一郎，明保 洋之，佐田 竜一，吉田 和馬，柏原 英里子，田川 竣介，沈 載紀，三宅 啓史，八田 和大：天理よろづ相談所病院の研修環境変革 研修医からのアンケート

- ト調査に基づく取り組み. 第14回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2023, 2023. 5. 12-14, 豊田・名古屋 (愛知)・ハイブリッド開催
8. 藤原 実咲, 佐田 竜一, 吉田 和馬, 柏原 英里子, 田川 竣介, 沈 載紀, 明保 洋之, 三宅 啓史, 八田 和大: 病院で死亡する非担癌高齢患者の食事量の軌跡についての検討. 第14回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2023, 2023. 5. 12-14, 豊田・名古屋 (愛知)・ハイブリッド開催
 9. 中西 章, 高橋 佑輔, 田川 竣介, 沈 載紀, 三宅 啓史, 明保 洋之, 八田 和大: 若年免疫正常者に発症した, 嫌気性口腔内常在菌 *fusobacterium nucleatum* による細菌性肝膿瘍の一例. 第240回日本内科学会近畿地方会, 2023. 6. 24, 神戸・ハイブリッド開催
 10. 塩尻 祐哉, 吉田 和馬, 中井 光, 村上 廣一郎, 沈 載紀, 田川 竣介, 明保 洋之, 三宅 啓史, 朝倉 健太郎, 金井 恵理, 八田 和大: 巨細胞性動脈炎との鑑別を要し病変切除が著効した若年性側頭動脈炎の一例. 第32回日本リウマチ学会近畿支部学術集会, 2023. 8. 26-27, 奈良・ハイブリッド開催
 11. 木下 慶一郎, 丸山 互, 小谷 慎一, 右京 直哉, 赤坂 尚司, 大野 仁嗣: 血液悪性腫瘍患者における抗 CD20 モノクローナル抗体療法が及ぼす SARS-CoV-2 持続感染. 第85回日本血液学会学術集会, 2023. 10. 13, 東京・ハイブリッド開催
 12. 井岡 修, 明保 洋之, 村上 廣一郎, 田川 竣介, 沈 載紀, 三宅 啓史, 金井 恵理, 八田 和大: 横隔膜機能障害を呈した SLE 患者の Shrinking Lung Syndrome の 1 例. 第242回日本内科学会近畿地方会, 2023. 12. 9, 大阪・ハイブリッド開催
 13. 山岡 茉莉, 村上 廣一郎, 佐田 竜一, 明保 洋之, 田川 竣介, 沈 載紀, 三宅 啓史, 金井 恵理, 八田 和大: 悪性リンパ腫と鑑別を要した多発リンパ節腫大と脾腫を伴ったネコひっかき病の 1 例. 第242回日本内科学会近畿地方会, 2023. 12. 9, 大阪・ハイブリッド開催
 14. 武内 諒, 三宅 啓史, 前川 かく, 八隅 大地, 村上 廣一郎, 田川 竣介, 沈 載紀, 明保 洋之, 八田 和大, 金井 恵理: 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の寛解後に発症した劇症型心病変の一例. 第136回日本循環器学会近畿地方会, 2023. 12. 16, 大阪, 現地開催
 15. Takeuchi R, Miyake H, Maekawa K, Yazumi D, Murakami K, Tagawa S, Shim J, Akebo H, Hatta K, Iwai-Kanai E: A case of progressive heart failure due to myocarditis after the remission of eosinophilic granulomatosis with polyangitis. 第88回日本循環器学会学術総会, 2024. 3. 8-10, 神戸, 現地開催
 16. 中西 章, 田川 竣介, 永富 旺, 村上 廣一郎, 沈 載紀, 三宅 啓史, 明保 洋之, 金井 恵理, 八田 和大: 潜在性結核感染症について未治療であった維持透析患者に生じた結核性リンパ節炎の一例. 第243回日本内科学会近畿地方会, 2024. 3. 16, 大阪・ハイブリッド開催

◇研 究 会

特別講演・教育講演

1. 三宅 啓史: SLE に対する Treat-to-target. SLE Meeting to be Expert, 2023. 5. 31, 奈良・ハイブリッド開催

2. 三宅 啓史：高齢者関節リウマチのマネジメント. 第7回東信 IL-6 研究会, 2023. 6. 8, 長野・ハイブリッド開催
 3. 八田 和大：RA をめぐる肺病変. マルチコントロールを学ぶ会, 2023. 7. 7, 大阪・Web 開催
 4. 三宅 啓史：安全性と患者満足度を考慮した高齢者関節リウマチの治療. リウマチケア オンラインセミナー～患者治療満足度を上げる試み～, 2023. 7. 19, 奈良・Web 開催
 5. 三宅 啓史：関節リウマチ治療における JAK 阻害薬の位置づけ. Lilly RA Web Seminar, 2023. 8. 1, 奈良・Web 開催
 6. 三宅 啓史：EGPA の病態と治療. 奈良 EGPA 診療を考える会, 2023. 8. 31, 奈良・Web 開催
 7. 八田 和大：RA をめぐる肺病変. JAK Expert Web Seminar for Rheumatologists, 2023. 9. 7, 津（三重）・Web 開催
 8. 八田 和大：だれも語らなかった SpA. 八田道場で学ぶ実臨床での脊椎関節炎の診断と治療, 2023. 9. 14, 大阪・ハイブリッド開催
 9. 三宅 啓史：SLE 患者のポリファーマシーとその対策. 第2回 Nara SLE Treatment Conference, 2023. 9. 21, 奈良・ハイブリッド開催
 10. 八田 和大：神経障害性疼痛 その周辺と歴史・治療について. General Medical Treatment Seminar, 2023. 12. 20, 奈良・Web 開催
 11. 八田 和大：MTX の重要性和メトジェクト. MTX の使い方を考える若手の会, 2024. 2. 1, 奈良, 現地開催
 12. 三宅 啓史：関節リウマチ治療における JAK 阻害薬の位置付け. Lilly RA Web Conference～リウマチの実臨床を語る～, 2024. 2. 7, 大阪・ハイブリッド開催
 13. 三宅 啓史：RA 患者のポリファーマシーとその対策. RINVOQ Expert Meeting, 2024. 2. 21, 京都・ハイブリッド開催
- 一般演題（口演）
14. 三宅 啓史：安全性と患者満足度を考慮した高齢者関節リウマチの治療. Sarilumab Expert Meeting～発売5周年を振り返って～, 2023. 5. 20, 大阪・ハイブリッド開催
 15. 武内 諒, 村上 廣一朗, 松島 弘季, 沈 載紀, 田川 竣介, 明保 洋之, 三宅 洋之, 八田 和大：腎腫瘍の精査中に発症した多発血管炎性肉芽腫症の一例. 第19回腎疾患セミナー, 2023. 6. 29, 奈良・Web 開催
 16. 三宅 啓史：リウマチ足診療の重要性. 第4回 RA Total Care Meeting～リウマチの足病変を考える～, 2023. 9. 6, 奈良・ハイブリッド開催
 17. 木下 慶一郎：末梢関節痛・頸部痛から強直性脊椎炎の診断に至った一例. SpA diagnosis Skill improvement Seminar 2023, 2023. 10. 25, 大阪・ハイブリッド開催
 18. 三宅 啓史：RA 患者のポリファーマシーとその対策. Bio Tight Control を考える会—The First—, 2023. 12. 15, 大阪・ハイブリッド開催
 19. 三宅 啓史：高齢者関節リウマチの治療戦略. Sarilumab Review Webinar, 2024. 2. 15, 京都・Web 開催

◇その他の講演

1. 明保 洋之：骨転移とその症状緩和. 第114回まほろば PEACE 緩和ケア研修会, 2023. 9. 3, 天理, 現地開催
2. 明保 洋之：全人的苦痛に対する緩和ケア. 第114回まほろば PEACE 緩和ケア研修会, 2023. 9. 3, 天理, 現地開催

消化器内科、内視鏡センター

◇学術雑誌

(欧 文)

1. Yasumura K, Tochio T, Ohana M: Refractory gastric ulcer in the antrum. The American Journal of Gastroenterology 2024 ; doi : 10.14309/ajg.0000000000002651.
2. Nagao M, Ueo T, Fukuda A, Ohana M : Intraductal papillary mucinous carcinoma with co-mutations of KRAS/STK11. BMJ Case Reports 2023 ; 16(11) : e 255945.
3. Yasumura K, Minami R, Ueo T : Adenomyomatous hyperplasia of the ampulla of Vater. Clinical Gastroenterology and Hepatology 2023 ; doi : 10.1016/j.cgh. 2023.11.016.
4. Matsuyama S, Fukuda A, Omatsu R, Nagao M, Okano A, Ueo T, Ohana M, Seno H : A case of hepatic reactive lymphoid hyperplasia : The review of 23 cases from the literatures. Clinical Journal of Gastroenterology 2023 ; 16(6) : 877–883.
5. Matsuyama S, Fukuda A, Matsumoto A, Eguchi H, Ueo T, Ohana M, Seno H : Sporadic gastric juvenile polyposis with a novel SMAD 4 nonsense mutation in a mosaic pattern. Clinical Journal of Gastroenterology 2024 ; 17(1) : 23–28.
6. Matsuyama S, Fukuda A, Ueo T, Ohana M : Intussusception of mesenteric liposarcoma into the ascending colon. Internal Medicine 2023 ; doi : 10.2169/internalmedicine. 2670–23.
7. Matsuyama S, Fukuda A, Okano A, Ohana M : Atypical image change of hepatic mucinous cystic neoplasm. Internal Medicine 2023 ; doi : 10.2169/internalmedicine. 2780–23.
8. Okano A : Hepatic amyloidosis. Internal Medicine 2024 ; 63(4) : 613–614.
9. Matsuyama S, Fukuda A, Ohana M : Gastrointestinal : Lupus enteritis with duodenojejunal fistula causing intestinal obstruction and gastrointestinal perforation. Journal of Gastroenterology and Hepatology 2024 ; 39(2) : 220–221.
10. Minami A, Kubo T, Kashima H, Kobashi K, Yasumura S, Takada T, Kirita M, Tsuji Y, Onishi M, Yokota Y, Nakai H, Saito A, Okubo G, Ohana M, Noma S : CT findings of acute phlegmonous esophagogastritis : A case report. Tenri Medical Bulletin 2023 ; 26(1) : 14–19.

11. Ohno H, Ueo T: Sequential presentation of Hashimoto thyroiditis and idiopathic thrombocytopenic purpura followed by pernicious anemia and autoimmune atrophic gastritis with Helicobacter pylori infection: A potential case of autoimmune polyglandular syndrome type 3B. Tenri Medical Bulletin 2023 ; 26(2) : 132-136.

◇学会

国内学会

特別企画（シンポジウム・パネルディスカッション）

1. 安村 健人, 南 竜城, 上尾 太郎, 大花 正也: 内視鏡的乳頭部切除術にて診断しえた十二指腸乳頭部 Adenomyomatous hyperplasia の1例. 第110回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会, 2023. 6. 24, 大阪, 現地開催
2. 世木 美壮, 松本 敦, 栃尾 智正, 上尾 太郎, 大花 正也: 胃胎児消化管類似癌の4例. 第111回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会, 2023. 11. 18, 大阪, 現地開催
3. 奥村 圭, 南 竜城, 上尾 太郎, 大花 正也: 十二指腸乳頭部腫瘍に対して EUS-TA を行った3例について. 第111回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会, 2023. 11. 18, 大阪, 現地開催
4. 藤田 奈穂子, 上尾 太郎, 松本 淳, 南 竜城, 大花 正也: 当院での消化管出血に対する経カテーテル的動脈塞栓術 (transcatheter arterial embolization ; TAE) の治療成績. 第111回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会, 2023. 11. 18, 大阪, 現地開催

一般演題（口演）

5. 尾松 梨沙, 栃尾 智正, 八城 誠, 藤田 奈穂子, 安村 健人, 松山 祥, 豊田 文興, 小野山 裕亮, 長尾 宗政, 松本 淳, 南 竜城, 木村 勇斗, 上尾 太郎, 岡野 明浩, 久須美 房子, 大花 正也: メッケル憩室炎様の画像所見を呈した初発クローン病の一例. 第110回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会, 2023. 6. 24, 大阪, 現地開催
6. 村上 綾音, 藤田 奈穂子, 小川 慧人, 永友 秀, 世木 美壮, 尾松 梨沙, 安村 健人, 小野山 裕亮, 奥村 圭, 栃尾 智正, 松本 淳, 南 竜城, 上尾 太郎, 岡野 明浩, 久須美 房子, 大花 正也: 脾動脈瘤破裂を併発した自己免疫性膵炎 (Autoimmune pancreatitis : AIP) の1例. 第119回日本消化器病学会近畿支部例会, 2023. 9. 3, 大阪, 現地開催
7. 永友 秀, 南 竜城, 小川 慧人, 世木 美壮, 尾松 梨沙, 藤田 奈穂子, 小野山 裕亮, 安村 健人, 奥村 圭, 栃尾 智正, 松本 淳, 上尾 太郎, 岡野 明浩, 久須美 房子, 大花 正也: 若年男性に発症した充実性偽乳頭状腫瘍 (SPN) の1例. 第119回日本消化器病学会近畿支部例会, 2023. 9. 3, 大阪, 現地開催
8. 尾松 梨沙, 松本 淳, 小川 慧人, 永友 秀, 世木 美壮, 藤田 奈穂子, 安村 健人, 小野山 裕亮, 奥村 圭, 栃尾 智正, 南 竜城, 上尾 太郎, 岡野 明浩, 久須美 房子, 大花 正也: 免疫チェックポイント阻害薬 (ICI) 2剤併用により回腸穿孔をきたした一例. 第119回日本消化器病学会近畿支部例会, 2023. 9. 3, 大阪, 現地開催
9. 永友 秀, 栃尾 智正, 小川 慧人, 世木 美壮, 尾松 梨沙, 藤田 奈穂子, 安村 健人, 小野山 裕亮, 奥村 圭, 南 竜城, 松本 淳, 上尾 太郎, 岡野 明浩, 久須美 房子, 大花

正也：直腸（Rs）粘膜内癌に対してESD治療切除後4年で局所再発を来し
implantationによる再発が疑われた1例。第111回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会，
2023. 11. 18，大阪，現地開催

10. 小川 慧人，安村 健人，永友 秀，世木 美壮，尾松 梨沙，藤田 奈穂子，小野山 裕亮，
奥村 圭，栃尾 智正，松本 淳，南 竜城，上尾 太郎，岡野 明浩，久須美 房子，大花
正也：腸管病変を契機に診断に至った全身性ALアミロイドーシスの一例。第111回日
本消化器内視鏡学会近畿支部例会，2023. 11. 18，大阪，現地開催
11. 尾松 梨沙，南 竜城，小川 慧人，永友 秀，世木 美壮，藤田 奈穂子，安村 健人，小野山
裕亮，奥村 圭，栃尾 智正，松本 淳，上尾 太郎，岡野 明浩，久須美 房子，大花 正也：
感染性心内膜炎に併発した感染性肝動脈瘤により閉塞性黄疸をきたした一例。第111回
日本消化器内視鏡学会近畿支部例会，2023. 11. 18，大阪，現地開催 【優秀演題賞
受賞】
12. 渡邊 桂太，栃尾 智正，小川 慧人，世木 美壮，永友 秀，尾松 梨沙，藤田 奈穂子，
安村 健人，小野山 裕亮，奥村 圭，松本 淳，南 竜城，大花 正也，岡野 明浩，久須
美房子，上尾 太郎：当院にて経験した大腸憩室癌2症例。第120回日本消化器病学会近
畿支部例会，2024. 1. 27，神戸，現地開催

◇研 究 会

特別講演・教育講演

1. 久須美 房子：皮膚筋炎，間質性肺炎を合併した食道癌の治療方針。阪神食道疾患検討会，
2023. 9. 29，大阪，現地開催

一般演題（口演）

2. 永友 秀，安村 健人，小川 慧人，世木 美壮，尾松 梨沙，藤田 奈穂子，小野山 裕亮，
奥村 圭，栃尾 智正，松本 淳，南 竜城，上尾 太郎，岡野 明浩，久須 美房子，大花
正也：十二指腸乳頭部の粘膜下腫瘍に対し内視鏡的乳頭部切除術を施行し腺筋腫過形
成の診断に至った一例。京大消化器内科関連病院症例検討会，2023. 7. 1，大津（滋賀），
現地開催 【優秀演題賞 受賞】
3. 小川 慧人，松本 淳：示唆に富む腸管アミロイドーシスの2例。OMネットワーク，
2023. 7. 19，奈良，現地開催
4. 世木 美壮，松本 敦，上尾 太郎：胃胎児消化管類似癌の4例。第69回奈良県消化器内
視鏡研究会，2023. 12. 16，奈良・ハイブリッド開催

◇その他の講演

1. 安村 健人：腸炎いろいろ。RITEN（来天・Review of Internal medicine in TENri）
2023，2023. 7. 8，天理・ハイブリッド開催
2. 南 竜城：当院における膵癌診療の現状。消化器疾患医療連携の会，2023. 10. 19，奈良・
ハイブリッド開催

◇一般向け

(講演)

1. 大花 正也：潰瘍性大腸炎 基本と診療のコツ. 奈良市医師会学術講演会, 2023. 6. 29, 奈良・ハイブリッド開催

循環器内科

◇書籍

1. 西内 英：EnSiteTM 心房頻拍で使いこなす. 3D マッピングシステム徹底攻略！アブレーション治療成績を上げよう, pp198-206, 中村 啓二郎, 小松 雄樹 編集, メジカルビュー社 (東京), 2023
2. 中川 頌子：column 13 Fabry 病. 心不全治療薬の考え方, 使い方 改訂第2版, pp248-251, 齋藤 秀輝, 鍋田 健, 柴田 龍宏 編著, 中外医学社 (東京), 2023
3. 中川 頌子, 大郷 恵子：劇症型心筋炎の病理学的診断. 心原性ショックの制圧 循環器救急・集中治療のど真ん中に切り込む！ pp158-161, 川上 将司, 細田 勇人 編著, 中外医学社 (東京), 2024

◇学術雑誌

(欧文)

1. Amano M, Izumi C, Watanabe H, Ozasa N, Morimoto T, Bingyuan B, Suwa S, Miyake M, Tamura T, Nakagawa Y, Kadota K, Inuzuka Y, Minamimoto Y, Furukawa Y, Kaji S, Suzuki T, Akao M, Inada T, Kimura T; CAPITAL-RCT Investigators: Effects of long-term carvedilol therapy in patients with ST-segment elevation myocardial infarction and mildly reduced left ventricular ejection fraction. *American Journal of Cardiology* 2023 ; 199 : 50-58.
2. Onishi N, Kaitani K, Nakagawa Y, Kobori A, Inoue K, Kurotobi T, Morishima I, Matsui Y, Hirotsuke Yamaji, Yuko Nakazawa, Kusano K, Shimizu Y, Hanazawa K, Tamura T, Izumi C, Morimoto T, Ono K, Kimura T, Shizuta S, on behalf of the KPAF Investigators: Radiofrequency catheter ablation for atrial fibrillation patients on hemodialysis (From the Kansai Plus Atrial Fibrillation Registry) - Clinical impact of early recurrence. *Circulation Journal* 2024 ; doi : 10.1253/circj. CJ-23-0671.
3. Yamagami S, Nishiuchi S, Kaneko Y, Kondo H, Tamura T: Successful cryoablation of an atypical slow-slow atrioventricular nodal reentrant tachycardia utilizing a superior slow pathway. *HeartRhythm Case Reports* 2023 ; 9(9) : 624-628.
4. Motoyoshi T, Nishiuchi S, Yamagami S, Kondo H, Tamura T: Detailed mechanism of the paradoxical Coumel phenomenon in a case of orthodromic reciprocating tachycardia. *HeartRhythm Case Reports* 2024 ; doi : <https://doi.org/10.1016/j.hrcr>.

2024.02.002.

5. Yamagami S, Mori S, Nishiuchi S, Akiyama M, Nakano Y, Kondo H, Fukuzawa K, Tamura T : Successful supraventricular radiofrequency catheter ablation of premature ventricular contractions originating from the left ventricular summit. JACC. Clinical electrophysiology 2024 ; 10(2) : 405–413.

〈他施設との共同研究〉

6. Yaku H, Kato T, Morimoto T, Kaneda K, Nishikawa R, Kitai T, Inuzuka Y, Tamaki Y, Yamazaki T, Kitamura J, Ezaki H, Nagao K, Yamamoto H, Isotani A, Takeshi A, Izumi C, Sato Y, Nakagawa Y, Matoba S, Sakata Y, Kuwahara K, Kimura T ; GOREISAN-HF trial Investigators : Rationale and study design of the GOREISAN for heart failure (GOREISAN-HF) trial : A randomized clinical trial. American Heart Journal 2023 ; 260 : 18–25.
7. Kaneda K, Shiomi H, Abe M, Morimoto T, Yamamoto K, Obayashi Y, Nishikawa R, Tamura A, Kadota K, Domei T, Nakatsuma K, Yokomatsu T, Imai M, Taniguchi T, Nawada R, Toyofuku M, Tamura T, Inada T, Matsuda M, Sato Y, Furukawa Y, Ando K, Nakagawa Y, Kimura N ; CREDO-Kyoto PCI/CABG Registry Cohort-3 Investigators : Post-contrast acute kidney injury after emergent and elective percutaneous coronary intervention (from the CREDO-Kyoto PCI/CABG registry cohort 3). American Journal of Cardiology 2023 ; 202 : 58–66.
8. Obayashi Y, Shiomi H, Morimoto T, Miyake M, Inoko M, Nishikawa R, Kaneda K, Yamamoto K, Takeji Y, Tada T, Nagao K, Uegaito T, Ehara N, Sakai H, Suwa S, Tamura T, Sakamoto H, Inada T, Matsuda M, Sato Y, Furukawa Y, Ando K, Kadota K, Nakagawa Y, Kimura T ; CREDO-Kyoto AMI Registry Wave-2 Investigators. : The impact of mitral regurgitation on long-term outcomes in acute myocardial infarction undergoing percutaneous coronary intervention. American Journal of Cardiology 2023 ; 203 : 384–393.
9. Takeji Y, Taniguchi T, Morimoto T, Shirai S, Kitai T, Tabata H, Kitano K, Ohno N, Murai R, Osakada K, Murata K, Nakai M, Tsuneyoshi H, Tada T, Amano M, Watanabe S, Shiomi H, Watanabe H, Yoshikawa Y, Nishikawa R, Yamamoto K, Obayashi Y, Toyofuku M, Tatsushima S, Kanamori N, Miyake M, Nakayama H, Nagao K, Izuhara M, Nakatsuma K, Inoko M, Fujita T, Kimura M, Ishii M, Usami S, Sawada K, Nakazeki F, Okabayashi M, Shirotani M, Inuzuka Y, Ando K, Komiya T, Minatoya K, Kimura T : In-hospital outcomes after SAVR or TAVI in patients with severe aortic stenosis. Cardiovascular Intervention and Therapeutics 2024 ; 39 : 65–73.
10. Shiomi H, Kozuma K, Morimoto T, Kadota K, Tanabe K, Morino Y, Tamura T, Abe M, Suwa S, Ito Y, Kobayashi M, Dai K, Nakao K, Tarutani Y, Taniguchi R, Nishikawa H, Yamamoto Y, Yamasaki T, Okamura A, Nakagawa Y, Ando K,

Kobayashi K, Kawai K, Hibi H, Kimura T; RESET Investigators: Ten-year clinical outcomes from a randomized trial comparing new-generation everolimus-eluting stent versus first-generation Sirolimus-eluting stent: Results from the RESET extended study. *Catheterization and Cardiovascular Interventions* 2023; 102(4): 594–607.

11. Yamamoto K, Morimoto T, Natsuaki M, Shiomi H, Ozasa N, Sakamoto H, Takeji Y, Domei T, Tada T, Taniguchi R, Uegaito T, Yamada M, Takeda T, Eizawa H, Suwa S, Shirotani M, Tamura T, Inoko M, Sakai H, Ishii K, Toyofuku M, Miki S, Onodera T, Furukawa Y, Inada T, Ando K, Kadota K, Nakagawa Y, Kimura T, on behalf of the CREDO-Kyoto PCI/CABG Registry Cohort-3 Investigators: Polypharmacy and bleeding outcomes after percutaneous coronary intervention. *Circulation Journal* 2023; doi: 10.1253/circj.CJ-23-0558.
12. Tanaka H, Takegami M, Miyake M, Amano M, Kitai T, Fujita T, Koyama T, Ando K, Komiya T, Izumo M, Kawai H, Eishi K, Yoshida K, Kimura K, Nawada R, Sakamoto T, Shibata Y, Fukui T, Minatoya K, Tsujita K, Sakata Y, Kimura T, Nishimura K, Furukawa Y, Izumi C; BPV-AF Registry Group: Association of left atrial size with stroke or systemic embolism in patients with atrial fibrillation having undergone bioprosthetic valve replacement from the BPV-AF Registry. *Circulation Reports* 2023; 5(5): 210–216.
13. Seko Y, Kato T, Morimoto T, Yaku H, Inuzuka Y, Tamaki Y, Ozasa N, Shiba M, Yamamoto E, Yoshikawa Y, Yamashita Y, Kitai T, Taniguchi R, Iguchi M, Nagao K, Kawai T, Komasa A, Nishikawa R, Kawase Y, Morinaga T, Toyofuku M, Furukawa Y, Ando K, Kadota K, Sato Y, Kuwahara K, Kimura T; KCHF Study Investigators: Association between changes in loop diuretic dose and outcomes in acute heart failure. *ESC Heart Failure* 2023; 10(3): 1757–1770.
14. Obayashi Y, Kato T, Yaku H, Morimoto T, Seko Y, Inuzuka Y, Tamaki Y, Yamamoto E, Yoshikawa Y, Kitai T, Taniguchi R, Iguchi M, Kato M, Takahashi M, Jinnai T, Ikeda T, Nagao K, Kawai T, Komasa A, Nishikawa R, Kawase Y, Morinaga T, Su K, Kawato M, Inoko M, Toyofuku M, Furukawa Y, Nakagawa Y, Ando K, Kadota K, Shizuta S, Ono K, Sato Y, Kuwahara K, Ozasa N, Kimura T; KCHF Study Investigators: Tricuspid regurgitation in elderly patients with acute heart failure: Insights from the KCHF registry. *ESC Heart Failure* 2023; 10(3): 1948–1960.
15. Nishikawa R, Kato T, Morimoto T, Yaku H, Inuzuka Y, Tamaki Y, Yamamoto E, Ozasa N, Tada T, Sakamoto H, Seko Y, Shiba M, Yoshikawa Y, Yamashita Y, Kitai T, Taniguchi R, Iguchi M, Nagao K, Kawai T, Komasa A, Kawase Y, Morinaga T, Toyofuku M, Furukawa Y, Ando K, Kadota K, Sato Y, Kuwahara K, Kimura T; KCHF Study Investigators: The characteristics and outcomes in

patients with acute heart failure who used tolvaptan : From KCHF registry. ESC Heart Failure 2023 ; 10(5) : 3141–3151.

16. Natsuaki M, Watanabe H, Morimoto T, Kozuma K, Kadota K, Muramatsu T, Nakagawa Y, Akasaka T, Igarashi-Hanaoka K, Tanabe K, Morino Y, Ishikawa T, Katoh H, Nishikawa H, Tamura T, Ono K, Yamamoto K, Ishihara T, Abe M, Taniguchi R, Ikari Y, Okada K, Kimura T : Biodegradable or durable polymer drug-eluting stents in patients with coronary artery disease : Ten-year outcomes of the randomised NEXT Trial. EuroIntervention 2023 ; 19(5) : e 402-e 413.
17. Tamura Y, Tamura Y, Shigeta A, Hosokawa K, Taniguchi Y, Inami T, Adachi S, Tsujino I, Nakanishi N, Sato K, Sakamoto J, Tanabe N, Takama N, Nakamura K, Kubota K, Komura N, Kato S, Yamashita J, Takei M, Joho S, Ishii S, Takemura R, Sugimura K, Tatsumi K. : Adult-onset idiopathic peripheral pulmonary artery stenosis. European Respiratory Journal 2023 ; 62(6) : 2300763.
18. Takahashi K, Yamashita Y, Morimoto T, Tada T, Sakamoto H, Takase T, Hiramori S, Kim K, Oi M, Akao M, Kobayashi Y, Chen PM, Murata K, Tsuyuki Y, Nishimoto Y, Sakamoto J, Togi K, Mabuchi H, Takabayashi K, Kato T, Ono K, Kimura T ; COMMAND VTE Registry Investigators : Age and long-term outcomes of patients with venous thromboembolism : From the COMMAND VTE Registry. International Journal of Cardiology 2023 ; 383 : 89–95.
19. Senoo K, Yukawa A, Iwakoshi H, Nishimura T, Shimoo S, Inoue K, Sakatani T, Kakita K, Hattori T, Kitajima H, Nakai K, Nishiuchi S, Nakata M, Teramukai S, Shiraishi H, Matoba S : Impact of physician interpretation of at-home ECG on clinically-detected AF. International Journal of Cardiology. Heart & Vasculature 2024 ; 51 : 101378.
20. Myadam R, Crawford TC, Bogun FM, Gu X, Ellenbogen KA, Jasti S, Chicos AB, Roukoz H, Zimetbaum PJ, Kalbfleisch SJ, Murgatroyd FD, Steckman DA, Rosenfeld LE, Garlitski AC, Soejima K, Bhan AK, Vedantham V, Dickfeld TL, De Lurgio DB, Platonov PG, Zipse MM, Nishiuchi S, Ortman ML, Narasimhan C, Patton KK, Rosenthal DG, Mukerji SS, Hoogendoorn JC, Zeppenfeld K, Sauer WH, Kron J ; Cardiac Sarcoidosis Consortium : Risk of adverse outcomes associated with cardiac sarcoidosis diagnostic schemes. JACC. Clinical Electrophysiology 2023 ; 9(8 Pt 3) : 1719–1729.
21. Shiba M, Kato T, Morimoto T, Yaku H, Inuzuka Y, Tamaki Y, Ozasa N, Seko Y, Yamamoto E, Yoshikawa Y, Kitai T, Yamashita Y, Iguchi M, Nagao K, Kawase Y, Morinaga T, Toyofuku M, Furukawa Y, Ando K, Kadota K, Sato Y, Kuwahara K, Kimura T : Heterogeneity in characteristics and outcomes of patients who met the indications for vericiguat approved by the Japanese agency : From the KCHF registry. Journal of Cardiac Failure 2023 ; 29(6) : 976–978.

22. Aida K, Nagao K, Kato T, Yaku H, Morimoto T, Inuzuka Y, Tamaki Y, Yamamoto E, Yoshikawa Y, Kitai T, Taniguchi R, Iguchi M, Kato M, Takahashi M, Jinnai T, Kawai T, Komasa A, Nishikawa R, Kawase Y, Morinaga T, Su K, Kawato M, Seko Y, Inada T, Inoko M, Toyofuku M, Furukawa Y, Nakagawa Y, Ando K, Kadota K, Shizuta S, Ono K, Sato Y, Kuwahara K, Ozasa N, Kimura T : Prognostic value of the severity of clinical congestion in patients hospitalized for decompensated heart failure : Findings from the Japanese KCHF registry. *Journal of Cardiac Failure* 2023 ; 29(8) : 1150–1162.
23. Okubo N, Sugawara S, Fujiwara T, Sakatsume K, Doman T, Yamashita M, Goto K, Tateishi M, Suzuki M, Shirakawa R, Eura Y, Kokame K, Hayakawa M, Matsumoto M, Kawate Y, Miura M, Takiguchi H, Soga Y, Shirai S, Ando K, Arai Y, Nakayoshi T, Fukumoto Y, Takahama H, Yasuda S, Tamura T, Watanabe S, Kimura T, Yaoita N, Shimokawa H, Saiki Y, Kaikita K, Tsujita K, Yoshii S, Nakase H, Fujimaki S, Horiuchi H : von Willebrand factor Ristocetin co-factor activity to von Willebrand factor antigen level ratio for diagnosis of acquired von Willebrand syndrome caused by aortic stenosis. *Research and Practice in Thrombosis and Haemostasis* 2024 ; 8(1) : 102284.
24. Tsujisaka Y, Yamashita Y, Morimoto T, Takase T, Hiramori S, Kim K, Oi M, Akao M, Kobayashi Y, Chen PM, Murata K, Tsuyuki Y, Nishimoto Y, Sakamoto J, Togi K, Mabuchi H, Takabayashi K, Kato T, Ono K, Kimura T ; COMMAND VTE Registry Investigators : Application of the RIETE score to identify low-risk patients with pulmonary embolism : From the COMMAND VTE Registry. *Thrombosis Research* 2023 ; 232 : 35–42.
25. Chatani R, Yamashita Y, Morimoto T, Mushiake K, Kadota K, Kaneda K, Nishimoto Y, Ikeda N, Kobayashi Y, Ikeda S, Kim K, Inoko M, Takase T, Tsuji S, Oi M, Takada T, Otsui K, Sakamoto J, Ogihara Y, Inoue T, Usami S, Chen PM, Togi K, Koitabashi N, Hiramori S, Doi K, Mabuchi H, Tsuyuki Y, Murata K, Takabayashi K, Nakai H, Sueta D, Shioyama W, Dohke T, Nishikawa R, Kimura T ; COMMAND VTE Registry-2 Investigators : Cancer-associated venous thromboembolism in the direct oral anticoagulants era : Insight from the COMMAND VTE Registry-2. *Thrombosis Research* 2024 ; 234 : 86–93.

(邦 文)

26. 中川 頌子 : 【心不全のうっ血学】(Clinical Scenario 2) 心不全退院時のうっ血をいかに超音波で評価するか? 心エコー 2023 ; 24 (12) : 1232–1237.

◇学 会

国際学会

一般演題 (口演)

1. Nishiuchi S, Yamagami S, Sato T, Sutani T, Hasegawa Y, Onoue T, Ogata H,

Kawai R, Nakagawa S, Yamane K, Sakamoto J, Tamaki Y, Enomoto S, Miyake M, Kondo H, Tamura T: Long-term outcomes of catheter ablation for atrial tachyarrhythmias in grown-up congenital heart disease. APHRS 2023 第16回アジア太平洋ハートリズム学会, 2023. 9. 1-3, 香港, 現地開催

一般演題 (ポスター)

2. 佐藤 友啓, 西内 英, 山上 新太郎, 近藤 博和, 田村 俊寛: Procedure characteristics of cryoballoon ablation in patients with persistent atrial fibrillation compared with radiofrequency catheter ablation. 16th Asia Pacific Heart Rhythm Society (APHRS) Scientific Session, in conjunction with CardioRhythm 2023, 2023. 9. 1-3, 香港, 現地開催

国内学会

特別講演・教育講演

3. 西内 英: リードレスペースメーカー Micra 植え込み手技 ハンズオンセミナー. 日本不整脈心電学会近畿支部主催 第1回 Arrhythmia Boot Camp~不整脈医を目指す若手医師のための特別訓練~, 2023. 7. 29, 大阪・ハイブリッド開催
4. 田村 俊寛: 川崎病冠後遺症の成人期の話題: 2023 update Optimal PCI strategy for ACS and CCS in adult patients with Kawasaki Disease. Including a secondary study of the JROAD-DPC Study. 第31回日本心血管インターベンション治療学会学術集会: CVIT2023, 2023. 8. 4-6, 福岡, 現地開催
5. 西内 英: 周波数解析が示すもの: OT Near Field がもたらした新たな視点. 日本不整脈心電学会カテーテルアブレーション関連秋季大会2023, 2023. 11. 17-19, 福岡, 現地開催
6. 三宅 誠: もう一回議論したい! ドブラ vs スワングantz. 心不全患者の血行動態評価にスワングantzカテーテルを積極的にするべき. 日本心エコー図学会第28回冬期講習会, 2024. 1. 20-21, 大阪・ハイブリッド開催,
7. 西内 英: 心臓の深層にせまる, OT Near Field の真相. 第88回日本循環器学会学術集会, 2024. 3. 8-10, 神戸, 現地開催

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

8. 田村 俊寛: CVIT Masters Dr. Takeshi Kimura. 第31回日本心血管インターベンション治療学会学術集会: CVIT2023, 2023. 8. 4-6, 福岡, 現地開催
9. 田村 俊寛: TAVI 施行患者に対する PCI Chimney stenting in patients at risk for coronary artery obstruction in TAV-in-SAV procedure for a failed surgical bioprosthetic aortic valve. 第31回日本心血管インターベンション治療学会学術集会: CVIT2023, 2023. 8. 4-6, 福岡, 現地開催
10. 三宅 誠: 三尖弁閉鎖不全治療のプランニング 三尖弁逆流の手術適応と右室機能. 第71回日本心臓病学会学術集会, 2023. 9. 8-10, 東京, 現地開催
11. 田村 俊寛: 川崎病移行期・成人期の問題 Current status of PCI for the patients with coronary sequelae of Kawasaki disease from national survey. 第43回日本川崎

病学会・学術集会, 2023. 9. 30 – 10. 1, 吹田 (大阪), 現地開催

12. 田村 俊寛: 虚血性心不全への治療をどのように行うべきか? ~至適な血行再建適応の評価法とは? 理想と現実~. 第36回日本冠疾患学会学術集会, 2023. 11. 24 – 25, 金沢, 現地開催
 13. 西内 英: JCS2024×JHRS (心電図検定) 公認 心電図クイズ大会. 第88回日本循環器学会学術集会, 2024. 3. 8 – 10, 神戸, 現地開催
- 一般演題 (口演)
14. 本吉 司: Rastelli 型手術後遠隔期に人工導管および VSD パッチの感染性心内膜炎を発症した心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症の一例. 日本心エコー図学会第34回学術集会, 2023. 4. 21 – 23, 岐阜, 現地開催
 15. 小形 光, 山根 啓一郎: 不安定プラーク病変での slow flow /no reflow 現象の予防に Perfusion Balloon Ryusei が有効であった一例. 第61回 CVIT 関東甲信越地方会, 2023. 5. 13, 東京, 現地開催
 16. Nishiuchi S, Yamagami S, Kawai R, Sakamoto J, Yamane K, Tamaki Y, Enomoto S, Miyake M, Kondo H, Tamura T: Paced QRS morphology influenced by the leadless pacemaker implantation sites and patient characteristics. 第69回日本不整脈心電学会学術集会, 2023. 7. 6 – 9, 札幌 (北海道), 現地開催
 17. Sato T, Nishida T, Kato S, Junichi Sugiura, Ayaka Keshi, Hiroki Yano, Kazutaka Nogi, Nogi M, Ishihara S, Yukihiro Hashimoto, Yasuki Nakada, Ueda T, Nakagawa H, Senoo A, Onoue K, Watanabe M: Feasibility of right atrial posterior wall isolation in patients with atrial fibrillation refractory to multiple adjunctive ablation in addition to pulmonary vein isolation. 第69回日本不整脈心電学会学術集会, 2023. 7. 6 – 9, 札幌 (北海道), 現地開催
 18. 本吉 司, 山上 新太郎, 西内 英, 水原 ルーク, 松島 弘季, 天野 佑, 松田 匡雄, 萩原 悠斗, 酢谷 俊太, 奥田 豊生, 尾上 隆大, 野口 祐, 小形 光, 佐藤 友啓, 河合 龍馬, 中川 頌子, 山根 啓一郎, 坂本 二郎, 田巻 庸道, 榎本 操一郎, 三宅 誠, 近藤 博和, 田村 俊寛: カテーテルアブレーション時に SB チューブによる誘発が有用であった嚥下誘発性心房頻拍の一例. 第135回日本循環器学会近畿地方会, 2023. 7. 15, 豊中 (大阪), 現地開催
 19. 佐藤 友啓, 西内 英, 山上 新太郎, 近藤 博和, 田村 俊寛: 左室心尖部の可動性血栓症に対して外科的血栓除去術を行った1例. 第135回 日本循環器学会 近畿地方会, 2023. 7. 15, 豊中 (大阪), 現地開催
 20. 酢谷 俊太: TAVinSAV 施行後に人工弁感染性心内膜炎, 感染性肝動脈瘤, 右胃大網動脈瘤を発症した一例. 第135回日本循環器病学会近畿地方会, 2023. 7. 15, 豊中 (大阪), 現地開催
 21. 小形 光, 坂本 二郎: 左室流出路狭窄, 僧帽弁逆流を伴ったたこつぼ心筋症で心原性ショックが生じた一例. 第135回日本循環器学会近畿地方会, 2023. 7. 15豊中 (大阪), 現地開催

22. 坂本 二郎, 三宅 誠, 西内 英, 山根 啓一郎, 田卷 庸道, 榎本 操一郎, 近藤 博和, 田村 俊寛: 肺癌治療中に DMR による心不全を発症し, NT2clip で治療した 1 例. 第 13 回日本経カテーテル心臓弁治療学会学術集会, 2023. 7. 29, 東京, 現地開催
23. Hamaguchi Y, Enomoto S, Okuda T, Sutani T, Hagiwara Y, Onoue T, Motoyoshi T, Ogata H, Kawai R, Hamasaki M, Yamagami S, Nishiuchi S, Yamane K, Sakamoto J, Tamaki Y, Miyake M, Kondo H, Tamura T: In-vivo visualization of coronary artery embolism caused by BioGlue with optical coherence tomography after Bentall procedure. 第 31 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会: CVIT 2023, 2023. 8. 4-6, 福岡, 現地開催
24. Kawai R, Enomoto S, Amano Y, Matsushima K, Mizuhara L, Sutani T, Hagiwara Y, Onoue T, Ogata H, Noguchi Y, Sato T, Nakagawa S, Yamagami S, Nishiuchi S, Yamane K, Sakamoto J, Tamaki Y, Miyake M, Kondo H, Tamura T: An effective treatment of coronary intravascular lithotripsy for the culprit lesion of STEMI with heavy calcification. 第 31 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会: CVIT2023, 2023. 8. 4-6, 福岡, 現地開催
25. Enomoto S, Tamura A, Amano Y, Matsushima H, Mizuhara L, Sutani T, Hagiwara Y, Onoue T, Ogata H, Noguchi Y, Sato T, Kawai R, Nakagawa S, Yamagami S, Nishiuchi S, Yamane K, Sakamoto J, Tamaki Y, Miyake M, Kondo H, Tamura T: Very late stent thrombosis of left main coronary artery bifurcation lesion at 9 years after PCI with crush technique. 第 31 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会: CVIT2023, 2023. 8. 4-6, 福岡, 現地開催
26. Sakamoto J, Amano Y, Matsushima K, Mizuhara L, Okuda T, Sutani T, Hagiwara Y, Matsuda M, Onoue T, Motoyoshi T, Ogata H, Noguchi Y, Sato T, Kawai R, Nakagawa S, Yamagami S, Nishiuchi S, Yamane K, Tamaki Y, Enomoto S, Miyake M, Kondo H, Tamura T: Chimney stenting for right coronary artery at high risk of occlusion after TAV-in-SAV due to flail leaflet of SVD. 第 31 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会: CVIT2023, 2023. 8. 4-6, 福岡, 現地開催
27. 坂本 二郎, 田卷 庸道, 三宅 誠, 近藤 博和, 田村 俊寛: 抗 HER2 薬使用の乳癌患者における StageA 心不全に対する薬物治療についての検討. 第 71 回日本心臓病学会学術集会, 2023. 9. 8-10, 東京, 現地開催
28. 水原 ルーク, 田卷 庸道, 明保 洋之, 本吉 司, 尾上 隆大, 小形 光, 河合 龍馬, 山上 新太郎, 西内 英, 山根 啓一郎, 坂本 二郎, 榎本 操一郎, 三宅 誠, 近藤 博和, 田村 俊寛: 静脈血栓症に対する未分画ヘパリンの投与量の検討. 第 71 回日本心臓病学会学術集会, 2023. 9. 8-10, 東京, 現地開催
29. 坂本 二郎, 西内 英, 山根 啓一郎, 田卷 庸道, 榎本 操一郎, 三宅 誠, 近藤 博和, 田村 俊寛: ステージ A/B 心不全を有する乳癌患者における抗 HER2 療法施行による心機能低下について (リスク因子の管理の観点から). 第 6 回日本腫瘍循環器学会学術集会, 2023. 9. 30-10. 1, 神戸, 現地開催

30. 中川 頌子, 北井 豪, 河野 由枝, 庵地 雄太, 森内 健史, 新井 真理奈, 青木 竜男, 疇地 道代, 高濱 博幸, 高田 弥寿子, 田村 俊寛, 泉 知里: 当院における心不全患者への緩和ケアの提供内容, 時期に関する検討. 第27回日本心不全学会学術集会, 2023. 10. 6-8, 横浜・ハイブリッド開催
31. 山根 啓一郎, 野口 祐, 榎本 操一郎, 近藤 博和, 田村 俊寛: 高度石灰化病変に対して Rotablator を持ち込めず治療に難渋したが Shockwave により血行再建し得た一例. 第41回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会, 2023. 10. 7, 大阪, 現地開催
32. 野口 祐, 榎本 操一郎, 小形 光, 河合 龍馬, 佐藤 友啓, 中川 頌子, 山上 新太郎, 西内 英, 坂本 二郎, 山根 啓一郎, 田巻 庸道, 三宅 誠, 近藤 博和, 田村 俊寛: 出血性貧血を伴う胃癌術前に指摘された LAD 近位部病変に対して DCA による stent-less 血行再建を施行した 1 例. 第41回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会, 2023. 10. 7, 大阪, 現地開催
33. 松田 匡雄, 榎本 操一郎, 小形 光, 野口 祐, 佐藤 友啓, 河合 龍馬, 中川 頌子, 山上 新太郎, 西内 英, 山根 啓一郎, 坂本 二郎, 田巻 庸道, 三宅 誠, 近藤 博和, 田村 俊寛: 高度石灰化を伴う多枝病変による重症心不全に対して Impella および Shockwave IVL カテーテルにて治療した一例. 第41回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会, 2023. 10. 7, 大阪, 現地開催
34. 坂本 二郎, 三宅 誠, 中川 頌子, 山上 新太郎, 西内 英, 山根 啓一郎, 田巻 庸道, 榎本 操一郎, 近藤 博和, 田村 俊寛: 経食道心エコーで検出できない小欠損孔のため治療に難渋した ASD の 1 例. ストラクチャークラブ・ジャパン ライブデモンストレーション2023, 2023. 11. 3-4, 東京, 現地開催
35. 野口 祐: Heyde 症候群による出血性貧血によりショックを呈した重症大動脈弁狭窄症の 1 例. ストラクチャークラブ・ジャパン ライブデモンストレーション2023, 2023. 11. 3-4, 東京, 現地開催
36. 佐藤 友啓, 西内 英, 山上 新太郎, 近藤 博和, 田村 俊寛: 左房縫縮術後の癒痕関連マクロリエントリー性心房頻拍の診断と治療に 3D mapping system が有用であった 1 例. 日本不整脈心電学会カテーテルアブレーション関連秋季大会2023, 2023. 11. 17-19, 福岡, 現地開催
37. 酢谷 俊太: 右室心尖部に異常構造物を伴った心臓サルコイドーシスの一例. 第136回日本循環器学会近畿地方会, 2023. 12. 16, 大阪, 現地開催
38. 萩原 悠斗, 三宅 誠: 短期間で再発をきたした Calcified Amorphous Tumor (CAT) の一例. 第136回日本循環器学会近畿地方会, 2023. 12. 16, 大阪, 現地開催
39. 松田 匡雄, 西内 英, 山上 新太郎, 佐藤 友啓, 岩永 博登, 清水 貞則, 小形 光, 野口 祐, 河合 龍馬, 中川 頌子, 山根 啓一郎, 坂本 二郎, 田巻 庸道, 榎本 操一郎, 三宅 誠, 近藤 博和, 田村 俊寛: リードレスペースメーカー Aveir™ と MICRA™ 導入期における初期成績の比較. 第136回日本循環器学会近畿地方会, 2023. 12. 16, 大阪, 現地開催
40. 天野 佑, 坂本 二郎, 野口 祐, 中川 頌子, 三宅 誠, 田村 俊寛: 若手による弁膜症例

提示～治療選択は？～. 第136回日本循環器学会近畿地方会, 2023. 12. 16, 大阪, 現地開催

41. Miyake M, Noguchi Y, Sakamoto J, Kondo H, Arai Y, Doi H, Tamura T : 40-year survival after Glenn procedure without subsequent Fontan procedure in patients with single-ventricle physiology. 第25回日本成人先天性心疾患学会総会・学術集会, 2024. 1. 6－8, 東京, 現地開催
 42. 野口 祐 : 房室中隔欠損症術後遠隔期に進行した三尖弁狭窄症に対して手術加療した1例. 第25回日本成人先天性心疾患学会総会・学術集会, 2024. 1. 6－8, 東京, 現地開催
 43. 榎本 操一郎, 松田 匡雄, 水原 ルーク, 松島 弘季, 天野 佑, 萩原 悠斗, 尾上 隆大, 野口 祐, 小形 光, 佐藤 友啓, 河合 龍馬, 中川 頌子, 山上 新太郎, 西内 英, 山根 啓一郎, 坂本 二郎, 田巻 庸道, 三宅 誠, 近藤 博和, 田村 俊寛 : FP バイパス後の長区間閉塞に EVT を施行した CLTI の一例. 第42回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会, 2024. 3. 2, 大阪, 現地開催
 44. 尾上 隆大, 山根 啓一郎, 榎本 操一郎, 近藤 博和, 田村 俊寛 : 高度石灰化病変に対して OCT を用いて異なる debulking device で治療した一例. 第42回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会, 2024. 3. 2, 大阪, 現地開催
 45. Yamagami S, Nishiuchi S, Sato T, Akiyama M, Shimizu S, Nakano Y, Shimizu K, Kondo H, Tamura T : Successful supravalvular radiofrequency catheter ablation of premature ventricular contractions originating from the left ventricular summit. 第88回日本循環器学会学術集会, 2024. 3. 8－10, 神戸, 現地開催
 46. Nakagawa S, Miyake M, Yamagami S, Nishiuchi S, Yamane K, Sakamoto J, Tamaki Y, Enomoto S, Kondo H, Tamura T : Predictive factors for cardiac events in patients with extracardiac sarcoidosis. 第88回日本循環器学会学術集会, 2024. 3. 8－10, 神戸, 現地開催
 47. 松田 匡雄, 西内 英, 山上 新太郎, 佐藤 友啓, 小形 光, 野口 祐, 河合 龍馬, 中川 頌子, 山根 啓一郎, 坂本 二郎, 田巻 庸道, 榎本 操一郎, 三宅 誠, 近藤 博和, 田村 俊寛 : Successful management of ventricular tachycardia in a case of unrepaired pulmonary atresia with ventricular septal defect. 第88回日本循環器学会学術集会, 2024. 3. 8－10, 神戸, 現地開催
 48. Amano Y, Noguchi Y, Sakamoto J, Mizuhara L, Matsushima K, Matsuda M, Hagiwara Y, Onoue T, Ogata H, Kawai R, Sato T, Nakagawa S, Yamagami S, Nishiuchi S, Yamane K, Tamaki Y, Enomoto S, Miyake M, Kondo H, Tamura T : A successful case of transcatheter aortic valve implantation for the severe aortic stenosis accompanied by severe left-ventricular outflow tract obstruction. 第88回日本循環器学会学術集会, 2024. 3. 8－10, 神戸, 現地開催
- 一般演題 (ポスター)
49. 山上 新太郎, 西内 英, 佐藤 友啓, 村山 真規, 穂山 正弥, 中野 雄太, 清水 貞則, 清水 一茂, 杉村 宗典, 近藤 博和, 田村 俊寛 : Successful RFCA of swallowing-

induced AT arising from RSGP. 第69回日本不整脈心電学会学術大会, 2023. 7. 6-9, 札幌 (北海道), 現地開催

50. Okuda T, Yamane K, Amano Y, Matsushima K, Mizuhara L, Sutani T, Hagiwara Y, Onoue T, Motoyoshi T, Ogata H, Kawai R, Yamagami S, Nishiuchi S, Sakamoto J, Tamaki Y, Enomoto S, Miyake M, Kondo H, Tamura T: Long-term follow-up of coronary artery lesion after stent placement in an adult with Kawasaki disease. 第31回日本心血管インターベンション治療学会: CVIT2023, 2023. 8. 4-6, 福岡, 現地開催
51. 山根 啓一郎, 萩原 悠斗, 酢谷 俊太, 奥田 豊生, 本吉 司, 尾上 隆大, 小形 光, 濱崎 眞希, 濱口 侑大, 河合 龍馬, 山上 新太郎, 西内 英, 坂本 二郎, 田巻 庸道, 榎本 操一郎, 三宅 誠, 近藤 博和, 田村 俊寛: Clinical outcomes of patients with border FFR-CT. 第31回日本心血管インターベンション治療学会学術集会: CVIT2023, 2023. 8. 4-6, 福岡, 現地開催
52. 佐藤 友啓, 杉浦 純一, 加藤 翔太, 芥子 文香, 経堂 篤史, 中村 卓也, 信田 紗希, 矢野 裕紀, 野木 一孝, 橋本 行弘, 上田 友哉, 西田 卓, 渡邊 真言: A case of inferior wall ST-segment elevation during radiofrequency ablation of cavo-tricuspid isthmus. 第31回日本心血管インターベンション治療学会学術集会: CVIT2023, 2023. 8. 4-6, 福岡, 現地開催
53. 酢谷 俊太: A case of developing ACS while being FFR-CT Negative. 第31回日本心血管インターベンション治療学会学術集会: CVIT2023, 2023. 8. 4-6, 福岡, 現地開催
54. 西内 英, 山上 新太郎, 佐藤 友啓, 近藤 博和, 田村 俊寛: 未修復の極型ファロー四徴症に合併した心室頻拍に対しカテーテルアブレーションが奏功した一例. 日本不整脈心電学会カテーテルアブレーション関連秋季大会2023, 2023. 11. 17-19, 福岡, 現地開催
55. 山上 新太郎, 西内 英, 佐藤 友啓, 村山 真規, 穂山 正弥, 中野 雄太, 清水 貞則, 清水 一茂, 杉村 宗典, 近藤 博和, 田村 俊寛: Omnipolar technology near fieldを用いた左房後壁隔離時に生じる gap 部位の周波数解析. 日本不整脈心電学会カテーテルアブレーション関連秋季大会2023, 2023. 11. 17-19, 福岡, 現地開催
56. 萩原 悠斗, 山根 啓一郎: DOAC+P2Y12 受容体拮抗薬への変更後に心室細動及び亜急性ステント血栓症をきたした亜急性心筋梗塞の一例. 第36回冠疾患学会, 2023. 11. 24-25, 金沢 (石川), 現地開催
57. 野口 祐: Isometric handgrip stress test during right heart catheterization in patients with aortic stenosis. 第88回日本循環器学会学術集会, 2024. 3. 8-10, 神戸, 現地開催
58. Tamaki Y, Nabeta T, Kitai T, Naruse Y, Taniguchi T, Yoshioka K, Enomoto S, Miyake M, Kondo H, Matsue Y, Tamura T: Prognostic impact of initial presentation in patients with cardiac sarcoidosis. 第88回日本循環器学会学術集会, 2024. 3. 8-10, 神戸, 現地開催

59. 野口 祐 : Predictors of poor clinical outcome and mortality after transcatheter aortic valve replacement. 第88回日本循環器学会学術集会, 2024. 3. 8-10, 神戸, 現地開催
60. 尾上 隆大, 田巻 庸道 : Sex differences in patients with Takotsubo cardiomyopathy. 第88回日本循環器学会学術集会, 2024. 3. 8-10, 神戸, 現地開催
61. Matsushima K, Yamagami S, Nishiuchi S : Predictors for adverse cardiac events after the implantation of leadless pacemaker. 第88回日本循環器学会学術集会, 2024. 3. 8-3. 10, 神戸, 現地開催
62. 佐藤 友啓, 西内 英, 山上 新太郎, 近藤 博和, 田村 俊寛 : 学会誌 : Impact of Left ventricular diastolic function on the recurrence rate of atrial Fibrillation after Catheter Ablation. 第88回日本循環器学会学術集会, 2024. 3. 8-10, 神戸, 現地開催
63. Sakamoto J, Amano Y, Matsushima K, Mizuhara L, Hagiwara Y, Matsuda M, Onoue T, Ogata H, Noguchi Y, Sato T, Kawai R, Nakagawa S, Yamagami S, Nishiuchi S, Yamane K, Tamaki Y, Enomoto S, Miyake M, Kondo H, Tamura T : Mid-term outcomes of transcatheter aortic valve implantation (TAVI) for aortic valve stenosis in cancer patients. 第88回日本循環器学会学術集会, 2024. 3. 8-10, 神戸, 現地開催

◇研 究 会

特別講演・教育講演

1. 西内 英 : Freezor の使用経験. 第1回 Freezor Web Discussion, 2023. 4. 18, Web 開催
2. 西内 英 : AVNRT の治療戦略. 第1回 CRYSTAL, 2023. 4. 20, Web 開催
3. 西内 英 : 密着! Omnipolar Technology Near Field. Electrophysiology Expert Meeting 2023 Vol. 2, 周波数解析で見えてくる不整脈診断, 2023. 6. 7, Web 開催
4. 坂本 二郎 : がん患者さんの心臓血管を守る! ~がん治療最適化の為に~. Onco-Cardiology Up to Date, 2023. 6. 29, 奈良・ハイブリッド開催
5. 三宅 誠 : 弁膜症における心エコーの役割と抗凝固療法. 奈良心不全・弁膜症フォーラム, 2023. 7. 6, 奈良・ハイブリッド開催
6. 坂本 二郎 : 僧帽弁閉鎖不全症に対するマイトラクリップ治療の経験. 奈良心不全・弁膜症フォーラム~僧帽弁閉鎖不全症について~, 2023. 7. 6, 奈良・ハイブリッド開催
7. 坂本 二郎 : 心不全の診断と治療 (腫瘍循環器を含めて) ~薬剤師との連携. 第1回そらみつ大和 循環器薬薬連携の会, 2023. 7. 13, 天理・ハイブリッド開催
8. 西内 英 : 当院での Freezor の使用経験. 第2回 Freezor Web Discussion, 2023. 8. 10, Web 開催
9. 榎本 操一郎 : The DCS~BioFreedom Ultra が有用な症例とは. Kaneka メディックス研究会, 2023. 9. 13, Web 開催
10. 榎本 操一郎 : 当院における CTEPH 診療について. 日本新薬研究会, 2023. 10. 27, 奈良・Web 開催
11. 三宅 誠, 松谷 勇人 : 心エコー図検査 : 左室駆出率, SV, LAVI, ライブデモンストレー

ション. ECHO AWAJI CV IMAGING 2023, 2023. 11. 18-19, 淡路 (兵庫)・ハイブリッド開催

12. 田村 俊寛：地域に根ざしたより良い循環器診療を目指して. 第8回かかりつけ医ネットワーク診療連携講演会, 2023. 12. 7, 天理・ハイブリッド開催
 13. 三宅 誠：Low gradient AS. 第1回 K-SHD 研究会, 2023. 12. 9, 大阪, 現地開催
 14. 西内 英：EnSite で覗く周波数の世界. KANSAI EP・ABLATION CONFERENCE 2023, 2023. 12. 16, 大阪, 現地開催
 15. 西内 英：今改めて議論したいAVNRTの至適治療部位. Medtronic Ablation Conference, 2023. 12. 20, Web 開催
 16. 田村 俊寛：虚血性心疾患予防における脂質低下療法の意義. KOCHI CONFERENCE, 2024. 1. 19, 高知, 現地開催
 17. 榎本 操一郎：当院における PCI の近況に思うこと. Kansai KMH Forum, 2024. 1. 27, 大阪・ハイブリッド開催
 18. 榎本 操一郎：ACS における石灰化病変への対応. ACS PCI exchange, 2024. 2. 15, 京都・ハイブリッド開催
- 特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)
19. 西内 英：心房頻拍 New technology of EnSite X で立ち向かう. JAC Ablation live 2023, 2023. 4. 22, 大阪・ハイブリッド開催
 20. 田村 俊寛：Coronary protection の実際 (低位冠動脈, TAV in SAV の protection, chimney Senting など). 第1回 K-SHD 研究会, 2023. 12. 9, 大阪, 現地開催
 21. 西内 英：LBB PACING—fixed vs. extendable lead—. The 1st Hyogo Live Demonstration, 2024. 2. 3, 神戸, 現地開催
- 一般演題 (口演)
22. 山根 啓一郎：BioFreedom Ultra を留置した ACS2 症例. BioFreedom Ultra 症例検討会, 2023. 4. 7, 大阪, 現地開催
 23. 山根 啓一郎：FFR-CT 陰性を確認した9ヶ月後にACSを発症した一例. PCI management update meeting in Nara, 2023. 6. 3, 奈良・ハイブリッド開催
 24. 尾上 隆大, 坂本 二郎：肺高血圧を伴った心房中隔欠損症の一例. 第37回大阪木曜カンファランス, 2023. 6. 15, 大阪, 現地開催
 25. 山上 新太郎, 西内 英, 佐藤 友啓, 中野 雄太, 穂山 正弥, 清水 一茂, 清水 貞則, 森 俊平, 福沢 公二, 近藤 博和, 田村 俊寛：左房からの高周波通電が奏功した Marfan 症候群大動脈弁置換術後の LV summit 起源心室性期外収縮の一例. 第43回京滋奈良ハートリズム研究会, 2023. 6. 17, 京都, 現地開催 【第43回京滋奈良ハートリズム研究会 最優秀演題賞 受賞】
 26. 野口 祐：房室中隔欠損症術後遠隔期に進行した三尖弁および大動脈弁狭窄症に対する治療方針に苦慮した1例. 第10回まほろば ACHD 談話会, 2023. 6. 24, 橿原 (奈良), 現地開催
 27. 山根 啓一郎：高度石灰化病変に対して Rotablator を持ち込めず治療に難渋したが

- shockwave により血行再建し得た一例. 第30回鴨川インターベンションカンファレンス, 2023. 6. 28, 京都・ハイブリッド開催
28. 山根 啓一郎: スタチンによる脂質管理治療. Kowa Web Conference, 2023. 7. 13, 奈良・Web 開催
29. 野口 祐: ショックを合併した急性冠症候群が疑われた重症大動脈弁狭窄症の一例. 奈良 TAVI の会, 2023. 7. 14, 奈良, 現地開催
30. 山根 啓一郎: 当院での BioFreedom/Ryusei の使用実績 + α . カネカ研究会, 2023. 7. 21, 大阪, 現地開催
31. 山根 啓一郎: BioFreedom Ultra を留置した ACS 症例. BiofreedomUltra 症例検討会, 2023. 7. 25, Web 開催
32. 西内 英: ASD 閉鎖デバイス後に発生した wide QRS 頻拍 (ビデオライブ術者). Nara Heart Rhythm Seminar 2023 ~EAENA 研究会~, 2023. 7. 25, 奈良・ハイブリッド開催
33. 中川 頌子: 心筋症と心臓 MRI~心臓 MRI を日常臨床に生かすために~. Nara New Generation's CV Meeting, 2023. 10. 19, 奈良・ハイブリッド開催
34. 西内 英: Pacemapping で探す non-PV foci, iPASO の追試と最適化. 関西 CAS 2023, 2023. 10. 21, 大阪, 現地開催
35. 山上 新太郎, 西内 英, 佐藤 友啓, 中野 雄太, 穂山 正弥, 清水 一茂, 清水 貞則, 森 俊平, 福沢 公二, 近藤 博和, 田村 俊寛: 左房からの高周波通電が奏功した Marfan 症候群大動脈弁置換術後の LV summit 起源心室性期外収縮の一例. 第11回 Leverage Heart Rhythm Conference, 2023. 10. 28, 大阪, 現地開催
36. 山根 啓一郎: 難渋症例, 当院での BioFreedom Ultra の使用実績. 難渋症例について考える会, 2023. 11. 16, 大阪, 現地開催
37. 尾上 隆大, 山根 啓一郎: 高度石灰化病変に対して OCT を用いて異なる debulking device で治療した一例. 第31回鴨川 Intervention Conference, 2023. 11. 22, 京都, 現地開催
38. 中川 頌子, 天野 雅史, 倉島 真一, 入江 勇旗, 森内 健史, 坂本 考弘, 天木 誠, 神崎 秀明, 森田 佳明, 北井 豪, 泉 知里: 心病変合併ファブリー病の早期診断における心臓 MRI による Native T1 と心エコー図検査によるストレインの有用性に関する検討. 第13回関西心エコーリサーチクラブ, 2023. 12. 2, 姫路 (兵庫)・ハイブリッド開催
39. 山根 啓一郎: 様々な場面で遭遇する足の痛みについて. 足の痛み WEB seminar, 2023. 12. 8, 京都・ハイブリッド開催
40. 水原 ルーク, 野口 祐, 三宅 誠: 治療方針に苦慮した二次孔欠損型 ASD の一例. 第1回 K-SHD 研究会, 2023. 12. 9, 大阪, 現地開催
41. 水原 ルーク, 野口 祐, 三宅 誠: 治療方針に苦慮した二次孔欠損型 ASD の一例. 天神京カンファレンス, 2023. 12. 9, 大阪, 現地開催
42. 野口 祐: 成人期にバルサルバ洞破裂を来した心室中隔欠損の I 型の 1 例. 第11回まほろば ACHD 談話会, 2023. 12. 10, 大阪, 現地開催

43. 榎本 操一郎：Physiological assessment を行った2症例. 京阪奈 iFR SyncVision Seminar, 2023. 12. 15, 京都, 現地開催
44. 尾上 隆大, 三宅 誠, 天野 佑, 松島 弘季, 水原 ルーク, 奥田 豊生, 酢谷 俊太, 萩原 悠斗, 松田 匡雄, 本吉 司, 小形 光, 野口 祐, 佐藤 友啓, 河合 龍馬, 中川 頌子, 山上 新太郎, 西内 英, 山根 啓一郎, 坂本 二郎, 田巻 庸道, 榎本 操一郎, 近藤 博和, 田村 俊寛：バルサルバ洞動脈瘤破裂を生じた心室中隔欠損の一例. 第22回京都心血管フォーラム, 2024. 1. 6, 京都, 現地開催
45. 中川 頌子, 三宅 誠, 野口 祐, 小形 光, 佐藤 友啓, 河合 龍馬, 山上 新太郎, 西内 英, 山根 啓一郎, 坂本 二郎, 田巻 庸道, 榎本 操一郎, 近藤 博和, 田村 俊寛：心病変を伴わない全身サルコイドーシスの心血管イベント発症の予測因子に関する検討. 第22回京都心血管疾患フォーラム, 2024. 1. 6, 京都, 現地開催
46. 山根 啓一郎：BioFreedom Ultra を留置したACS 症例. BFU Conference, 2024. 1. 29, Web 開催
47. 山根 啓一郎：ACS に対して Ryusei を使用した3症例. Ryusei 企画, 2024. 2. 6, Web 開催
48. 山根 啓一郎：当院でのFFRCT の運用・実績と症例提示. 第1回FAN京滋奈良, 2024. 2. 9, 京都, ハイブリッド開催
49. 山根 啓一郎, 水原 ルーク, 榎本 操一郎, 近藤 博和, 田村 俊寛：高度石灰化を伴う右大腿膝窩動脈閉塞病変に対してEVTを施行したCLTIの一例. 第69回京滋奈良 Interventional Cardiology 研究会, 2024. 2. 17, 京都, ハイブリッド開催
50. 山上 新太郎：デバイス治療選択に色々悩んだ症例. U40 京滋奈良 CRT 症例検討会, 2024. 2. 28, Web 開催
51. 榎本 操一郎：カテーテル診断・治療のトレンドを考える. PHILIPS round table discussion, 2024. 3. 1, 大阪, 現地開催
52. 山根 啓一郎：高血圧症におけるエンレストの有用性について. NETWORK MEETING, 2024. 3. 15, 奈良・ハイブリッド開催
- 一般演題（ポスター）
53. 小形 光, 坂本 二郎：Infective endocarditis after transcatheter aortic valve implantation: characteristic of causative organisms and clinical course in Japan. 第1回K-SHD研究会, 2023. 12. 9, 大阪, 現地開催
54. 本吉 司, 萩原 悠斗, 酢谷 俊太, 奥田 豊生, 尾上 隆大, 小形 光, 濱崎 眞希, 濱口 侑大, 河合 龍馬, 山上 新太郎, 西内 英, 山根 啓一郎, 坂本 二郎, 田巻 庸道, 榎本 操一郎, 三宅 誠, 近藤 博和, 田村 俊寛：Evolut PRO+留置後遠隔期に生じた急性冠症候群の一例. 第1回K-SHD研究会, 2023. 12. 9, 大阪, 現地開催

◇その他の講演

1. 田村 俊寛：看護に役立つ心電図セミナー ～虚血性心疾患編～ 治療の最前線. 心電図研修所合同会社, 2023. 4, Web 開催
2. 榎本 操一郎：The DCS～BioFreedom Ultra が持つ無二の特性. 近畿心血管治療ジョ

イントライブ2023, 2023. 4. 13–15, 大阪, 現地開催

3. 近藤 博和：循環器疾患と慢性便秘症との関わり. おなかの健康を考えるセミナー～循環器内科医の立場から～, 2023. 4. 27, 奈良, Web 開催
4. 田巻 庸道：心不全に合併した高尿酸血症の治療. 心不全と尿酸を考える会, 2023. 5. 19, 橿原 (奈良), Web 開催
5. 田巻 庸道：心不全再入院を防ぐために一当院の心不全チームの取り組み－. Heart Failure Seminar～心不全のトータルマネジメントを考える, 2023. 5. 26, 天理, Web 開催
6. 田村 俊寛：至適な TAVI 治療を目指して～当院300例の経験から～. 循環器疾患 Up to Date, 2023. 6. 16, Web 開催
7. 田村 俊寛：成人心疾患に対するカテーテルインターベンション. 日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定機構第16回認定講習会, 2023. 6. 17–18, Web 開催
8. 田巻 庸道：超高齢社会の心不全診療 –KCHF レジストリーからの知見–. ARNI WEB LIVE SYMPOSIUM, 2023. 6. 20, 大阪・Web 開催
9. 近藤 博和：循環器疾患と睡眠呼吸障害—市中病院での取り組み—. 第6回循環器と睡眠呼吸障害に関する懇話会, 2023. 7. 8, 大阪・ハイブリッド開催
10. 田巻 庸道：心不全診療のピットフォール. RITEN (来天・Review of Internal medicine in TENri) 2023, 2023. 7. 8, 天理・ハイブリッド開催
11. 田巻 庸道：心アミロイドーシス診療の地域連携. 地域連携のモデルケースから学ぶ心不全へのアプローチ, 2023. 7. 29, Web 開催
12. 近藤 博和：心不全と高カリウム血症. Hyperkalemia Management Seminar in Kansai, 2023. 8. 2, 大阪・Web 開催
13. 山上 新太郎：Web コメンテーター. 当院におけるクライオアブレーション, 2023. 8. 23, Web 開催
14. 田巻 庸道：HFpEF 診療を考える. 循環器疾患セミナー, 2023. 8. 25, 奈良・Web 開催
15. 近藤 博和：これからの心不全診療—多職種協働を活かした疾病管理—. 心不全 WEB セミナー～心不全療養指導士と共に考える心不全診療～, 2023. 8. 31, 奈良・Web 開催
16. 田巻 庸道：循環器内科からみる ATTRv アミロイドーシスの臨床像. ここが知りたいアミロイドーシスの診断と治療 in Nara, 2023. 9. 29 橿原 (奈良)・Web 開催
17. 近藤 博和：胸痛をきたす疾患. 奈良県消防学校講義, 2023. 10. 5, 宇陀 (奈良), 現地開催
18. 山上 新太郎：Web コメンテーター. Medtronic Persistent-AF Webinar, 2023. 10. 24, Web 開催
19. 山上 新太郎：Web コメンテーター. 持続性心房細動に対するクライオアブレーションの適応を考える, 2023. 11. 8, Web 開催
20. 田巻 庸道：HFpEF 診療アップデート. 第19回やまと循環器連携懇話会, 2023. 11. 11, 奈良・ハイブリッド開催

21. 河合 龍馬：脂質異常管理～冠動脈疾患の予防に向けての現状と課題を踏まえて～。
Kowa Web Conference, 2023. 12. 12, ハイブリッド開催
22. 山上 新太郎：Web コメンテーター。Cryo Possibilities, 2024. 1. 26, Web 開催
23. 田巻 庸道：心アミロイドーシスの早期診断と地域連携～奈良県における心アミロイドーシス診療の均てん化を目指して～。奈良県心アミロイドーシス連携会, 2024. 1. 19, 奈良, 現地開催
24. 近藤 博和：これからの心不全治療～StageA/B からの介入～。循環器疾患病診連携セミナー, 2024. 1. 27, 奈良・ハイブリッド開催
25. 河合 龍馬：ARNI での心不全治療～症例から学ぶ～。循環器疾患 病診連携セミナー, 2024. 1. 27, 奈良・ハイブリッド開催
26. 田村 俊寛：PCI テクニック《14 班に分かれてのディスカッション》。第19回日本 PCI フェローコース ミニグループディスカッション①, 2024. 2. 3-4, 横浜, 現地開催
27. 榎本 操一郎：PCI トラブルシューティング《14 班に分かれてのディスカッション》。第19回日本 PCI フェローコース ミニグループディスカッション②, 2024. 2. 3-4, 現地開催
28. 田村 俊寛：PCI トラブルシューティング《14 班に分かれてのディスカッション》。第19回日本 PCI フェローコース ミニグループディスカッション②, 2024. 2. 3-4, 横浜, 現地開催
29. 榎本 操一郎：PCI のための血管内イメージング読影テクニック《14 班に分かれてのディスカッション》。第19回日本 PCI フェローコース ミニグループディスカッション③, 2023. 2. 3-4, 横浜, 現地開催
30. 榎本 操一郎：PCI 総合討論会；Case discussion《14 班に分かれてのディスカッション》。第19回日本 PCI フェローコース ミニグループディスカッション④, 2023. 2. 3-4, 横浜, 現地開催

◇院内集談会

1. 田村 俊寛：TAVI と経皮的 ASD 閉鎖術について。看護師勉強会, 2023. 6. 29, 外来診療棟 5 階
2. 近藤 博和：心筋症について。心不全チームカンファレンス, 2024. 2. 13, 外来棟中会議室, 外来診療棟中会議室
3. 山根 啓一郎：EVT について。病棟講義, 2024. 3. 6, 外来診療棟 5 階中会議室

◇一般向け

(雑誌・書籍)

〈他施設との共同研究〉

1. Seko Y, Kato T, Morimoto T, Yaku H, Inuzuka Y, Tamaki Y, Ozasa N, Shiba M, Yamamoto E, Yoshikawa Y, Kitai T, Yamashita Y, Iguchi M, Nagao K, Kawase Y, Morinaga T, Toyofuku M, Furukawa Y, Ando K, Kadota K, Sato Y, Kuwahara K, Kimura T: Weight loss during follow-up in patients with acute heart failure: From the KCHF registry. PLoS One 2023 ; 18(6) : e 0287637.

◇企業内講演

1. 西内 英：Aveir 植え込みをはじめて思っていること。Aveir 植え込みをはじめて思っていること，2023. 8. 20，Web 開催

呼 吸 器 内 科

◇書 籍

1. 羽白 高：SGRQ (St.George's Respiratory Questionnaire). 臨床・研究で活用できる！QOL 評価マニュアル，pp80－85，下妻 晃二郎 監修，能登 真一 編集，医学書院（東京），2023

◇学 術 雑 誌

(欧 文)

1. Maruguchi M, Tanaka E, Okagaki N, Tanaka Y, Sakamoto H, Takeda A, Yamamoto R, Nakamura S, Matsumura K, Ueyama M, Ikegami N, Kaji Y, Hashimoto S, Hajiro T, Taguchi Y: Clinical impact of chronic pulmonary aspergillosis in patients with nontuberculous mycobacterial pulmonary disease and role of computed tomography in the diagnosis. Internal Medicine 2023 ; 62 : 3291–98.
2. Yamamoto R, Okagaki N, Sakamoto H, Tanaka Y, Takeda A, Maruguchi N, Nakamura S, Matsumura K, Ueyama M, Ikegami N, Kaji Y, Hashimoto S, Tanaka E, Taguchi Y, Maruyama W, Katsuragawa H, Sumiyoshi S, Hajiro T: Intravascular large B-cell lymphoma presenting as pulmonary ground-glass nodules that progressed slowly over several months with no overt symptoms. Internal Medicine 2024 ; 63 : 559–63.
3. Nakayama Y, Tanaka E, Ueyama M, Terada S, Inao T, Kaji Y, Yasuda T, Hashimoto S, Hajiro T, Hatta K, Noma S, Taguchi Y: Clinical characteristics of rheumatoid arthritis patients complicated with pulmonary nontuberculous mycobacterial disease : a cross-sectional case series study. Modern Rheumatology 2023 ; 33(5) : 936–943.

〈他施設との共同研究〉

4. Shirai T, Tanino Y, Nikaido T, Takaku Y, Hashimoto S, Taguchi Y, Baba T, Ogura T, Kataoka K, Nakayama M, Yamada Y, Matsushima S, Minami K, Miyazaki Y: Utility of budgerigar/pigeon/parrot-specific IgG antibody with ImmunoCAP® in bird-related hypersensitivity pneumonitis caused by other bird species and duvet. Respiratory Investigation 2023 ; 61(4) : 520–526.
5. Okamoto M, Fujimoto K, Johkoh T, Kawaguchi A, Mukae H, Sakamoto N, Ogura T, Ikeda S, Kondoh Y, Yamano Y, Komiya K, Umeki K, Nishikiori H, Tanino Y,

Tsuda T, Arai N, Komatsu M, Sakamoto S, Yatera K, Inoue Y, Miyazaki Y, Hashimoto S, Shimizu Y, Hozumi H, Ohnishi H, Handa T, Hattori N, Kishaba T, Kato M, Inomata M, Ishii H, Hamada N, Konno S, Zaizen Y, Azuma A, Suda T, Izuhara K, Hoshino T: A prospective cohort study of periostin as a serum biomarker in patients with idiopathic pulmonary fibrosis treated with nintedanib. Scientific Reports 2023 ; 13(1) : 22977.

6. Kataoka K, Oda K, Takizawa H, Ogura T, Miyamoto A, Inoue Y, Akagawa S, Hashimoto S, Kishaba T, Sakamoto K, Hamada N, Kuwano K, Nakayama M, Ebina M, Enomoto N, Miyazaki Y, Atsumi K, Izumi S, Tanino Y, Ishii H, Ohnishi H, Suda T, Kondoh Y: Cohort study to evaluate prognostic factors in idiopathic pulmonary fibrosis patients introduced to oxygen therapy. Scientific Reports 2023 ; 13(1) : 13664.

◇学会

国内学会

特別企画（シンポジウム・パネルディスカッション）

1. 羽白 高：働き方改革いよいよ始動！あなたの施設はどう対応？ 第102回日本呼吸器学会近畿地方会，2024. 1. 20，大阪，現地開催

一般演題（口演）

2. 池上 直弥，橋本 成修，岡垣 暢紘，坂本 裕人，田中 佑磨，武田 淳志，丸口 直人，山本 亮，中村 哲史，松村 和紀，上山 維晋，加持 雄介，田中 栄作，田口 善夫，久保武，羽白 高，野間 恵之，住吉 真治，小橋 陽一郎：過敏性肺炎の診断・治療方針決定における経気管支クライオ肺生検の有用性の検討．第63回日本呼吸器学会学術講演会，2023. 4. 28－30，東京・ハイブリッド開催
3. 松村 和紀，岡垣 暢紘，田中 佑磨，武田 淳志，丸口 直人，山本 亮，中村 哲史，上山 維晋，池上 直弥，加持 雄介，橋本 成修，田中 栄作，田口 善夫，羽白 高：肉腫型悪性胸膜中皮腫の経過観察中に多発脳転移を来して閉塞性水頭症を来した一例．第101回日本呼吸器学会近畿地方会・第131回日本結核・非結核性抗酸菌症学会近畿支部会合同学会，2023. 7. 22，神戸，現地開催
4. 中村 哲史，外山 尚吾，岡垣 暢紘，田中 佑磨，坂本 裕人，武田 淳志，中西 司，松村 和紀，上山 維晋，池上 直弥，加持 雄介，橋本 成修，田中 栄作，田口 善夫，羽白 高：扁平上皮癌への形質転換を伴った，Exon21 L858R 変異陽性肺腺癌の一例．第101回日本呼吸器学会近畿地方会・第131回日本結核・非結核性抗酸菌症学会近畿支部会合同学会，2023. 7. 22，神戸，現地開催
5. 武田 淳志，岡垣 暢紘，田中 佑磨，丸口 直人，山本 亮，中村 哲史，松村 和紀，上山 維晋，池上 直弥，加持 雄介，橋本 成修，田中 栄作，田口 善夫，羽白 高：胸腺腫合併重症筋無力症（MG）術後，COVID-19治療中に発症した医原性 Buffalo Chest の一例．第101回日本呼吸器学会近畿地方会・第131回日本結核・非結核性抗酸菌症学会近畿支部会合同学会，2023. 7. 22，神戸，現地開催

6. 坂本 裕人, 田畑 寿子, 茆原 雄一, 角 謙介, 水口 正義, 小栗 晋, 佐藤 敦夫, 坪井 知正: 喘息と鑑別を要し妊娠出産を経て気管支結核と診断した一例. 第101回日本呼吸器学会近畿地方会・第131回日本結核・非結核性抗酸菌症学会近畿支部会合同学会, 2023. 7. 22, 神戸, 現地開催
7. 田中 佑磨, 池上 直弥, 外山 尚吾, 武田 淳志, 岡垣 暢紘, 坂本 裕人, 中西 司, 松村 和紀, 中村 哲史, 上山 維晋, 加持 雄介, 橋本 成修, 田中 栄作, 田口 善夫, 羽白 高: 成人期に多発嚢胞感染を契機に先天性気道肺奇形と診断された一例. 第101回日本呼吸器学会近畿地方会・第131回日本結核・非結核性抗酸菌症学会近畿支部会合同学会, 2023. 7. 22, 神戸, 現地開催
8. 岡垣 暢紘, 橋本 成修, 田中 佑磨, 武田 淳志, 丸口 直人, 山本 亮, 中村 哲史, 松村 和紀, 上山 維晋, 池上 直弥, 加持 雄介, 田中 栄作, 田口 善夫, 羽白 高: 原因不明の呼吸不全を繰り返し診断に苦慮した卵円孔開存症による Platypnea-Orthodeoxia Syndrome の1例. 第101回日本呼吸器学会近畿地方会, 2023. 7. 22, 神戸, 現地開催
9. 田中 佑磨, 池上 直弥, 外山 尚吾, 岡垣 暢紘, 坂本 裕人, 武田 淳志, 中村 哲史, 松村 和紀, 上山 維晋, 加持 雄介, 橋本 成修, 田中 栄作, 田口 善夫, 羽白 高: 成人期に多発嚢胞感染を契機に先天性肺気道奇形と診断された一例. 第101回日本呼吸器学会近畿地方会・第131回日本結核／非結核性抗酸菌学会 近畿地方会, 2023. 7. 22, 神戸, 現地開催
10. 武田 淳志, 加持 雄介, 外山 尚吾, 岡垣 暢紘, 坂本 裕人, 田中 佑磨, 中西 司, 中村 哲史, 松村 和紀, 上山 維晋, 池上 直弥, 橋本 成修, 田中 栄作, 田口 善夫, 羽白 高: 肺癌の術後再発との鑑別に難渋した胸腺腫術後再発の一例. 第102回日本呼吸器学会近畿地方会・第7回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 近畿地方会, 2024. 1. 20, 大阪, 現地開催
11. 中西 司, 外山 尚吾, 岡垣 暢紘, 田中 佑磨, 武田 淳志, 中村 哲史, 松村 和紀, 上山 維晋, 池上 直弥, 加持 雄介, 橋本 成修, 田中 栄作, 田口 善夫, 羽白 高: 関節痛やぶどう膜炎を認めるも気道症状から診断に至った再発性多発軟骨炎の一例. 第102回日本呼吸器学会近畿地方会・第7回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 近畿地方会, 2024. 1. 20, 大阪, 現地開催
12. 坂本 裕人, 黄 文禧, 榛間 智子, 吉田 薫, 國宗 直紘, 矢野 翔平, 伊藤 雅弘, 高橋 祥太, 森田 恭平, 吉村 千恵, 西坂 泰夫, 池田 正俊, 水谷 知里, 桜井 孝規: イブランチニブによる肺胞出血と考えた1例. 第102回日本呼吸器学会近畿地方会・第7回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会近畿支部学術集会 合同学会, 2024. 1. 20, 大阪, 現地開催
13. 松村 和紀, 外山 尚吾, 岡垣 暢紘, 田中 佑磨, 中西 司, 武田 淳志, 中村 哲史, 上山 維晋, 池上 直弥, 加持 雄介, 橋本 成修, 田中 栄作, 田口 善夫, 羽白 高, 金森 直美, 住吉 真治: 右胸水貯留で来院し, 診断に苦慮した IgG4 関連胸膜炎の一例. 第102回日本呼吸器学会近畿地方会・第7回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 近畿地方会, 2024. 1. 20, 大阪, 現地開催

14. 田中 佑磨, 橋本 成修, 外山 尚吾, 岡垣 暢紘, 坂本 裕人, 武田 淳志, 松村 和紀, 中村 哲史, 上山 維晋, 池上 直弥, 加持 雄介, 田中 栄作, 田口 善夫, 羽白 高: 肺非結核菌抗酸菌症を背景に発症した肺 MALT リンパ腫の一例. 第102回日本呼吸器学会近畿地方会・第7回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 近畿地方会, 2024. 1. 20, 大阪, 現地開催
15. 外山 尚吾, 岡垣 暢紘, 田中 佑磨, 坂本 裕人, 中西 司, 武田 淳志, 松村 和紀, 中村 哲史, 上山 維晋, 池上 直弥, 加持 雄介, 橋本 成修, 田中 栄作, 田口 善夫, 久保 武, 野間 恵之, 住吉 真治, 小橋 陽一郎, 羽白 高: 肺多発結節で発病し外科的肺生検で診断した古典的 Hodgkin リンパ腫の一例. 第102回日本呼吸器学会近畿地方会・第7回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 近畿地方会, 2024. 1. 20, 大阪, 現地開催
16. 岡垣 暢紘, 池上 直弥, 外山 尚吾, 田中 佑磨, 武田 淳志, 中西 司, 中村 哲史, 松村 和紀, 上山 維晋, 加持 雄介, 橋本 成修, 田中 栄作, 田口 善夫, 羽白 高: ALK 陽性の非小細胞肺癌に対してカルボプラチン, ペメトレキセド, ペムブロリズマブ併用療法を使用した2例. 第102回日本呼吸器学会近畿地方会・第7回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 近畿地方会, 2024. 1. 20, 大阪, 現地開催
17. 田中 佑磨, 橋本 成修, 外山 尚吾, 岡垣 暢紘, 坂本 裕人, 武田 淳志, 中村 哲史, 松村 和紀, 上山 維晋, 池上 直弥, 加持 雄介, 田中 栄作, 田口 善夫, 久保 武, 野間 恵之, 住吉 真治, 羽白 高: 肺非結核性抗酸菌症を背景に発症した肺 MALT リンパ腫の一例. 第102回日本呼吸器学会近畿地方会・第7回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 近畿地方会, 2024. 1. 20, 大阪, 現地開催
18. 上山 維晋, 外山 尚吾, 岡垣 暢紘, 坂本 裕人, 田中 佑磨, 武田 淳志, 中西 司, 中村 哲史, 松村 和紀, 池上 直弥, 加持 雄介, 橋本 成修, 羽白 高, 田中 栄作, 田口 善夫, 野間 恵之: クライオバイオプシーで溶接工肺と診断した一例. 第114回日本呼吸器内視鏡学会近畿支部会, 2024. 2. 3, 大阪, 現地開催

一般演題 (ポスター)

19. 上山 維晋, 岡垣 暢紘, 坂本 裕人, 田中 佑磨, 武田 淳志, 丸口 直人, 山本 亮, 中村 哲史, 松村 和紀, 池上 直弥, 加持 雄介, 橋本 成修, 羽白 高, 田中 栄作, 田口 善夫, 野間 恵之: 間質性肺炎患者の経過観察における胸部 X 線動態撮影の応用. 第63回日本呼吸器学会学術講演会, 2023. 4. 28, 東京・ハイブリッド開催
20. 上山 維晋, 岡垣 暢紘, 坂本 裕人, 田中 佑磨, 武田 淳志, 丸口 直人, 山本 亮, 中村 哲史, 松村 和紀, 池上 直弥, 加持 雄介, 橋本 成修, 羽白 高, 田中 栄作, 田口 善夫, 野間 恵之: 当院におけるクライオバイオプシーの出血リスク因子. 第46回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2023. 6. 29-30, 横浜・ハイブリッド開催

◇研 究 会

一般演題 (口演)

1. 外山 尚吾, 岡垣 暢紘, 田中 佑磨, 坂本 裕人, 中西 司, 武田 淳志, 松村 和紀, 中村 哲史, 上山 維晋, 池上 直弥, 加持 雄介, 橋本 成修, 田中 栄作, 田口 善夫, 山本 亮, 久保 武, 野間 恵之, 住吉 真治, 小橋 陽一郎: 多発すりガラス結節を呈し外科的

肺生検を行った1例. 第160回びまん性肺疾患研究会, 2024. 3. 2, 大阪, 現地開催

◇その他の講演

1. 橋本 成修: 間質性肺炎の考え方. RITEN (来天・Review of Internal medicine in TENri) 2023, 2023. 7. 8, 天理・WEB 開催
2. 上山 維晋: IV期ドライバー陰性/進展型小細胞肺癌についてのパネルディスカッション. 肺癌診療 Next Generation セミナー, 2023. 9. 22, 大阪, 現地開催
3. 上山 維晋: 肺癌治療におけるクリニカルクエスチョン. 肺癌治療研究会〜プラクティスを再考する〜, 2023. 10. 18, 大阪, 現地開催

◇一般向け

(講演)

1. 池上 直弥: いびき, 眠気は要チェック〜睡眠時無呼吸症候群〜. 第563回憩の家講座, 2023. 10. 23, 天理・Web 開催

内 分 泌 内 科

◇書籍

1. 林野 泰明: PAID. 臨床・研究で活用できる! QOL 評価マニュアル, pp106-111, 下妻 晃二郎 監修, 能登 真一 編集, 医学書院 (東京), 2023

◇学術雑誌

(欧文)

1. Hayashino Y, Okamura S, Tsujii S, Ishii H; Diabetes Distress and Care Registry at Tenri Study Group: Diabetes distress is associated with future risk of progression of diabetic nephropathy in adults with type 2 diabetes: A prospective cohort study (Diabetes Distress and Care Registry at Tenri [DDCRT 23]). Canadian Journal of Diabetes 2023; 47(6): 519-524.
2. Hayashino Y, Izumi K, Origasa H, Nishimura R, Tajima N: Causes of death in Japanese people with type 2 diabetes and factors associated with all-cause mortality from a large registry in Japan: The Japan Diabetes Complication and its Prevention prospective (JDCP) study-9. Diabetology International 2023; 14(3): 272-279.
3. Hayashino Y, Goto M, Yamamoto T, Tsujii S, Ishii H: The Japanese version of Problem Areas in Diabetes Scale: A clinical and research tool to assess emotional functioning among people with diabetes. Diabetology International 2023; 15(1): 117-122.
4. Okamura S, Niihata K, Nishiwaki H, Tsujii S, Ishii H, Hayashino Y, Kurita N, Diabetes Distress and Care Registry at Tenri Study Group: Association between physical activity and kidney function decline in patients with type 2 diabetes: a

prospective cohort study (Diabetes Distress and Care Registry at Tenri [DDCRT 11]). Journal of Nephrology 2023 ; 36(9) : 2657–2660.

〈他施設との共同研究〉

5. Niihata K, Nishiwaki H, Kinoshita M, Kurosawa K, Sakuramachi Y, Matsunaga S, Okamura S, Tsujii S, Hayashino Y, Kurita N; Diabetes Distress and Care Registry at Tenri Study Group: Association between urinary C-megalin levels and progressive kidney dysfunction: A cohort study based on the diabetes distress and care registry at Tenri (DDCRT 24). Acta Diabetologica 2023 ; 60(12) : 1643–1650.
6. Bouchi R, Noda M, Hayashino Y, Goto A, Yamazaki K, Suzuki H, Furukawa TA, Izumi K, Kobayashi M; J-DOIT 2 Study Group: Behavioral change stage might moderate the impact of multifaceted interventions on non-attendance from medical care among patients with type 2 diabetes: The Japan Diabetes Outcome Intervention Trial-2 Large-Scale Trial 007 (J-DOIT 2-LT 007). Journal of Diabetes Investigation 2023 ; 14(7) : 907–916.

(邦 文)

〈他施設との共同研究〉

7. 山城 健二, 高橋 紘, 林野 泰明, 折笠 秀樹, 泉 和生, 田嶋 尚子, 西村 理明: 糖尿病合併症の実態とその抑制に関する大規模観察研究 追跡期間における癌発症とそのリスク因子 JDCP study 11. 糖尿病 2023 ; 66 (8) : 655–666.

◇学会

国内学会

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

1. 林野 泰明: QOL や満足度／負担度の測定と臨床的示唆①総論／合併症や生命予後. 第60回日本糖尿病学会近畿地方会, 2023. 10. 14, 神戸, 現地開催
2. 林野 泰明: 糖尿病医療学における行動医学的アプローチ. 第58回糖尿病学の進歩, 2024. 2. 16–17, 京都・ハイブリッド開催

一般演題 (口演)

3. 林野 泰明, 岡村 真太郎, 辻井 悟, 栗田 宜明: 糖尿病患者の健康に関連する希望に影響する要因の検討. 第66回日本糖尿病学会年次学術集会, 2023. 5. 11–13, 鹿児島・ハイブリッド開催
4. 木下 真紀, 下村 大樹, 嶋田 昌司, 上岡 樹生, 岡村 真太郎, 林野 泰明: 免疫チェックポイント阻害薬による副腎皮質機能不全早期発見に向けた連携システムの構築. 日本医療検査科学会第55回大会, 2023. 10. 6–8, 横浜, 現地開催

〈他施設との共同研究〉

5. 堀川 千嘉, 高原 充佳, 片上 直人, 武田 安永, 竹内 瑞希, 藤原 和哉, 鈴木 浩明, 津田 謹輔, 吉岡 成人, 押田 芳治, 島野 仁, 佐藤 譲, 林野 泰明, 田嶋 尚子, 西村 理明, 山崎 義光, 曾根 博仁: 炭水化物エネルギー比率の算出方法の違いは, 糖尿病患者の炭水化物エネルギー比率と心血管疾患発症リスクの関係に影響しうるか. 第77回日

本栄養・食糧学会大会, 2023. 5. 12-14, 札幌 (北海道), 現地開催

◇研 究 会

特別講演・教育講演

1. 林野 泰明：糖尿病診療における受診中断について考える。糖尿病療養 UPDATE Seminar, 2023. 4. 13, 高知・Web 開催
2. 林野 泰明：糖尿病の地域連携について考える。つつじ糖尿病セミナー, 2023. 4. 27, 相模原 (神奈川)・Web 開催
3. 林野 泰明：糖尿病の地域連携について考える。Teijin Health Care 奈良一糖尿病 Web セミナー, 2023. 6. 15, 橿原・Web 開催
4. 林野 泰明：誰も教えてくれなかった糖尿病をもつ人への診療のコツ。EDeN web communication, 2023. 11. 29, 松山 (愛媛)・Web 開催
5. 林野 泰明：糖尿病を持つ人への受診中断対策を考える。第27回地域医療研修会, 2023. 12. 9, 奈良, Web 開催
6. 林野 泰明：糖尿病を持つ人への受診中断対策を考える。13CARAT DiaMond Web Lecture from NARA, 2024. 1. 12, 奈良・Web 開催
7. 林野 泰明：糖尿病を持つ人への受診中断対策を考える。DiaMond Seminar in 十勝, 2024. 3. 1, 十勝 (北海道)・Web 開催
8. 林野 泰明：糖尿病を持つ人への受診中断対策を考える。DiaMond Seminar in 神戸, 2024. 3. 14, 神戸・Web 開催

一般演題 (口演)

9. 八隅 大地, 櫻町 惟, 岸 晃生, 高井 杏実, 重永 真梨子, 津川 峻輔, 黒澤 健太郎, 高野 季代子, 松永 佐澄志, 岡村 真太郎, 辻井 悟, 林野 泰明：高血糖・低血糖を繰り返し診断に難渋した糖尿病の一例。第17回糖尿病臨床フォーラム, 2024. 2. 10, 大阪, 現地開催

脳 神 経 内 科

◇学 術 雑 誌

(欧 文)

〈他施設との共同研究〉

1. Ohira M, Yoshii K, Aso Y, Nakajima H, Yamashita T, Takahashi-Iwata I, Maeda N, Shindo K, Suenaga T, Matsuura T, Sugie K, Hamano T, Arai A, Furutani R, Suzuki Y, Kaneko C, Kobayashi Y, Campos-Alberto E, Harper LR, Edwards J, Bender C, Pilz A, Ito S, Angulo FJ, Erber W, Madhava H, Moisi J, Jodar L, Mizusawa H, Takao M: First evidence of tick-borne encephalitis (TBE) outside of Hokkaido Island in Japan. Emerging Microbes & Infections 2023 ; 12(2) : 2278898.

◇学 会

国内学会

一般演題（口演）

1. 松田 明宏, 新出 明代, 末長 敏彦: 乳酸アシドーシスの急速進行により心停止に至った MELAS の一例. 第125回日本神経学会近畿地方会, 2023. 7. 1, 大阪・ハイブリッド開催
2. 藤原 実咲, 新出 明代, 山口 聡子, 野寺 裕之, 末長 敏彦: FDG PET/CT の高集積部位の生検が組織診断に有用であった, 神経サルコイドーシスの 1 例. 第241回日本内科学会近畿地方会, 2023. 9. 2, 大阪・ハイブリッド開催
3. 山口 聡子, 渡邊 圭崇, 伊藤 滉, 王 晨堯, 松田 明宏, 新出 明代, 野寺 裕之, 飯塚 高浩, 末長 敏彦: 初回の髄液検査で HSV-DNA 陰性であった再発性単純ヘルペス脳炎の一例. 第27回日本神経感染症学会総会・学術大会, 2023. 10. 13, 千葉・ハイブリッド開催
4. 伊藤 滉, 前田 由起, 新出 明代, 末長 敏彦: Dinosaur tail sign を認めた低髄圧による頭痛の症例. 第51回日本頭痛学会総会, 2023. 12. 1-2, 横浜, 現地開催
5. 王 晨堯, 伊藤 滉, 渡邊 圭崇, 松田 明宏, 山口 聡子, 新出 明代, 野寺 裕之, 末長 敏彦: 視神経萎縮に伴う急性進行性視力低下を呈する難治性抗 MOG 抗体症候群の 1 例. 日本神経学会第126回近畿地方会, 2023. 12. 16, 大阪, 現地開催

◇研 究 会

一般演題（口演）

1. 山口 聡子, 新出 明代, 野寺 裕之, 末長 敏彦: 脳卒中の診断と治療. 第一三共勉強会, 2023. 4. 27, 天理・Web 開催
2. 王 晨堯, 野村 倫子, 玉城 駿介, 山川 健太郎, 武信 洋平, 尾崎 彰彦: MRI フォローにより経時的に新規病変を認めた MS 症例. MS online clinical conference これからの MS 診療を考える, 2023. 5. 25, 天理・Web 開催
3. 渡邊 圭崇: 難治性の double seronegative MG (抗 LRP4 抗体陽性) に対してウィフガートを投与した一例. 奈良重症筋無力症フォーラム, 2023. 7. 14, 橿原 (奈良)・ハイブリッド開催
4. 伊藤 滉, 渡邊 圭崇, 石川 大樹, 片山 拓也, 王 晨堯, 松田 明宏, 山口 聡子, 新出 明代, 野寺 裕之, 末長 敏彦: Dinosaur tail sign を認めた低髄圧による頭痛の症例. 第 4 回頭痛専門医を目指す会, 2023. 8. 5, 大阪・ハイブリッド開催
5. 王 晨堯, 伊藤 滉, 渡邊 圭崇, 松田 明宏, 山口 聡子, 新出 明代, 野寺 裕之, 末長 敏彦: 家族性パーキンソン病患者における LCIG 試行の 1 例. 第 7 回 KANSAI aPD Conference, 2023. 9. 22, 大阪・ハイブリッド開催
6. 王 晨堯, 伊藤 滉, 渡邊 圭崇, 松田 明宏, 山口 聡子, 新出 明代, 野寺 裕之, 末長 敏彦: 視神経萎縮に伴う急性進行性視力低下を呈する難治性抗 MOG 抗体症候群の 1 例. 奈良脳神経内科治療戦略セミナー2023, 2023. 12. 7, 橿原 (奈良)・ハイブリッド開催
7. 松田 明宏, 新出 明代, 末長 敏彦: オフ症状とジスキネジアの対処に苦慮した症例.

Safinamide Users Meeting in 天理, 2023.12.12, 天理・ハイブリッド開催

8. 伊藤 滉, 渡邊 圭崇, 王 晨堯, 松田 明宏, 山口 聡子, 新出 明代, 野寺 裕之, 末長 敏彦: 非典型的な頭部 MRI 画像を呈する再発を繰り返した多発性硬化症の 1 例. MS Online Clinical Conference, 2023.12.18, 橿原 (奈良)・Web 開催

◇その他の講演

1. 末長 敏彦: 脳卒中後の痛み up to date. 脳卒中を考える, 2023.4.27, 天理・Web 開催
2. 末長 敏彦: 認知症治療の現状と薬物療法について. Kowa Web Conference, 2023.5.23, 奈良・Web 開催
3. 新出 明代: 当院における頭痛診療の現状と課題. Migraine WEB Seminar, 2023.6.2, Web 開催
4. 新出 明代: 片頭痛診療における最新の話題. NEXT Pharma Seminar, 2023.9.7, Web 開催
5. 新出 明代: 片頭痛診療における最新の話題. アリドネパッチ WEB 講演会, 2023.10.26, Web 開催
6. 末長 敏彦: 片頭痛診療における最新の話題. 奈良神経疾患地域連携 WEB セミナー, 2023.11.18, 奈良・Web 開催
7. 新出 明代: 糖尿病 痛みとしびれの診断と治療. 神経障害性疼痛関連 WEB セミナー, 2024.1.17, Web 開催
8. 末長 敏彦: 視神経脊髄炎 (NMOSD) の治療 Up to Date～天理・伊賀地域のよりよい医療連携を目指して～. 天理・伊賀エリア NMOSD 連携の会, 2024.1.23, 伊賀 (三重)・Web 開催
9. 末長 敏彦: パーキンソン病と運動障害疾患の不随意運動～臨床現場での観察から～. 若手医師のための Keihan Neurology Seminar, 2024.2.22, 大阪・ハイブリッド開催
10. 末長 敏彦: 脳卒中における降圧管理と地域連携. 奈良の脳と心臓を守る会, 2024.3.16, 奈良・ハイブリッド開催
11. 新出 明代: 片頭痛診療における最新の話題. 宇陀地区医師会講演会, 2024.3.23, 宇陀 (奈良), 現地開催

◇一般向け

(講演)

1. 末長 敏彦: 認知症を知る～対処から予防まで～. 憩の家講座, 2024.3.19, 天理・Web 開催

血 液 内 科

◇学 術 雑 誌

(欧 文)

〈他施設との共同研究〉

1. Shimomura Y, Komukai S, Kitamura T, Sobue T, Akahoshi Y, Kanda J, Ohigashi H, Nakamae H, Hiramoto N, Nagafuji K, Tanaka T, Eto T, Ota S, Maruyama Y, Akasaka T, Matsuoka KI, Mori Y, Fukuda T, Atsuta Y, Terakura S: Effect of graft-versus-host disease on outcomes of HLA-haploidentical peripheral blood transplantation using post-transplant cyclophosphamide. Bone Marrow Transplant 2024 ; 59(1) : 66–75.
2. Iemura T, Kondo T, Ueda A, Maeda T, Kitawaki T, Arai Y, Kanda J, Ikeda T, Imada K, Ishikawa T, Anzai N, Itoh M, Takeoka T, Akasaka T, Yago K, Yonezawa A, Arima N, Kitano T, Nohgawa M, Watanabe M, Moriguchi T, Yamashita K, Ueda Y, Matsumoto K, Takaori-Kondo A: Effects of combined test dose and therapeutic drug monitoring strategy in exposure-directed busulfan. Ann Hematol 2023 ; 102(10) : 2909–2922.
3. Morita-Fujita M, Shindo T, Iemura T, Arai Y, Kanda J, Okada K, Ueda Y, Yoshiyuki O, Anzai N, Mori T, Ishikawa T, Otsuka Y, Yonezawa A, Yuhi N, Imada K, Oba A, Itoh M, Okamoto Y, Kitano T, Ikeda T, Kotani S, Akasaka T, Yago K, Watanabe M, Nohgawa M, Tsuji M, Takeoka T, Yamamoto R, Arima N, Yoshinaga N, Hishizawa M, Yamashita K, Kondo T, Takaori-Kondo A; Kyoto Stem Cell Transplantation Group: Epitope mismatch at HLA-DRB 1 associates with reduced relapse risk in cord blood transplantation for standard-risk hematologic malignancy. Transplant Cell Ther 2023 ; 29(6) : 347.e1-347.e11.

◇学 会

国内学会

一般演題 (口演)

1. 澤田 晋, 丸山 互, 高橋 佑輔, 小谷 槇一, 右京 直哉, 赤坂 尚司, 大野 仁嗣: リンパ形質細胞リンパ腫 (LPL) からの形質転換にて発症した DLBCL の一症例. 第118回近畿血液学地方会, 2023. 5. 27, 大阪, 現地開催
2. 向井 大貴, 小谷 槇一, 丸山 互, 右京 直哉, 住吉 真治, 赤坂 尚司, 大野 仁嗣: 左下肢腫大で発症した高度アグレッシブ B 細胞性リンパ腫の 1 例. 第240回日本内科学会近畿地方会, 2023. 6. 24, 神戸・ハイブリッド開催
3. 木下 慶一郎, 丸山 互, 小谷 槇一, 右京 直哉, 赤坂 尚司, 大野 仁嗣: 血液悪性腫瘍患者における抗 CD20 モノクローナル抗体療法が及ぼす SARS-CoV-2 持続感染. 第85回日本血液学会学術集会, 2023. 10. 13–15, 東京・ハイブリッド開催
4. 向井 大貴, 丸山 互, 小谷 槇一, 右京 直哉, 赤坂 尚司, 大野 仁嗣: 診断に長期を要

した非典型 LGL 白血病 (T-LGLL) の一例. 第119回近畿血液学地方会, 2023. 11. 25, 豊中 (大阪), 現地開催

5. 向井 大貴, 小谷 槇一, 丸山 互, 右京 直哉, 住吉 真治, 赤坂 尚司, 大野 仁嗣: 腰痛, 左大腿部痛で発症した骨原発悪性リンパ腫の1例. 第242回日本内科学会近畿地方会, 2023. 12. 9, 豊中 (大阪)・ハイブリッド開催

◇研 究 会

特別講演・教育講演

1. 赤坂 尚司: CLL 治療における Acalabrutinib の位置付けを考える. Astrazeneca Hematology web Conference, 2023. 6. 9, Web 開催
2. 赤坂 尚司: CLL 治療における Acalabrutinib の位置付けを考える ～造血器腫瘍ガイドライン2023を踏まえて～. Astrazeneca Luncheon Web Seminar, 2023. 10. 5, Web 開催

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

3. 丸山 互: AML における AlloHSCT に関して. Hematology Meeting ～Next-Generation～, 2023. 6. 8, Web 開催
4. 丸山 互: DLBCL の治療戦略. Chugai Lymphoma Seminar in NARA, 2023. 9. 1, Web 開催
5. 赤坂 尚司: 原発性マクログロブリン血症に対する長期 ibrutinib 使用の症例. Think about treatment strategy of WM/LPL & cGVHD, 2024. 2. 2, 和歌山・ハイブリッド開催
6. 赤坂 尚司: CML: 新世代治療法への道. Otsuka Cross-Talk Symposium in Leukemia, 2024. 3. 12, Web 開催

一般演題 (口演)

7. 小谷 槇一: EZH2 検査の実際について. 第10回京都血液フォーラム, 2023. 4. 8, Web 開催
8. 赤坂 尚司: 実臨床におけるアイクルシグの使用経験. The 3rd Generation TKI Conference ～Road to DMR～, 2023. 6. 2, Web 開催
9. 高橋 佑輔, 向井 大貴, 小谷 槇一, 丸山 互, 右京 直哉, 大野 仁嗣, 赤坂 尚司: SARS-CoV2 感染症治療後に再増悪を認めた自験例 当院で困ったこと/困っていること. 第17回 Meet the Hematologists, 2023. 7. 15, Web 開催
10. 高橋 佑輔, 小谷 槇一, 池田 正俊, 向井 大貴, 丸山 互, 右京 直哉, 大野 仁嗣, 赤坂 尚司: 劇症型再生不良性貧血に対して, 可及的速やかに PTCY を用いた HLA 半合致移植を施行した症例報告. 第9回奈良県輸血・造血細胞治療研究会, 2023. 7. 22, 奈良・ハイブリッド開催
11. 赤坂 尚司: 長期予後を見据えた真性多血症治療 ～高リスク症例～. PharmaEssentia BESREmi 真性多血症 Web 講演会, 2023. 10. 23, Web 開催
12. 丸山 互: STOP リトライを検討している症例. CML training session with Dr. Kimura, 2023. 10. 24, Web 開催

13. 丸山 互：当院で経験した High-Risk MF. Nara Hematology web Seminar, 2023. 11. 17, Web 開催
14. 丸山 互：移植適応例における IsaKd の使用経験. Multiple Myeloma Conference, 2023. 11. 22, Web 開催
15. 赤坂 尚司：Ponatinib 使用で心掛けているポイント. Ph 陽性白血病治療を考える会 in 奈良～Road to DMR/CMR～, 2024. 1. 19, 奈良・ハイブリッド開催

◇その他の講演

1. 赤坂 尚司：分子標的薬時代の慢性骨髄性白血病の診療. 第170回奈良県病院薬剤師会学術（Web）講演会, 2023. 12. 6, Web 開催

◇一般向け

（講演）

1. 丸山 互：血液疾患患者に遭遇したら. RITEN（来天・Review of Internal medicine in TENri）, 2023. 7. 8, 天理・ハイブリッド開催

小児科・小児循環器科

◇学術雑誌

（欧文）

〈他施設との共同研究〉

1. Tasaka K, Kato I, Takeshita S, Yoshioka Y, Usami A, Uchihara Y, Akazawa R, Kamitori T, Saida S, Umeda K, Hiramatsu H, Adachi S, Takita J : Second relapse of FLT 3-ITD-positive acute myeloid leukemia after discontinuation of 3-year post-transplant maintenance therapy with gilteritinib. Pediatric Blood & Cancer 2023 ; 70(5) : e 30185.
2. Hayashi T, Yano N, Kora K, Yokoyama A, Maizuru K, Kayaki T, Nishikawa K, Osawa M, Niwa A, Takenouchi T, Hijikata A, Shirai T, Suzuki H, Kosaki K, Saito MK, Takita J, Yoshida T : Involvement of mTOR pathway in neurodegeneration in NSF-related developmental and epileptic encephalopathy. Human Molecular Genetics 2023 ; 32(10) : 1683–1697.
3. Machida O, Sakamoto H, Shimojima K, Yamamoto-Shimojima K, Hasegawa Y, Nii S, Okada H, Nishikawa K, Sumimoto S, Nishi E, Okamoto N, Yamamoto T : Haploinsufficiency of NKX 2-1 is likely to contribute to developmental delay involving 14 q 13 microdeletions. Intractable & Rare Diseases Research 2024 ; 13 (1) : 36–41.

◇学 会

国内学会

一般演題（口演）

1. 竹下 峻希, 田坂 佳資, 加藤 格, 吉岡 由布, 宇佐美 亜由子, 内原 嘉仁, 赤澤 嶺, 神鳥 達哉, 才田 聡, 梅田 雄嗣, 平松 英文, 足立 壯一, 滝田 順子: FLT3-ITD 陽性再発 AML に対して3年間の gilteritinib 内服終了後再々発した一例. 第126回日本小児科学会学術集会, 2023. 4. 14-16, 東京・ハイブリッド開催
2. 土井 拓, 三宅 誠, 宮崎 文, 松本 崇: 重度の三尖弁閉鎖不全に対し MitraClip を施行した, DILV PA 姑息術後の1成人例. 第59回日本小児循環器学会総会・学術集会, 2023. 7. 6-8, 横浜・ハイブリッド開催
3. 舞鶴 賀奈子, 宇佐美 亜由子, 芝 剛, 土井 拓: 多職種連携により症状緩和にいたった複合性局所疼痛症候群 (CRPS). 第140回小児科学会奈良地方会, 2023. 7. 15, 奈良・ハイブリッド開催
4. 舞鶴 賀奈子, 宇佐美 亜由子, 吉田 健司, 矢野 直子: 特徴的な画像所見を呈し SURF 1 遺伝子のホモ変異を呈した1女児例. 第73回小児神経学会近畿地方会, 2023. 9. 30, 京都・ハイブリッド開催
5. 宇佐美 亜由子, 舞鶴 賀奈子, 芝 剛, 土井 拓: けいれん重積型二相性脳症後に舞蹈運動を遺した2歳男児例. 第141回日本小児科学会奈良地方会, 2023. 10. 28, 奈良・ハイブリッド開催
6. 竹下 峻希, 秋田 充代, 友滝 清一, 吉村 元文, 境内 愛美, 荒木 亮佑, 友滝 寛子, 岩永 甲午郎, 河井 昌彦: ヒルシスプルング病に類似した腸閉塞および難治性の消化管症状を認め診断および内科的管理に難渋した先天性サイトメガロウイルス感染症の一例. 第67回日本新生児成育医学会・学術集会, 2023. 11. 2-4, 横浜・ハイブリッド開催
7. 舞鶴 賀奈子, 宇佐美 亜由子, 芝 剛, 土井 拓: 在宅診療にいたった変遷: MELAS 症例. 第25回奈良県小児保健学会, 2023. 11. 30, 橿原・ハイブリッド開催
8. 竹下 峻希, 岡田 英徳, 宇佐美 亜由子, 舞鶴 賀奈子, 芝 剛, 三浦 基, 石丸 敏博, 土井 拓: イレウスを疑い診断に難渋し冠動脈病変をきたした川崎病の1歳女児例. 第142回日本小児科学会奈良地方会, 2024. 2. 3, 天理・ハイブリッド開催
9. 岡田 英徳, 安日 太郎, 有宗 敬祐, 竹下 峻希, 宇佐美 亜由子, 舞鶴 賀奈子, 芝 剛, 大前 隆志, 石川 智朗, 土井 拓: 疼痛コントロールに苦慮したステロイド依存性の IgA 血管炎の5歳女児例. 第142回日本小児科学会奈良地方会, 2024. 2. 3, 天理・ハイブリッド開催

一般演題（ポスター）

10. 竹下 峻希, 吉村 元文, 秋田 充代, 境内 愛美, 荒木 亮佑, 上林 エレーナ 幸江, 小川 絵里, 友滝 清一, 友滝 寛子, 岩永 甲午郎, 岡本 竜弥, 滝田 順子, 河井 昌彦: 異なる原因で絞扼性イレウスを発症した超低出生体重児の2例. 第126回日本小児科学会学術集会, 2023. 4. 14-16, 東京・ハイブリッド開催
11. 竹下 峻希, 井澤 和司, 仁平 寛士, 岩田 直也, 萩野 諒, 平田 惟子, 伊佐 真彦, 日衛嶋

栄太郎, 滝田 順子, 八角 高裕: 自己免疫性好中球減少症を伴った米による FPIES の 1 例. 第126回日本小児科学会学術集会, 2023. 4. 14-16, 東京・ハイブリッド開催

12. 舞鶴 賀奈子, 楠本 将人: 肺動脈狭窄に起因する後天性 von Willebrand 病 (VWD) を合併した18トリソミーの1例. 第65回日本小児神経学会学術集会, 2023. 5. 24-27, 岡山・ハイブリッド開催

◇研 究 会

一般演題 (口演)

1. 竹下 峻希, 秋田 充代, 友滝 清一, 吉村 元文, 境内 愛美, 荒木 亮佑, 友滝 寛子, 岩永 甲午郎, 河井 昌彦: 先天性サイトメガロ感染症により腸閉塞を呈した早産児の1例. 第13回京都 NICU 懇話会, 2023. 5. 27, 京都・ハイブリッド開催
2. 舞鶴 賀奈子, 宇佐美 亜由子: ADHD+自閉症スペクトラムの14歳男児例: 二次障害を予防するには?? 第2回奈良小児神経発達症研究会, 2023. 10. 7, 橿原, 現地開催
3. 芝 剛, 宇佐美 亜由子, 竹下 峻希, 岡田 英徳, 舞鶴 賀奈子, 土井 拓: 天理よろづ相談所病院小児科の新生児医療の現状. 第22回奈良新生児研究会, 2023. 10. 19, 橿原, 現地開催

皮 膚 科

◇書 籍

1. 田邊 洋: 口腔カンジダ症. 皮膚疾患初期対応ノート, pp225-228, 常深 祐一郎 編集, 日本医事新報社 (東京), 2024

◇学 術 雑 誌

(欧 文)

1. Tanabe H, Abe N, Anzawa K: A case of *tinea corporis* caused by *Trichophyton benhamiae* var. *luteum* from a degu and evolution of the pathogen's taxonomy. *Journal of Fungi* 2023 ; 9(11) : 1122.

(邦 文)

2. 田邊 洋, 石合 誠, 太田 美貴, 野々山 翔子, 手塚 純子: ニキビダニ症の1例. 天理医学紀要 2023 ; 26 (2) : 123-131.

◇学 会

国内学会

特別講演・教育講演

1. 田邊 洋: 皮膚寄生虫感染症の臨床と対応 ニキビダニについて～その不思議な生態と病原性について～. 第122回日本皮膚科学会総会教育講演 5, 2023. 6. 1- 4, 横浜・ハイブリッド開催
2. 田邊 洋: 白癬菌抗原キット. 第122回日本皮膚科学会総会教育講演 9, 2023. 6. 1- 4, 横浜・ハイブリッド開催

一般演題（口演）

3. 田邊 洋：質量分析装置（MALDI-TOF MS）による白癬菌の菌種同定について（私見）.
第55回北陸真菌懇話会，2023. 7. 2，金沢・ハイブリッド開催
4. 石合 誠，太田 美貴，野々山 翔子，手塚 純子，田邊 洋：ハリネズミから感染した
Trichophyton erinacei による手背部に生じた白癬の1例. 第109回関西真菌懇話会，2023.
7. 29，大阪，現地開催
5. 田邊 洋：質量分析装置（MALDI-TOF MS）による白癬菌の菌種同定について（私見）.
第109回関西真菌懇話会，2023. 7. 29，大阪，現地開催
6. 太田 美貴，石合 誠，手塚 純子，野々山 翔子，阿部 教行，飯岡 弘至，田邊 洋：
Trichophyton tonsurans による小児頭部白癬の1例. 第116回日本皮膚科学会近畿皮膚
科集談会，2023. 7. 30，大阪・ハイブリッド開催
7. 太田 美貴，石合 誠，手塚 純子，野々山 翔子，大野 佐代子，福本 隆也，田邊 洋：
Microsporum canis による体部白癬の1例. 第499回日本皮膚科学会大阪地方会，2023.
9. 6，大阪・ハイブリッド開催
8. 手塚 純子，山田 佑衣，笹橋 真紀子，奥野 智子，白瀬 智之，田邊 洋，福本 隆也：
Microsporum canis によるケルスス禿瘡の1例. 第482回日本皮膚科学会京滋地方会，
2023. 9. 16，滋賀・ハイブリッド開催
9. 田邊 洋，太田 美貴，石合 誠，手塚 純子，野々山 翔子，阿部 教行：MALDI-TOF MS
を菌種同定に利用した好獣性菌による体部白癬の2例. 第67回日本医真菌学会総会，2023.
10. 7，埼玉・ハイブリッド開催
10. 石合 誠，高田 麻由実，野々山 翔子，太田 美貴，手塚 純子，田邊 洋，阿部 教行，
安澤 数史：*Purpureocillium lilacinum* による皮膚深在性真菌症の1例. 第74回日本
皮膚科学会中部支部学術大会，2023. 10. 28－29，京都・ハイブリッド開催
11. 太田 美貴，石合 誠，手塚 純子，野々山 翔子，田邊 洋，福本 隆也：白癬菌による毛
内寄生の病理組織像について. 第500回日本皮膚科学会大阪地方会，2023. 12. 3，大阪，
現地開催
12. 石合 誠，太田 美貴，手塚 純子，野々山 翔子，田邊 洋，福本 隆也：パクリタキセル
投与後に出現した顔面の紅斑の1例. 第484回日本皮膚科学会京滋地方会，2024. 3. 2，
京都・ハイブリッド開催

〈他施設との共同研究〉

13. 俊成 花梨，三宅 俊哉，古田 浩大，入江 浩之，江川 形平，神戸 直智，梶島 健治，
藤本 正数，田邊 洋：若年女性の右前腕に限局した異形白癬の1例. 第483回日本皮膚
科学会京滋地方会，2023. 12. 16，京都・ハイブリッド開催

一般演題（ポスター）

14. 石合 誠，高田 麻由実，野々山 翔子，岡本 奈都子，田邊 洋，福本 隆也：関節リウマ
チ治療中，帯状疱疹罹患後にVZV関連血管炎と多発ニューロパチーが生じた1例. 第
122回日本皮膚科学会総会，2023. 6. 1－4，横浜・ハイブリッド開催

◇研 究 会

一般演題（口演）

1. 太田 美貴, 田邊 洋：左前腕に生じた紅斑丘疹の1例. Nara Dermatology Forum 2023, 2023. 9. 21, 奈良, 現地開催
2. 田邊 洋：足白癬関連の最近の話題. 第22回糖尿病の足病変を考える会, 2024. 1. 27, 奈良・ハイブリッド開催

消 化 器 外 科

◇学 術 雑 誌

（欧 文）

1. Morino K, Yamamoto M, Yamanaka R, Iwasaki Y, Nakanishi N, Goto T, Tanaka H, Matsusue R, Machimoto T: Clinical impact of laparoscopic surgery on the long-term survival of advanced gastric cancer patients with regard to facilitating doublet adjuvant chemotherapy. *Anticancer Research* 2023 ; 43(5) : 2203–2209.
2. Morino K, Nakano K, Goto T, Tanaka H, Machimoto T: Proposal of the novel predictive model for postoperative pancreatic fistula in distal pancreatectomy for pancreatic tumor based on preoperative imaging parameters and stapler handling. *World Journal of Surgery* 2024 ; doi : 10.1002/wjs.121132203–2209.

〈他施設との共同研究〉

3. Fujikawa T, Hasegawa S, Takahashi R, Naito S, Kaihara S, Uryuhara K, Hirata K, Tamura T, Terajima H, Kawai T, Okabe H, Machimoto T, Tanaka H, Honma S, Furumoto K, Honda G, Uemura S, Nishitai R, Hida K, Aoyama R, Wada S, Hirose T, Obama K: Management of patients receiving antiplatelet therapy during gastroenterological surgery: A multicenter prospective cohort study (GSATT). *Annals of Surgery*. 2023 ; doi : 10.1097/SLA.0000000000006136.
4. Nam NH, Yoh T, Hori Y, Morino K, Nishino H, Nishio T, Koyama Y, Ogiso S, Nagai K, Fukumitsu K, Uchida Y, Ito T, Ishii T, Seo S, Hata K, Taura K, Hatano E: Impact of liver volumetric regeneration on survival outcomes in patients with hepatocellular carcinoma after major hepatectomy. *Langenbeck's Archives of Surgery* 2023 ; 408(1)193.

（邦 文）

5. 松村 彰太, 加藤 滋：本邦における肛門管扁平上皮癌に対する 5-FU と MMC を用いた化学放射線治療例の検討. *日本大腸肛門病学会雑誌* 2023 ; 76 (4) : 193347 – 352.
6. 山中 良輔, 中西 望, 加藤 滋, 森野 甲子郎, 山本 道宏, 松村 彰太, 仲野 健三, 後藤 俊彦, 田中 宏和, 待本 貴文：切除可能進行食道癌に対する術前 DTX+CDDP+5-FU 療法 2 コースの有用性の検討. *日本消化器外科学会雑誌* 2023 ; 56 (7) : 347 –

352369-376.

〈他施設との共同研究〉

7. 瀬尾 智, 上村 良, 待本 貴文, 寺嶋 宏明, 波多野 悦朗: 大量肝切除時の門脈降圧を目的とした脾摘の有用性. 日本門脈圧亢進症学会雑誌 2023; 29 (1): 369-37640-44.

◇学会

国内学会

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

1. 森野 甲子郎, 高 理奈, 岩崎 雄太, 山中 良輔, 中西 望, 後藤 俊彦, 田中 宏和, 松末 亮, 山本 道宏, 待本 貴文: 進行胃癌に対する鏡視下手術の妥当性: 開腹手術との治療成績の比較から. 第78回日本消化器外科学会総会, 2023. 7. 12-14, 函館 (北海道)・ハイブリッド開催

一般演題 (口演)

2. 森野 甲子郎, 石田 薫平, 高 理奈, 岩崎 雄太, 山中 良輔, 中西 望, 松村 彰太, 仲野 健三, 後藤 俊彦, 田中 宏和, 加藤 滋, 山本 道宏, 待本 貴文: 胃切除後骨格筋量減少から考える腹腔鏡下噴門側胃切除の最適な再建方法の検討. 第123回日本外科学会定期学術集会, 2023. 4. 27-29, 東京・ハイブリッド開催
3. 石田 薫平, 山本 道宏, 高 理奈, 岩崎 雄太, 山中 良輔, 中西 望, 森野 甲子郎, 下池 典広, 後藤 俊彦, 田中 宏和, 松末 亮, 待本 貴文: 高熱, 炎症反応高値で全身状態不良な多臓器浸潤を有する胃原発腺扁平上皮癌に対し根治切除し得た一例. 第54回奈良外科学会学術大会, 2023. 5. 20, 橿原 (奈良), 現地開催
4. 森野 甲子郎, 石田 薫平, 高 理奈, 岩崎 雄太, 山中 良輔, 中西 望, 下池 典広, 後藤 俊彦, 田中 宏和, 松末 亮, 山本 道宏, 待本 貴文: 胃癌の Adjuvant Doublet Chemotherapy の投与状況に基づいた鏡視下手術の臨床的影響. 第61回日本癌治療学会学術集会, 2023. 10. 19-21, 横浜, 現地開催
5. 森野 甲子郎, 石田 薫平, 高 理奈, 岩崎 雄太, 山中 良輔, 中西 望, 後藤 俊彦, 田中 宏和, 松末 亮, 山本 道宏, 待本 貴文: 臍体尾部切除における臍臓の厚さから考える適切な圧座時間の検討. 第31回日本消化器関連学会週間, 2023. 11. 2-5, 神戸, 現地開催
6. 森野 甲子郎, 山本 道宏, 山中 良輔, 中西 望, 下池 典広, 後藤 俊彦, 松末 亮, 待本 貴文: 胃全摘術における腹腔鏡下手術の妥当性の検討: 開腹手術との短期・長期成績の比較から. 第36回日本内視鏡外科学会総会, 2023. 12. 7-9, 横浜, 現地開催
7. 岩崎 雄太, 松末 亮, 石田 薫平, 高 理奈, 山中 良輔, 中西 望, 森野 甲子郎, 下池 典広, 後藤 俊彦, 田中 宏和, 山本 道宏, 待本 貴文: 大腸術前の腸管処置はどのようにすべきか? 大腸癌手術において術前腸管処置が SSI に与える影響に関する検討. 第36回日本外科感染症学会総会学術集会, 2023. 12. 15-16, 北九州 (福岡), 現地開催
(2022年度追加)
8. 高 理奈, 後藤 俊彦, 岩崎 雄太, 山中 良輔, 松村 彰太, 中西 望, 森野 甲子郎, 田中 宏和, 松末 亮, 山本 道宏, 待本 貴文: 5 mm ポート創に発生したポートサイトヘル

ニアの一例. 第206回近畿外科学会, 2023. 3. 18, 大阪, 現地開催 【優秀演題賞 受賞】
一般演題 (ポスター)

9. 山中 良輔, 森野 甲子郎, 高 理奈, 石田 薫平, 岩崎 雄太, 松村 彰太, 中西 望, 後藤 俊彦, 田中 宏和, 加藤 滋, 山本 道宏, 待本 貴文: 切除可能進行食道癌に対する術前FP療法とDCF療法における治療成績の比較. 第123回日本外科学会定期学術集会, 2023. 4. 27-29, 東京・ハイブリッド開催
10. Morino K, Goto T, Tanaka H, Yamamoto M, Machimoto T: Optimal selection of cartridge for distal pancreatectomy: Risk-factor analysis of postoperative pancreatic fistula. 第35回日本肝胆膵外科学会学術集会, 2023. 6. 30-7. 1, 東京, 現地開催
11. 山中 良輔, 後藤 俊彦, 岩崎 雄太, 中西 望, 森野 甲子郎, 田中 宏和, 松末 亮, 山本 道宏, 待本 貴文: サルモネラ敗血症を伴った巨大胃 GIST の一例. 第78回日本消化器外科学会総会, 2023. 7. 12-14, 函館 (北海道)・ハイブリッド開催
12. 松村 彰太, 岩崎 雄太, 山中 良輔, 中西 望, 森野 甲子郎, 後藤 俊彦, 松末 亮, 田中 宏和, 山本 道宏, 待本 貴文: 17cases of superior mesenteric artery occlusion. 第78回日本消化器外科学会総会, 2023. 7. 12-14, 函館 (北海道)・ハイブリッド開催
13. 後藤 俊彦: UR 膵癌に対して conversion surgery を施行した3症例. 第54回日本膵臓学会大会, 2023. 7. 21-22, 福岡, 現地開催
14. 森野 甲子郎, 後藤 俊彦, 田中 宏和, 山本 道宏, 待本 貴文: 術前画像検査に基づいた膵体尾部切除後膵液瘻のリスク因子解析: 自動縫合器にて切離した81例の経験から. 第50回日本膵切研究会, 2023. 8. 25-26, 東京, 現地開催
15. 田中 宏和, 後藤 俊彦, 森野 甲子郎, 待本 貴文: 術前化学療法として FOLFIRINOX 療法を行い病理学的完全奏効が得られた進行膵癌の2症例. 第50回日本膵切研究会, 2023. 8. 25-26, 東京, 現地開催
16. 岩崎 雄太, 後藤 俊彦, 石田 薫平, 高 理奈, 山中 良輔, 中西 望, 森野 甲子郎, 下池 典広, 田中 宏和, 松末 亮, 山本 道宏, 待本 貴文: 腹腔内膿瘍を伴う特発性小腸間膜デスマイド腫瘍の一切除例. 第85回日本臨床外科学会総会, 2023. 11. 16-18, 岡山, 現地開催
17. 石田 薫平, 田中 宏和, 高 理奈, 岩崎 雄太, 山中 良輔, 中西 望, 森野 甲子郎, 下池 典広, 後藤 俊彦, 松末 亮, 山本 道宏, 待本 貴文: 子宮体癌を併発した巨大腹壁脂肪腫の一切除例. 第85回日本臨床外科学会総会, 2023. 11. 16-18, 岡山, 現地開催

◇研 究 会

一般演題 (口演)

1. 後藤 俊彦, 石田 薫平, 高 理奈, 岩崎 雄太, 山中 良輔, 中西 望, 森野 甲子郎, 下池 典広, 田中 宏和, 松末 亮, 山本 道宏, 待本 貴文: UR 膵癌に対する conversion surgery の経験~DP-CAR 症例を中心に~. 第43回奈良県肝胆膵研究会, 2023. 7. 8, 奈良, 現地開催

◇その他の講演

1. 後藤 俊彦：進行肝細胞癌に対する治療方針の検討. 肝細胞癌 治療戦略を考える会, 2023. 5. 16, 奈良・Web 開催
2. 後藤 俊彦, 石田 薫平, 高 理奈, 岩崎 雄太, 山中 良輔, 中西 望, 森野 甲子郎, 下池 典広, 田中 宏和, 松末 亮, 山本 道宏, 待本 貴文：当院における膵癌外科治療の現状. 消化器疾患医療連携の会, 2023. 10. 19, 奈良・ハイブリッド開催
3. 田中 宏和, 今枝 政喜, 石本 真治, 張間 智子, 鶴飼 悟, 丸木 芳朗：能登半島地震 DMAT 派遣報告～経験の浅い DMAT チームに何ができるか？～. 令和 6 年能登半島地震に係る奈良 DMAT 活動報告会, 2024. 2. 14, 橿原（奈良）, 現地開催
4. 田中 宏和, 石田 薫平, 高 理奈, 岩崎 雄太, 山中 良輔, 中西 望, 森野 甲子郎, 下池 典広, 後藤 俊彦, 松末 亮, 山本 道宏, 待本 貴文：救急で遭遇する消化器疾患について. 第12回救急疾患懇話会, 2024. 2. 29, 天理, 現地開催
5. 待本 貴文：当院における腹部救急診療の現状. 第12回救急疾患懇話会, 2024. 2. 29, 天理, 現地開催
6. 森野 甲子郎：術前レンバチニブと TAE を併用した BR 肝 癌：Surgical Safety と Oncological Curability のいいとこどり. 肝細胞癌 治療戦略を考える会, 2024. 3. 8, 奈良・Web 開催
(2022年度追加)
7. 山本 道宏：当院での上部消化管手術—困難な局面を振り返る—. 第 2 回 Kyoto Advanced Laparoscopic Conference, 2023. 2. 17, 京都・Web 開催
8. 高 理奈, 木口 剛造, 小嶋 大也, 烏山 拓馬, 森 彩, 水本 素子, 久保田 恵子, 浅尾 義人, 韓 秀炫, 竹山 治, 田中 満：巨脾に対して右側臥位で腹腔鏡下後腹膜先行アプローチ (Retlap) 脾臓摘出術を行った 1 例. 第13回大阪スペシャルミックス外科講演会, 2023. 3. 17, 大阪・ハイブリッド開催

◇院内集談会

1. 田中 宏和, 今枝 政喜, 石本 真治, 張間 智子, 鶴飼 悟, 丸木 芳朗：能登半島地震 DMAT 派遣報告～何が今回の派遣を成功に導いたか？～. 天理よろづ相談所病院 DMAT 派遣報告会, 2024. 1. 18, 外来診療棟 5 階講堂

乳 腺 外 科

◇学 術 雑 誌

(欧 文)

1. Yamashiro H: Animal model of breast cancer-related arm lymphoedema. Tenri Medical Bulletin 2023 ; 26(1): 69-71.
2. Yamashiro H, Morii N: Abemaciclib-induced lung damage leading to discontinuation in brain metastases from breast cancer: A case report. World

Journal of Clinical Cases 2023 ; 11(35) : 8425–8430.

〈他施設との共同研究〉

3. Yamamoto Y, Yamashiro H, Schneeweiss A, Müller V, Gluz O, Klare P, Aktas B, Magdolna D, Büdi L, Pikó B, Mangel L, Toi M, Morita S, Ohno S : Factors affecting prognosis in patients treated with bevacizumab plus paclitaxel as first-line chemotherapy for HER2-negative metastatic breast cancer: an international pooled analysis of individual patient data from four prospective observational studies. Breast Cancer 2023 ; 30(1) : 88–100.

◇学 会

国内学会

特別企画（シンポジウム・パネルディスカッション）

〈他施設との共同研究〉

1. 河口 浩介, 前島 佑里奈, 藤本 優里, 石黒 洋, 山神 和彦, 高原 祥子, 諏訪 裕文, 鳥井 雅恵, 永井 成勲, 相良 安昭, 辻 和香子, 山城 大泰, 古武 剛, 片岡 正子, 福井 由紀子, 中村 有輝, 田中 直, Li Wei, 森田 智視, 戸井 雅和 : 乳癌免疫療法の課題と展望 免疫療法としての CDK4/6 阻害薬—腸内細菌叢と循環免疫プロファイルの観点から—. 第31回日本乳癌学会学術総会, 2023. 6. 29–7. 1, 横浜・ハイブリッド開催

呼 吸 器 外 科

◇学 術 雑 誌

（邦 文）

1. 村上 裕亮, 宮本 英, 大角 潔, 後藤 正司, 中川 達雄 : トラニラスト投与で切除断端に生じた陰影が縮小した肺癌術後の 1 例. 天理医学紀要 2023 ; 26 (2) : 110–115.

◇学 会

国内学会

特別講演・教育講演

1. 宮本 英 : 気胸・嚢胞性肺疾患に対する胸腔鏡下手術の単孔式化への取り組み. 第27回日本気胸・嚢胞性肺疾患学会総会, 2023. 9. 8–9, 吹田（大阪）, 現地開催
一般演題（口演）
2. 村上 裕亮, 宮本 英, 大角 潔, 後藤 正司, 中川 達雄 : トラニラストにより肺癌術後再発が疑われた陰影が縮小し再発を否定し得た症例. 第118回日本肺癌学会関西支部会, 2023. 6. 17, 京都, 現地開催
3. 中川 達雄, 村上 裕亮, 宮本 英, 大角 潔, 後藤 正司, 松岡 智章, 小林 正嗣, 大政 貢, 奥村 典仁 : 臨床病期 1A3-1B 左肺上区域原発非小細胞肺癌に対する区域切除の成績. 第76回日本胸部外科学会定期学術集会, 2023. 10. 19–21, 仙台（宮城）・ハイブリッド開催

4. 中川 達雄：ロボット支援下肺癌手術における surgeon-controlled suction によるリンパ節郭清の手技. 第36回日本内視鏡外科学会総会, 2023. 12. 7－9, 横浜, 現地開催
5. 中川 達雄：ダ・ヴィンチにおける低出力モノポーラシザーズを用いた手術法の検討. 第36回日本内視鏡外科学会総会, 2023. 12. 7－9, 横浜, 現地開催

一般演題（ポスター）

6. 村上 裕亮, 宮本 英, 大角 潔, 後藤 正司, 中川 達雄：Bronchiolar adenoma/ Ciliated muconodular papillary tumor の3切除例. 第40回日本呼吸器外科学会学術集会, 2023. 7. 13－14, 新潟・ハイブリッド開催
7. 大角 潔, 村上 裕亮, 宮本 英, 後藤 正司, 中川 達雄：乳癌リンパ節転移に対する放射線照射範囲内の前縦隔に発生した放射線誘発未分化多型肉腫の一例. 第40回日本呼吸器外科学会学術集会, 2023. 7. 13－14, 新潟・ハイブリッド開催
8. 村上 裕亮, 宮本 英, 大角 潔, 後藤 正司, 中川 達雄：ロボット支援下で切除した胸腺原発粘表皮癌の1例. 第64回日本肺癌学会学術集会, 2023. 11. 2－4, 千葉・ハイブリッド開催

◇研 究 会

特別講演・教育講演

1. 宮本 英：チームとして取り組むロボット支援下呼吸器外科手術の導入と洗練—安全性と疼痛軽減を目指して 二兎を追う— 第32回日本がんチーム医療研究会, 2023. 10. 14, 大阪, 現地開催

一般演題（口演）

2. 村上 裕亮, 宮本 英, 大角 潔, 後藤 正司, 中川 達雄：トラニラストにより肺癌術後再発が疑われた陰影が縮小し再発を否定し得た症例. 京都大学呼吸器外科夏季研究会, 2023. 7. 1, 大阪, 現地開催
3. 中川 達雄, 村上 裕亮, 宮本 英, 大角 潔, 後藤 正司：低出力モノポーラシザーズを用いた RATS の安全性と有用性について. 第13回呼吸器外科ロボット手術手技研究会, 2023. 10. 20, 仙台（宮城）, 現地開催
4. 村上 裕亮, 宮本 英, 大角 潔, 後藤 正司, 中川 達雄：肺原発滑膜肉腫の1切除例. 第52回京都大学呼吸器外科教室冬季研究会, 2024. 2. 10, 京都, 現地開催

脳 神 経 外 科

◇学 術 雑 誌

（欧 文）

1. Fujimoto M, Shimizu K, Ogata H, Yamashita H, Yoshida S, Akiyama Y, Tani S: Preoperative ocular symptoms predict acute glaucoma after carotid revascularization: An analysis of combined single-center data and a systematic review. World Neurosurgery 2024 ; 183 : e 576-e 586.

〈他施設との共同研究〉

2. Funatsu T, Imamura H, Tani S, Adachi H, Adachi H, Sakai N: Cerebral hyperperfusion syndrome after stenting for revascularization of intracranial internal carotid artery dissection. Clinical Neurology and Neurosurgery 2023 ; 227 : 107667.
3. Okada A, Shimizu K, Kawashima A, Kurita H, Miyamoto S, Kataoka H, Aoki T: C5a-C5AR1 axis as a potential trigger of the rupture of intracranial aneurysms. Scientific Reports 2024 ; 14(1) : 3105.
4. Sakai N, Kawabata S, Funatsu T, Okuda T, Akiyama R, Tani S, Shigematsu T: Four-year follow-up on the first-in-human experience with nautilus intrasaccular system assisted coiling for unruptured intracranial aneurysms. Stroke : Vascular and Interventional Neurology 2024 ; 3(3) : doi : 10.1161/SVIN.122.000770.

◇学 会

国内学会

特別企画（シンポジウム・パネルディスカッション）

1. 清水 寛平：M1 閉塞に対する血栓回収療法。大口径吸引カテーテルの意義と活用。第39回日本脳血管内治療学会学術集会，2023. 11. 23－25，京都，現地開催
2. 藤本 基秋，清水 寛平，緒方 秀樹，山下 北斗，吉田 正太，秋山 義典，谷 正一：術前の眼症状は頸動脈血行再建術後の急性緑内障と関連する。STROKE 2024，2024. 3. 7－9，横浜，現地開催

一般演題（口演）

3. 吉田 正太，藤本 基秋，清水 寛平，緒方 秀樹，山下 北斗，谷 正一：susceptibility vessel sign に沿った stent retriever の展開が first-pass reperfusion を予測する。STROKE 2024，2024. 3. 7－9，横浜，現地開催

◇研 究 会

一般演題（口演）

1. 藤本 基秋，緒方 秀樹，清水 寛平，山下 北斗，吉田 正太，谷 正一：MRI ファーストでの脳血栓回収療法。第6回奈良脳血管内治療研究会，2023. 4. 28，奈良，現地開催
2. 藤本 基秋，緒方 秀樹，清水 寛平，山下 北斗，吉田 正太，谷 正一：未破裂脳底動脈先端部動脈瘤の一例。第64回近畿脳神経血管内手術法ワークショップ，2023. 7. 14－15，田辺（和歌山），現地開催
3. 藤本 基秋，緒方 秀樹，清水 寛平，山下 北斗，吉田 正太，谷 正一：留置に難渋した Pipeline 症例。第1回京都大学脳神経外科 NeuroIVR 研修セミナー，2023. 12. 11，京都，現地開催

◇その他の講演

1. 藤本 基秋，緒方 秀樹，清水 寛平，山下 北斗，吉田 正太，谷 正一：急性期脳卒中診療における画像診断の有用性。奈良 CT conference 定例会，2024. 2. 29，WEB 開催
2. 藤本 基秋，緒方 秀樹，清水 寛平，山下 北斗，吉田 正太，谷 正一：脳卒中を疑う。

第12回救急疾患懇話会, 2024. 2. 29, 天理, 現地開催

心臓血管外科

◇学術雑誌

(欧文)

1. Uehara K, Shirakami T, Arai Y: Surgical explantation for a rapid deployment valve: The 'shave-and-hook technique'. Interdisciplinary CardioVascular and Thoracic Surgery 2024; 38(5): ivae 072.

◇学会

国際学会

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

1. Uehara K, Shirakami T, Sugita Y, Kobiki J, Fujiwara Y, Takimoto S, Morishima M, Iwakura A: Fatal Intracardiac thrombus during acute type A aortic dissection repair in a patient with Kommerell diverticulum after previous AVR. BASS 2023 Annual Meeting, 2023. 5. 29, Seoul (Korea), 現地開催
2. Kobiki J, Shirakami T, Tsuji T, Morishima M, Uehara K, Arai Y; The effect of coil embolization to prevent type II endoleak in EVAR. 83rd annual conference of the association of surgeons, 2023. 12. 6, India, 現地開催

国内学会

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

1. 上原 京勲, 白神 拓, 小曳 純平, 辻 崇, 森島 学, 新井 善雄: 心臓手術既往のある症例に対する Bentall 手術の治療成績, 第51回日本血管外科学会学術総会, 2023. 5. 31 - 6. 2, 東京, 現地開催

一般演題 (口演)

2. 新井 善雄, 白神 拓, 小曳 純平, 辻 崇, 森島 学, 上原 京勲: TEVAR 後の open conversion 時の中枢側遮断の工夫. 第51回日本血管外科学会学術総会, 2023. 5. 31 - 6. 2, 東京, 現地開催
3. 白神 拓, 小曳 純平, 辻 崇, 森島 学, 上原 京勲, 新井 善雄: 腸骨動脈病変を伴う腹部大動脈瘤に対する 4 分枝人工血管 (J Graft シールド Quadruple) の成績. 第66回関西胸部外科学会学術集会, 2023. 6. 8 - 9, 大阪, 現地開催
4. 辻 崇, 上原 京勲, 白神 拓, 小曳 純平, 森島 学, 新井 善雄: TEVAR および人工血管置換術後の AEF に対し二期的治療を行った 1 症例. 第37回日本血管外科学会近畿地方会, 2024. 3. 2, 大阪, 現地開催
5. 辻 崇, 白神 拓, 小曳 純平, 森島 学, 上原 京勲, 新井 善雄: 心室中隔穿孔 (VSP) に対する IMPELLA を用いた治療戦略～ 待機的 VSP 閉鎖術を施行した 1 手術例～. 第36回心臓血管外科ウインターセミナー学術集会, 2024. 3. 6 - 8, 長野, 現地開催

一般演題（ポスター）

6. 白神 拓, 小曳 純平, 辻 崇, 森島 学, 上原 京勲, 新井 善雄：腸骨動脈病変を伴う腹部大動脈瘤に対し4分枝人工血管（J Graft シールド Quadruple）を使用した1例, 第51回日本血管外科学会学術総会, 2023. 5. 31－6. 2, 東京, 現地開催
7. 森島 学, 白神 拓, 小曳 純平, 辻 崇, 上原 京勲, 新井 善雄：高安動脈炎による腹部大動脈狭窄に対して血行再建をくりかえし必要とした一例. 第51回日本血管外科学会学術総会, 2023. 5. 31－6. 2, 東京, 現地開催
8. 森島 学, 白神 拓, 小曳 純平, 辻 崇, 上原 京勲, 新井 善雄：当院における人工弁感染に対する手術成績について. 第54回日本心臓血管外科学会学術総会, 2024. 2. 22－24, 浜松, 現地開催

◇研 究 会

特別講演・教育講演

1. 新井 善雄：地域医療に貢献するための心臓血管外科の取り組み. かかりつけ医ネットワーク診療連携講義会, 2023. 12. 7, 天理, ハイブリッド開催
2. 新井 善雄：Alternative approach or SAVR. 第1回 K-SHD 研究会, 2023. 12. 9, 大阪, 現地開催

特別企画（シンポジウム・パネルディスカッション）

3. 上原 京勲：出血・合併症の無い弓部大動脈置換術. 第1回長期予後を見据えた大血管戦略 Advancing Techniques in Japan 一, 2023. 5. 17, Web 開催
4. 新井 善雄：TEVAR 後の ALPS 切開による上行弓部下行全置換術. 第5回低侵襲治療研究会, 2023. 9. 2, 神戸, ハイブリッド開催
5. 新井 善雄：当院の NO 吸入療法の使用経験. iNO Heart Seminar, 2023. 9. 15, Web 開催
6. 新井 善雄：当院の Epic Mitral 生体弁の成績. Valve Surgery Discussion Meeting, 2023. 12. 1, 大阪, 現地開催
7. 上原 京勲：急性大動脈解離手術時の使用デバイスの選択と適応. Kyoto 大動脈治療 Expert Meeting. 2023. 12. 27, Web 開催
8. 新井 善雄：急性 A 型大動脈解離の脳 malperfusion への取り組み. 京都心臓血管外科 Topics Webinar, 2024. 2. 29, 京都, ハイブリッド開催

産 婦 人 科

◇学 会

国内学会

一般演題（口演）

1. 原岡 優子, 山本 美紗子, 小山 御咲, 田中 梓菜, 松下 克子, 富田 裕之, 宇治田 麻里, 住友 理浩：子宮体癌再発との鑑別が困難であったリンパ節腫大の1例. 令和5年度奈

良県産婦人科医会学術講演会, 2023. 8. 5, 橿原 (奈良), 現地開催

2. 市川 尚寛, 原岡 優子, 川本 佳与子, 田中 梓菜, 松下 克子, 富田 裕之, 宇治田 麻里, 住友 理浩: 診断と治療に苦慮した頸部筋腫を合併した子宮頸癌の一例. 第14回奈良県婦人科腫瘍疾患研究会, 2024. 3. 16, 橿原 (奈良), 現地開催

〈他施設との共同研究〉

3. 伊藤 美幸, 三好 さゆり, 石田 憲太郎, 砂田 真澄, 安堂 有希子, 山西 優紀夫, 古武 陽子, 安彦 郁, 住友 理浩, 堀江 昭史, 樋口 壽宏, 万代 昌紀: 施設の垣根を越えた働き方改革に関する取り組み. 第75回日本産科婦人科学会学術集会, 2023. 5. 12-14, 東京・ハイブリッド開催

◇研 究 会

特別講演・教育講演

1. 住友 理浩: 当科における最近の取り組み. テルモアドスプレーグループミーティング, 2024. 2. 9, 京都, 現地開催

一般演題 (口演)

2. 富田 裕之, 原岡 優子, 山本 美紗子, 小山 御咲, 田中 梓菜, 松下 克子, 宇治田 麻里, 住友 理浩: 当院におけるペンプロリズム・レンパチニブ併用療法の使用経験の考察. 婦人科腫瘍 web セミナー “子宮体癌治療 update2023”, 2023. 6. 29, 橿原 (奈良) ・ハイブリッド開催
3. 住友 理浩, 三好 さゆり, 石田 憲太郎, 砂田 真澄, 安堂 有希子, 山西 優紀夫, 古武 陽子, 伊藤 美幸, 安彦 郁, 堀江 昭史, 樋口 壽宏: 働き方改革アンケート報告. 第16回サマークリニカルフォーラム, 2023. 7. 17, 京都・ハイブリッド開催

◇院内集談会

1. 住友 理浩: 周術期管理. 病棟勉強会, 2024. 6. 21, 東西病棟 4 階画像カンファレンス室 1 ・ハイブリッド開催
2. 住友 理浩: 産婦人科診療について. レジデント講義, 2023. 6. 26, 東西病棟 4 階画像カンファレンス室 1
3. 住友 理浩: 婦人科悪性腫瘍. 病棟勉強会, 2023. 7. 19, 東西病棟 4 階画像カンファレンス室 1
4. 住友 理浩: CTG 勉強会. 病棟勉強会, 2024. 2. 7, 東西病棟 4 階画像カンファレンス室 1

眼 科

◇学 術 雑 誌

(欧 文)

1. Sakamoto T, Nisiwaki H: Factors associated with 1-year outcomes and transient intraocular pressure elevation in minimally invasive glaucoma surgery using

Kahook dual blade. Scientific Reports 2023 ; 13 : 15206.

(邦 文)

2. 松岡 恵美子, 松原 英紀: 不安感の強い緑内障患者のロービジョンケア. 日本ロービジョン学会誌 2023 ; 23 : 73-77.
3. 平井 真理子, 西脇 弘一: 小児の特発性動眼神経麻痺の1例. 臨床眼科 2023 ; 77 (9) : 1119-1124.
4. 阪本 知暲, 西脇 弘一: COVID-19感染流行前後における当院での患者数, 手術件数動態の比較検討. 臨床眼科 2024 ; 78 (1) : 123-131.
5. 阪本 知暲, 西脇 弘一: ORTe EYENAC によりアブラクロニジン1%点眼試験での瞳孔の記録を行った後天性 Horner 症候群の1例. 臨床眼科 2024 ; 78 (2) : 251-256.

◇学 会

国内学会

一般演題 (口演)

1. 阪本 知暲, 西脇 弘一: COVID19感染流行前後における当院での患者数, 手術件数動態の比較検討. 第74回京都大学眼科同窓会学会, 2023. 11. 12, 京都, 現地開催

一般演題 (ポスター)

2. 日名 実咲, 阪本 知暲, 阪本 知佳, 西脇 弘一: ORTe EYENAC を用いた健常眼における瞳孔日内変動の評価. 第64回日本視能矯正学会, 2023. 11. 18-19, 高松 (香川) ・ハイブリッド開催

◇研 究 会

一般演題 (口演)

1. 阪本 知暲, 西脇 弘一: COVID19感染前後における天理よろづ相談所病院での患者数, 手術件数動態の比較検討. 奈良県眼科医会第15回医療機関連携集談会, 2023. 4. 22, 橿原 (奈良) ・ハイブリッド開催
2. 溝口 周作, 西脇 弘一: 早期診断・治療が可能だった予後良好な特発性後部強膜炎の1例. 第30回奈良県黄斑疾患研究会, 2023. 6. 1, 奈良, 現地開催
3. 西脇 弘一: 緑内障薬物治療・緑内障手術に関するアンケート結果の考察. 第26回緑内障手術研究会, 2024. 2. 16, 大阪, 現地開催
4. 阪本 知暲, 西脇 弘一: 当院における PRESERFLO[®]マイクロシャントの使用実績. 第26回緑内障手術研究会, 2024. 2. 16, 大阪, 現地開催
5. 溝口 周作: V ランス・23G 針を用いた線維柱帯切開術 (眼内法) の術後短期成績. 奈良県眼科医会学術定例会, 2024. 2. 18, 橿原 (奈良), 現地開催

◇その他の講演

1. 西脇 弘一: いろいろやっています. 第3回眼科手術 Update Seminar in Kyoto, 2024. 3. 8, 京都・Web 開催

◇一 般 向 け

(講 演)

1. 西脇 弘一: アレルギー性結膜炎について. 令和5年度奈良県アレルギー疾患研修会,

2024. 1. 18, 橿原（奈良）, 現地開催

耳 鼻 咽 喉 科

◇書 籍

1. 平海 晴一：後天性難聴 難聴・耳鳴診療ハンドブック：最新の検査・鑑別診断と治療（プラクティス耳鼻咽喉科の臨床／大森孝一総編集，5），pp30－35，佐藤 宏昭 専門編集，中山書店（東京），2023

◇学 術 雑 誌

（欧 文）

1. Iokura D, Okanou Y, Otsuki S, Oe K, Takata K, Tarui A, Kojima T : Safety and efficacy of high tracheostomy with inferior retraction of the thyroid isthmus. *Auris Nasus Larynx* 2023 ; 51(2) : 231–235.
2. Iokura D, Kojima T, Okanou Y, Otsuki S : Hemostasis for a post-tonsillectomy hemorrhage in a patient with coronavirus disease. *Curēus* 2023 ; 15(5) : e 39432.
3. Hiraumi H, Oikawa SI, Shiga K, Sato H : Systemic cisplatin increases the number of patients showing positive off-frequency masking audiometry. *Plos One* 2023 ; 18(7) : e 0287400.

〈他施設との共同研究〉

4. Tsuji T, Asato R, Kada S, Kitamura M, Tamaki H, Mizuta M, Tanaka S, Watanabe Y, Hori R, Kojima T, Shinohara S, Takebayashi S, Maetani T, Harada H, Kitani Y, Kumabe Y, Tsujimura T, Honda K, Ichimaru K, Ushiro K, Omori K : A multi-institutional retrospective study of 340 cases of sinonasal malignant tumor. *Auris Nasus Larynx* 2023 ; 51(1) : 86–98.
5. Kawai Y, Kishimoto Y, Tamaki H, Fujiwara T, Asato R, Ushiro K, Shinohara S, Kada S, Takebayashi S, Kojima T, Otsuki S, Miyazaki M, Kumabe Y, Omori K : Parathyroid carcinoma : Impact of preoperative diagnosis on the choice of surgical procedure. *Endocrine Journal* 2023 ; 70(10) : 969–976.
6. Harada H, Kikuchi M, Asato R, Hamaguchi K, Tamaki H, Mizuta M, Hori R, Kojima T, Honda K, Tsujimura T, Kumabe Y, Ichimaru K, Kitani Y, Ushiro K, Kitamura M, Shinohara S, Omori K : Characteristics of oral squamous cell carcinoma focusing on cases unaffected by smoking and drinking : A multicenter retrospective study. *Head & Neck* 2023 ; 45(7) : 1812–1822.
7. Ushiro K, Watanabe Y, Kishimoto Y, Kawai Y, Fujimura S, Asato R, Tsujimura T, Hori R, Kumabe Y, Yasuda K, Tamaki H, Iki T, Kitani Y, Kurata K, Kojima T, Takata K, Kada S, Takebayashi S, Shinohara S, Hamaguchi K, Miyazaki M, Ikenaga T, Maetani T, Harada H, Haji T, Omori K : Local recurrence and

metachronous multiple cancers after transoral nonrobotic surgery for pharyngeal and laryngeal squamous cell carcinoma: A retrospective multicenter study. Head & Neck 2024 ; 46(1): 118–128.

(邦 文)

8. 平海 晴一：耳科手術における側頭骨 CT の現状と未来. 耳鼻咽喉科臨床 2023 ; 116 (11) : 1043–1048.
9. 平海 晴一：人工内耳のコード化法の現状と進歩. 耳鼻咽喉科展望 2023 ; 66 (4) : 152–155.
10. 岡上 雄介, 堀 龍介：【伝音難聴を克服する 一歩進んだ診断と手術・人工聴覚器の適応の見極め】「浅在化鼓膜への手術適応と課題」. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 2024 ; 96 (1) : 37–42.
11. 柚木 稜平, 児嶋 剛, 大槻 周也：外傷性輪状軟骨単独骨折に対して音声改善手術を行なった一例 輪状軟骨骨折への音声手術. 喉頭 2023 ; 35 (1) : 38–42.
12. 児嶋 剛：音声外科の手術手技 ボツリヌス毒素声帯内注射も含めて. 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会報 2023 ; 126 (8) : 1022–1025.
13. 大槻 周也, 堀 龍介, 篠原 尚吾, 児嶋 剛, 玉木 久信, 安里 亮, 北村 守正, 市丸 和之, 木谷 芳晴, 隈部 洋平, 本多 啓吾, 辻村 隆司, 原田 博之, 牛呂 幸司, 大森 孝一：リアルワールドにおける再発転移頭頸部扁平上皮癌に対するニボルマブの2年成績および予後因子 (Secondary Publication). 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会報 2024 ; 127 (3) : 189–191.
14. 大槻 周也, 岡上 雄介, 大江 健吾, 高田 晋明, 樽井 彬人, 五百倉 大輔, 児嶋 剛：声門下喉頭閉鎖術を施行した6例の治療成績. 日本気管食道科学会会報 2023 ; 74 (4) : 296–302.
15. 岡上 雄介, 児嶋 剛, 大槻 周也, 大江 健吾, 高田 晋明, 樽井 彬人, 五百倉 大輔, 住吉 真治, 堀 龍介：甲状腺乳頭癌内に直腸癌の転移像がみられた1例. 日本内分泌外科学会雑誌 2023 ; 40 (2) : 116–122.

◇学 会

国際学会

一般演題 (ポスター)

1. Iokura D, Okanou Y, Otsuki S, Oe K, Takata K, Tarui A, Kojima T: Safety and efficacy of high tracheostomy with inferior retraction of the thyroid isthmus. The 144th American Laryngological Association (ALA) at ALA/COSM VIRTUAL Meeting, 2023. 5. 3–7, Boston, MA (USA), Web 開催
2. Hiraumi H, Oikawa SI, Shiga K, Sato H: Systemic cisplatin increases the number of patients showing positive off-frequency masking audiometry. 14th Asia Pacific Symposium on Cochlear Implant and Related Sciences, 2023. 11. 8–11, Seoul (South Korea), 現地開催

国内学会

特別企画（シンポジウム・パネルディスカッション）

3. 平海 晴一：CST（Cadaver Surgical Training）の進化と深化 耳科手術のための CST.
第33回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会，2024. 2. 1－2，松山（愛媛），現地開催

一般演題（口演）

4. 大槻 周也，岡上 雄介，堀 龍介，大江 健吾，高田 晋明，樽井 彬人，五百倉 大輔，
児嶋 剛：当科での中耳奇形に対する内視鏡下手術の検討．第124回日本耳鼻咽喉科頭頸
部外科学会総会・学術講演会，2023. 5. 17－20，福岡，現地開催
5. 児嶋 剛，大槻 周也，岡上 雄介，末廣 篤，岸本 曜，本多 啓吾，大森 孝一：エネル
ギーデバイスをを用いた無結紮甲状腺手術．第47回日本頭頸部癌学会総会・学術講演会，
2023. 6. 15－16，大阪，現地開催
6. 高田 晋明，岡上 雄介，大槻 周也，大江 健吾，樽井 彬人，五百倉 大輔：受診・治療
拒否により巨大化した鼻腔扁平上皮癌．第85回耳鼻咽喉科臨床学会総会・学術講演会，
2023. 6. 24－25，東京，現地開催
7. 五百倉 大輔，岡野 高之，吉松 誠芳，大森 孝一：内耳道に生じた海綿状血管腫例．第
85回耳鼻咽喉科臨床学会総会・学術講演会，2023. 6. 24－25，東京，現地開催
8. 樽井 彬人，児嶋 剛，岡上 雄介，大槻 周也，大江 健吾，高田 晋明，五百倉 大輔：
側頸嚢胞術後に嚢胞性頸部リンパ節転移を来した p16陽性中咽頭癌の1例．第85回耳鼻
咽喉科臨床学会総会・学術講演会，2023. 6. 24－25，東京，現地開催
9. 岡上 雄介，堀 龍介，扇田 秀章，大槻 周也：モルモットを用いた内視鏡によるアブリ
骨筋反射の可視化．第33回日本耳科学会総会・学術講演会，2023. 11. 1－4，高崎（群馬），
現地開催
10. 小田 詩織，大槻 周也，岡上 雄介，高田 晋明，倉田 耀介，五百倉 大輔，平海 晴一：
手術によって診断に至った胃癌下顎骨転移の1例．第33回日本頭頸部外科学会総会なら
びに学術講演会，2024. 2. 1－2，松山（愛媛），現地開催
11. 高田 晋明，大久保 淳一，原田 博之，篠原 尚吾，辻村 隆司，木谷 芳晴，山下 燎亮，
渡邊 佳紀，児嶋 剛，大森 孝一：喉頭天疱瘡の臨床像に関する多施設共同研究．第36
回日本喉頭科学会総会・学術講演会，2024. 3. 7－8，京都，現地開催

一般演題（ポスター）

12. 五百倉 大輔，岡上 雄介，大槻 周也，児嶋 剛，堀 龍介：成人患者に施行した鼓膜切
開術の検討．第33回日本耳科学会総会・学術講演会，2023. 11. 1－4，高崎（群馬），現
地開催
13. 五百倉 大輔，児嶋 剛，岡上 雄介，大槻 周也，高田 晋明，小田 詩織，倉田 耀介，
平海 晴一：喉頭に生じた筋線維芽細胞肉腫例．第36回日本喉頭科学会総会・学術講演
会，2024. 3. 7－8，京都，現地開催

◇研 究 会

一般演題（口演）

1. 大槻 周也：当科における内視鏡下中耳奇形手術の検討. 第42回京都耳鼻咽喉科研究会, 2023. 4. 8, 京都・ハイブリッド開催
2. 高田 晋明, 岡上 雄介, 大槻 周也, 大江 健吾, 樽井 彬人, 五百倉 大輔：甲状腺片葉切除における術後甲状腺機能への影響. 第95回奈良県耳鼻咽喉科講習会, 2023. 4. 15, 橿原（奈良）・ハイブリッド開催
3. 大槻 周也：当科で行っている内視鏡下アブミ骨手術. 第25回北和耳鼻咽喉科病診連携講習会, 2023. 7. 29, 奈良・Web 開催
4. 小田 詩織：デュピルマブが奏功したアレルギー性真菌性副鼻腔炎の1例. 第25回北和耳鼻咽喉科病診連携講習会, 2023. 7. 29, 奈良・Web 開催
5. 倉田 耀介：頬部膿瘍を来した上顎洞真菌症の1例. 第25回北和耳鼻咽喉科病診連携講習会, 2023. 7. 29, 奈良・Web 開催
6. 五百倉 大輔：緊急気道確保を要した喉頭腫瘍症例. 第25回北和耳鼻咽喉科病診連携講習会, 2023. 7. 29, 奈良・Web 開催
7. 高田 晋明：耳下腺癌に対する当科の治療方針. 第25回北和耳鼻咽喉科病診連携講習会, 2023. 7. 29, 奈良・Web 開催
8. 小田 詩織：当科での異物摘出症例の検討. 第25回北和耳鼻咽喉科病診連携講習会, 2023. 7. 29, 奈良・Web 開催
9. 倉田 耀介：内視鏡下に摘出しえた蝶形骨洞乳頭腫の悪性転化例. 第25回北和耳鼻咽喉科病診連携講習会, 2023. 7. 29, 奈良・Web 開催
10. 五百倉 大輔：1 か月で経験した急性喉頭蓋炎5例. 第25回北和耳鼻咽喉科病診連携講習会, 2023. 7. 29, 奈良・Web 開催
11. 平海 晴一：耳科手術における手技の工夫. 第96回奈良県耳鼻咽喉科講習会, 2023. 10. 21, 奈良・ハイブリッド開催
12. 倉田 耀介：再発を繰り返すアレルギー性真菌性鼻副鼻腔炎に対しデュピルマブが著効した一例. 第3回好酸球性副鼻腔炎 Total Management Seminar, 2023. 11. 25, 大阪, 現地開催
13. 倉田 耀介：再発を繰り返すアレルギー性真菌性鼻副鼻腔炎に対しデュピルマブが著効した一例. 第44回京都耳鼻咽喉科研究会, 2023. 12. 2, 京都, 現地開催
14. 高田 晋明：甲状腺片葉切除における術後甲状腺機能への影響. 第44回京都耳鼻咽喉科研究会, 2023. 12. 2, 京都, 現地開催
15. 大槻 周也：術中心停止により一期的再建を断念し、二期的有茎皮弁再建で経口摂取を得た下咽頭癌 TPLE 例. 第15回東和耳鼻咽喉科医療講習会, 2024. 2. 24, 奈良・ハイブリッド開催
16. 小田 詩織：唾液腺腫瘍に対する穿刺吸引細胞診の検討. 第15回東和耳鼻咽喉科医療講習会, 2024. 2. 24, 奈良・ハイブリッド開催
17. 五百倉 大輔：成人に対する鼓膜切開術の検討－滲出性中耳炎を中心に－. 第15回東和

耳鼻咽喉科医療講習会, 2024. 2. 24, 奈良・ハイブリッド開催

◇院内集談会

1. 平海 晴一: もっと良く観る, もっと良く聞く 難聴の治療と認知症への影響. 天理よろづ相談所学術発表会, 2024. 2. 22, 外来診療棟5階講堂・ハイブリッド開催

形 成 外 科

◇学 術 雑 誌

(欧 文)

1. Nakano T, Sakamoto M, Katayama Y, Shimizu Y, Inoie M, Li Y, Yamanaka H, Tsuge I, Saito S, Morimoto N: Dried human-cultured epidermis accelerates wound healing in a porcine partial-thickness skin defect model. *Regenerative Therapy* 2023 ; 22 : 203–209.
2. Nakano T, Yamanaka H, Sakamoto M, Tsuge I, Katayama Y, Saito S, Ono J, Yamaoka T, Morimoto N: Development of a self-assembled dermal substitute from human fibroblasts using long-term three-dimensional culture. *Tissue Engineering. Part A* 2023 ; 29(21–22) : 569–578.

◇学 会

国内学会

特別講演・教育講演

1. 仲野 孝史: ネットモールド法を用いた長期三次元培養によるヒト真皮線維芽細胞からの培養真皮の開発. 第45回日本バイオマテリアル学会大会 Seminars by Up-and-coming Scientists IV, 2023. 11. 6–7, 神戸, 現地開催

一般演題 (口演)

2. 勝寫 千裕, 素輪 善弘, 坂本 道治, 山中 浩気, 津下 到, 勝部 元紀, 齊藤 晋, 森本 尚樹: ティッシュ・エキスパンダー小児使用例における多変量解析を用いた感染・露出に関するリスク因子検討. 第66回日本形成外科学会総会・学術集会, 2023. 4. 26–28, 長崎・ハイブリッド開催
3. 仲野 孝史, 小川 興, 山中 浩気, 片山 善博, 津下 到, 齊藤 晋, 坂本 道治, 大野 次郎, 山岡 哲治, 森本 尚樹: 線維芽細胞由来の縫合可能な強度を有する培養真皮の開発. 第32回日本形成外科学会基礎学術集会, 2023. 10. 19–20, 東京・ハイブリッド開催

◇研 究 会

特別講演・教育講演

1. 野田 和男: 足病医療における形成外科的治療と新規創傷治癒材料の開発. 第22回糖尿病の足病変を考える会, 2024. 1. 27, 奈良・ハイブリッド開催

一般演題 (口演)

2. 勝寫 千裕, 村田 舞, 仲野 孝史, 野田 和男: 小指に生じた腱鞘線維腫の一例. 第37回

奈良形成外科研究会, 2024. 2. 9, 奈良, 現地開催

整 形 外 科

◇学 術 雑 誌

(欧 文)

1. Takaoka Y, Fujibayashi S, Onoe H, Goto K, Otsuki B, Kawai T, Okuzu Y, Shimizu T, Ikeda N, Orita K, Honda S, Ikezaki T, Yabutsuka T, Matsuda S : Bone ingrowth into a porous structure is achieved by preceding fibrogenesis and vascularization. *Acta Biomaterialia* 2024 ; doi : 10.1016/j.actbio.2024.02.016.
2. Tomizawa T, Cox T, Kollert F, Bowman SJ, Ito H, Matsuda S, Fisher BA : The impact of concomitant Sjögren's disease on rheumatoid arthritis disease activity : A systematic review and meta-analysis. *Clinical and Experimental Rheumatology* 2023 ; 41(12) : 2484–2492.

〈他施設との共同研究〉

3. Masuda S, Shimizu T, Sono T, Tamaki Y, Onishi E, Takemoto M, Odate S, Kimura H, Izeki M, Tomizawa T, Tsubouchi N, Fujibayashi S, Otsuki B, Murata K, Matsuda S : Recurrence rate after posterior percutaneous screw fixation without anterior debridement for pyogenic spondylitis compared with conservative treatment : A propensity score-matched analysis. *European Spine Journal* 2023 ; 32(12) : 4265–4271.

◇学 会

国際学会

特別講演・教育講演

1. Seki K : Anterior cervical surgery : Multi-level ACDF and ACCF. 13th Annual Meeting of Cervical Spine Research Society Asia Pacific Section, 2023. 3. 9–11, Yokohama, 現地開催

一般演題 (ポスター)

2. Seki K : Insufficient blood flow in the radiculomedullary artery may cause cervical dysfunction : A case report. *Eurospine* 2023, 2023. 10. 4–6, Frankfurt (Germany), 現地開催
3. Seki K : Insufficient blood flow in the radiculomedullary artery may cause ischemic myelopathy. 14th Annual Meeting of Cervical Spine Research Society Asia Pacific Section, 2024. 3. 22–24, Singapore, 現地開催

国内学会

一般演題 (口演)

4. 高岡 佑輔, 後藤 公志, 黒田 隆, 河井 利之, 奥津 弥一郎, 小林 与人, 富澤 琢也,

関 賢二, 松田 秀一: Double taper 型チタン製ステムと第1世代クロスリンクポリエチレンカップを使用したセメント THA の長期成績について. 第54回日本人工関節学会, 2024. 2. 23-24, 京都, 現地開催

一般演題 (ポスター)

5. 富澤 琢也, 小谷 友弥, 関 賢二, 伊藤 宣: 関節リウマチ・外反母趾に対し第一中足骨遠位骨切り術を施行し術後1年経過後に骨癒合を得た1例. 第67回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2023. 4. 24-26, 福岡, 現地開催

◇研 究 会

一般演題 (口演)

1. 関 賢二: 圧迫性脊髄症と虚血性脊髄症のクロスオーバー. 第25回圧迫性脊髄症研究会, 2024. 2. 24, 東京, 現地開催

◇その他の講演

1. 関 賢二: 高齢者の脊椎診療 頸椎手術と骨粗鬆症治療. 奈良県臨床整形外科医会研修会, 2023. 6. 10, 奈良・ハイブリッド開催
2. 関 賢二: 頸椎症に生じる症候と神経障害性疼痛について. Pain Live Symposium in 知多, 2023. 6. 26, 名古屋・Web 開催
3. 関 賢二: 骨粗鬆症の治療薬の効果と骨代謝マーカー. Meet the expert on Web 2023, 2023. 7. 19, 奈良・Web 開催
4. 高岡 佑輔: 骨格筋に対する画像評価—THA による筋肉に対する侵襲を画像評価できるか. 第8回若手股関節セミナー, 2023. 8. 5, 京都・ハイブリッド開催
5. 関 賢二: 頸髄症に生じる症候と神経障害性疼痛. Kyoto Young Spine surgeon Meeting, 2023. 9. 20, 京都・Web 開催
6. 関 賢二: 脊椎疾患と神経障害性疼痛. 痛み診療 Up todate Web セミナー, 2024. 2. 15, 奈良・Web 開催
(2022年度追加)
7. 関 賢二: 頸椎前方除圧固定術 多椎間手術による除圧と後弯矯正の手術手技について. 第17回 NSG 頸椎セミナー (名古屋大学), 2023. 2. 11, 名古屋, 現地開催
8. 関 賢二: 骨代謝マーカーに注目した骨粗鬆症治療. 高齢者トータルケア Web Seminar, 2023. 3. 30, 天理・Web 開催

◇院内集談会

1. 富澤 琢也: 骨折リエゾンサービスについて. 二次骨折予防勉強会, 2023. 11. 22, 東5病棟

◇企業内講演

1. Seki K: Myspine Cervical: Case presentation and discussion. Myspine Cervical Expert Meeting, 2023. 9. 28, Zurich (Swiss), 現地開催

泌 尿 器 科

◇学 術 雑 誌

(邦 文)

1. 高島 靖, 川西 博晃, 小谷 慎一, 渡邊 拓樹, 横関 仁志, 舟橋 優里奈, 高岡 直澄, 藤原 真希, 奥村 和弘: 繰り返す術後出血を契機に診断された自己免疫性後天性凝固第13因子(FXIII)欠乏症の1例. 泌尿器科紀要 2023; 69 (6): 169-173.
2. 高岡 直澄, 小堀 豪, 寒野 徹, 恵 謙, 諸井 誠司: 腹腔鏡手術の経験が異なる術者での腹腔鏡下仙骨脛固定術の手術成績の比較. 泌尿器科紀要 2024; 70 (2): 45-50.
3. 奥村 和弘: 【ロボット支援手術の高難易度症例への対応】ロボット支援前立腺全摘除術(RARP) 大きなBPH症例および中葉肥大症例への対応. Japanese Journal of Endourology and Robotics 2023; 36 (2): 152-157.

◇学 会

国内学会

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

1. 奥村 和弘: ロボット支援前立腺全摘除術 腹膜外アプローチの手技と適応. 第16回日本ロボット外科学会学術集会, 2024. 2. 10-11, 米子 (鳥取), 現地開催

一般演題 (口演)

2. 川西 博晃, 小林 昂介, 山根 武紘, 渡邊 拓樹, 高岡 直澄, 岡田 能幸, 奥村 和弘: 当院における去勢抵抗性前立腺癌に対するカバジタキセルの治療成績. 第73回日本泌尿器科学会中部総会, 2023. 10. 12-14, 奈良, 現地開催
3. 高岡 直澄, 小林 昂介, 山根 武紘, 渡邊 拓樹, 岡田 能幸, 川西 博晃, 奥村 和弘: 当院の Stage1 セミノーマに対する補助カルボプラチン療法の治療成績. 第75回西日本泌尿器科学会総会, 2023. 11. 2-5, 松山 (愛媛), 現地開催
4. 山根 武紘, 小林 昂介, 渡邊 拓樹, 高岡 直澄, 岡田 能幸, 川西 博晃, 奥村 和弘: ロボット支援腹腔鏡下腎尿管全摘除術の初期経験. 第37回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会, 2023. 11. 9-11, 米子 (鳥取), 現地開催
5. 渡邊 拓樹, 小林 昂介, 山根 武紘, 高岡 直澄, 岡田 能幸, 川西 博晃, 奥村 和弘: 膀胱後屈を伴う前立腺癌に対してロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術を施行した一例. 第37回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会, 2023. 11. 9-11, 米子 (鳥取), 現地開催

一般演題 (ポスター)

6. 渡邊 拓樹, 舟橋 優里奈, 高岡 直澄, 藤原 真希, 高島 靖, 川西 博晃, 奥村 和弘: 天理よろづ相談所病院におけるロボット支援膀胱全摘除術の治療成績. 第110回日本泌尿器科学会総会, 2023. 4. 20-23, 神戸, 現地開催
7. 藤原 真希, 渡邊 拓樹, 舟橋 優里奈, 高岡 直澄, 高島 靖, 川西 博晃, 奥村 和弘: 進行性尿路上皮癌に対する Pembrolizumab 治療早期の好中球/リンパ球比 (NLR) の上昇は予後不良因子となりうる. 第110回日本泌尿器科学会総会, 2023. 4. 20-23, 神戸,

現地開催

8. 高岡 直澄, 渡邊 拓樹, 舟橋 優里奈, 藤原 真希, 高島 靖, 川西 博晃, 奥村 和弘 : 天理よろづ相談所病院におけるロボット支援下前立腺全摘除術の oncological outcome について. 第110回日本泌尿器科学会総会, 2023. 4. 20-23, 神戸, 現地開催
 9. 高島 靖, 渡邊 拓樹, 舟橋 優里奈, 高岡 直澄, 藤原 真希, 川西 博晃, 奥村 和弘 : 当院における進行性腎細胞癌患者における免疫チェックポイント阻害剤の使用について. 第110回日本泌尿器科学会総会, 2023. 4. 20-23, 神戸, 現地開催
 10. 川西 博晃, 高島 靖, 渡邊 拓樹, 舟橋 優里奈, 高岡 直澄, 藤原 真希, 奥村 和弘 : 当院におけるロボット支援腎部分切除術の周術期成績. 第110回日本泌尿器科学会総会, 2023. 4. 20-23, 神戸, 現地開催
 11. 小林 昂介, 山根 武紘, 渡邊 拓樹, 高岡 直澄, 岡田 能幸, 川西 博晃, 奥村 和弘 : 当院における転移性尿路上皮癌に対するエンホルツマブ・ベドチンの治療成績. 第73回日本泌尿器科学会中部総会, 2023. 10. 12-14, 奈良, 現地開催
 12. 川西 博晃, 小林 昂介, 山根 武紘, 渡邊 拓樹, 高岡 直澄, 岡田 能幸, 奥村 和弘 : 天理よろづ相談所病院におけるロボット支援腹腔鏡下副腎摘除術の初期成績. 第37回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会, 2023. 11. 9-11, 米子 (鳥取), 現地開催
- 〈他施設との共同研究〉
13. 小河 孝輔, 中 悠汰郎, 北林 亮太, 伊藤 英, 岡田 能幸, 大久保 和俊 : HoLEP 後に新たに診断された転移性前立腺癌に関する報告. 第110回日本泌尿器科学会総会, 2023. 4. 20-23, 神戸, 現地開催

◇研究会

一般演題 (口演)

1. 山根 武紘, 小林 昂介, 渡邊 拓樹, 高岡 直澄, 岡田 能幸, 川西 博晃, 奥村 和弘 : ロボット支援腹腔鏡下腎尿管全摘除術の初期経験. 第41回泌尿器科手術研究会, 2024. 1. 27, 京都・ハイブリッド開催

◇その他の講演

1. 川西 博晃 : 当院における, 腎細胞癌 1st line 薬物療法のレジメン選択. HAN-NAWA GU conference, 2023. 4. 14, 大阪・Web 開催
2. 川西 博晃 : 最新の前立腺癌治療について. 桜井地区医師会学術講演会, 2023. 6. 24, 桜井 (奈良), 現地開催
3. 川西 博晃 : エビデンスと経験から考察する前立腺癌治療戦略. Prostate cancer treatment strategy conference, 2023. 11. 1, 大阪・Web 開催
4. 川西 博晃 : 患者背景から考える至適な薬剤選択について. RCC expert seminar, 2024. 2. 9, 大阪・Web 開催
5. 奥村 和弘 : 動画で解説する RARP における私のこだわり. Urology seminar in 2024, 2024. 3. 2, 大阪, 現地開催

麻 酔 科

◇学 術 雑 誌

(邦 文)

1. 石井 久成：【透析と麻酔】(PART3) 透析患者の合併症と周術期の対処 心臓・大血管の動脈硬化. LiSA 2023; 30 (別冊秋号) : 199-204.
2. 石井 久成：非心臓周術期心筋傷害 (myocardial injury after non-cardiac surgery : MINS) の術中管理と予後 MINS を見極めよう. 麻酔 2023; 72 (増刊) : S1-9.
3. 石井 久成：2022年改訂版 非心臓手術における合併心疾患の評価と管理に関するガイドラインと、それに伴う臨床麻酔の課題について 非心臓手術における合併心疾患の評価と管理に関するガイドラインの改訂は日々の臨床麻酔管理を変えるのか？ 改訂により浮かび上がる臨床麻酔の課題. 日本臨床麻酔学会誌 2023; 43 (7) : 514-521.
4. 石井 久成：心疾患合併患者の非心臓手術. 臨床麻酔 2023; 47 (10) : 1100-1109.

◇学 会

国内学会

特別講演・教育講演

1. 石井 久成：非心臓周術期心筋傷害：術中管理と予後との関係—MINS を見極めよう—, 日本麻酔科学会第70回学術集会, 2023. 6. 1-3, 神戸・ハイブリッド開催
2. 石井 久成：短時間で伝えたいスワンガンツカテテル・ForeSight・ヘモスフィアのちょっと e 話 (エドワーズだけに). 第38回経食道心エコー講習会 (大阪), 2023. 7. 1-2, 大阪, 現地開催

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

3. 石井 久成：構造的な心疾患 (Structural Heart Disease : SHD) と SHD インターベンションの麻酔. 日本臨床麻酔学会第43回学術大会, 2023. 12. 7-9, 宮崎, 現地開催

一般演題 (ポスター)

4. 野原 静華, 石井 久成：下肢虚血における局所組織酸素飽和度はモニター位置による影響を受けるのか？ 足底と腓腹による比較. 日本麻酔科学会第70回学術集会, 2023. 6. 1-3, 神戸・ハイブリッド開催
5. 南川 侑介, 石井 久成：麻酔導入時の血圧低下と足底 rSO2 の変化の関連についての検討. 日本麻酔科学会第70回学術集会, 2023. 6. 1-3, 神戸, ハイブリッド開催
6. 金城 碧, 石井 久成：肺動脈カテテルの留置時間 (右内頸静脈から肺動脈) と挿入経路の解剖学的走行形態の関連性. 日本麻酔科学会第70回学術集会, 2023. 6. 1-3, 神戸・ハイブリッド開催
7. 三島 洋輝, 川上 由奈, 石井 久成：監視下麻酔管理における経カテテル的大動脈弁置換術中の下顎挙上デバイスの気道開存効果と Body Mass Index の関係. 日本麻酔科学会第70回学術集会, 2023. 6. 1-3, 神戸・ハイブリッド開催
8. 山本 広大, 山口 直城, 山下 和人, 石井 久成：術中の致死性アナフィラキシーショックの原因薬剤が術後早期の皮内テストによりアルブミン製剤と特定し得た 1 例. 日本麻

酔科学会第69回関西支部学術集会, 2023. 9. 2, 大阪, 現地開催

9. 野原 静華, 倉橋 直仁, 石井 久成: 全弓部置換術の人工心肺離脱時にプロタミン投与により致死的な左房内血栓形成を繰り返した一例. 日本心臓血管麻酔学会第28回学術大会, 2023. 9. 16-17, 奈良, 現地開催
10. 南川 侑介, 石井 久成: 術前に心臓外腫瘍と確定診断できず人工心肺下に摘出した左房内粘液腫の一例. 日本心臓血管麻酔学会第28回学術大会, 2023. 9. 16-17, 奈良, 現地開催
11. 金城 碧, 山口 直城, 石井 久成: 大動脈弁置換後の溶血性貧血の原因として弁周囲逆流と同部位からの収縮期の順行性加速血流が疑われた一例. 日本心臓血管麻酔学会第28回学術大会, 2023. 9. 16-17, 奈良, 現地開催

緩和ケア科

◇学術雑誌

(邦文)

1. 加藤 恭郎, 徳岡 泰紀: 緩和ケア病棟入院患者の低血糖発作についての検討. 天理医学紀要 2023; 26 (2): 83-88.

◇学会

国内学会

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

1. 加藤 恭郎: 終末期の低血糖発作への対応: 低血糖を積極的には対応しない立場. 第28回日本緩和医療学会学術大会, 2023. 6. 30-7. 1, 神戸・ハイブリッド開催

◇その他の講演

1. 加藤 恭郎: 緩和ケア病棟における便通異常, 貼付剤について. 白川分院 宮城医院 実習を伴う専門的な緩和ケアの研修, 2023. 3. 14, 天理, 現地開催

腫瘍内科

◇学術雑誌

(欧文)

〈他施設との共同研究〉

1. Yamaguchi A, Kawaguchi K, Kawanishi K, Maeshima Y, Nakakura A, Kataoka TR, Takahara S, Nakagawa S, Yonezawa A, Takada M, Kawashima M, Kawaguchi-Sakita N, Kotake T, Suzuki E, Shimizu H, Torii M, Morita S, Ishiguro H, Toi M: Comparison of cisplatin-based versus standard preoperative chemotherapy in patients with operable triple-negative breast cancer: Propensity score matching

and inverse probability of treatment weighting analysis. Breast Cancer Research and Treatment 2023 ; doi : 10.1007/s 10549-023-07163-z.

◇学 会

国際学会

一般演題（ポスター）

〈他施設との共同研究〉

1. Kawaguchi K, Maeshima Y, Ishiguro H, Yamagami K, Takahara S, Suwa H, Torii M, Nagai S, Sagara Y, Tsuji W, Yamashiro H, Kotake T, Fukuda S, Saito K, Yamamoto Y, Kataoka M, Himoto Y, Yonezawa A, Fukui Y, Nakamura Y, Li W, Tanaka S, Morita S, Toi M: Alteration of gut microbiota signatures and its association with diarrhea during abemaciclib treatment: A multicenter prospective cohort study (KBCRN-A002 study). 2022 San Antonio Breast Cancer Symposium, 2022. 12. 6-10, San Antonio, TX (USA) ・ハイブリッド開催

◇研 究 会

一般演題（口演）

1. 古武 剛：乳がん治療において腫瘍内科ができること。乳がん治療を考える会（エーザイ製薬主催），2023. 9. 21，奈良・Web 開催
2. 古武 剛：当院における腫瘍内科の役割。東和地区 地域で取り組むがん診療セミナー（第一三共製薬主催），2023. 12. 7，天理・Web 開催
3. 古武 剛：HER2 陽性乳癌の薬物治療における副作用マネジメント。Breast Cancer Forum in NARA（中外製薬主催），2023. 12. 22，奈良・Web 開催

◇一 般 向 け

（講 演）

1. 古武 剛：抗がん薬治療と日常生活。一般市民対象講演会，2023. 10. 11，天理，現地開催
2. 古武 剛：がんゲノム医療はがん治療の流れを変えるか。がん拠点医療従事者対象研修会，2023. 10. 26，天理・ハイブリッド開催

歯科・歯科口腔外科

◇学 会

国内学会

一般演題（ポスター）

1. 黒田 典代，鴻池 智恵，中嶋 愛里，一二三 菜々子，山林 真優，藤井 真子：「新人歯科衛生士技術支援共通ガイドライン」を活用した新人歯科衛生士の教育。日本歯科衛生学会第18回学術大会，2023. 9. 16-18，静岡・ハイブリッド開催

放 射 線 部

【診断部門】

◇学 術 雑 誌

(欧 文)

1. Ota R, Kataoka M, Iima M, Honda M, Kishimoto AO, Miyake KK, Yamada Y, Takeuchi Y, Toi M, Nakamoto Y: Evaluation of breast lesions based on modified BI-RADS using high-resolution readout-segmented diffusion-weighted echo-planar imaging and T2/T1-weighted image. *Magnetic Resonance Imaging* 2023 ; 98 : 132–139.

〈他施設との共同研究〉

2. Kanda J, Wakasugi M, Kondo Y, Ueno S, Kaneko H, Okada Y, Okano Y, Kishihara Y, Hamaguchi J, Ishihara T, Igarashi Y, Nakae R, Miyamoto S, Yamada E, Ikechi D, Yamazaki M, Tanaka D, Sawada Y, Suda C, Yoshimura S, Onodera R, Kano K, Hongo T, Endo K, Iwasaki Y, Kodaira H, Yasuo S, Seki N, Okuda H, Nakajima S, Nagato T, Terazumi K, Nakamura S, and Yokobori S: Heat stroke management during the COVID-19 pandemic: Recommendations from the experts in Japan (2nd edition). *Acute Medicine & Surgery* 2023 ; 10(1) : e 827.
3. Ohashi A, Kataoka M, Iima M, Honda M, Ota R, Urushibata Y, Nickel MD, Toi M, Zackrisson S, Nakamoto Y: Comparison of ultrafast dynamic contrast-enhanced (DCE) MRI with conventional DCE MRI in the morphological assessment of malignant breast lesions. *Diagnostics (Basel)* 2023 ; 13(6) : 1105.
4. Honda M, Iima M, Kataoka M, Fukushima Y, Ota R, Ohashi A, Toi M, Nakamoto Y: Biomarkers predictive of distant disease-free survival derived from diffusion-weighted imaging of breast cancer. *Resonance in Medical Sciences* 2023 ; 22(4) : 469–476.
5. Tanizawa K, Handa T, Nagai S, Ikezoe K, Kubo T, Yokomatsu T, Ueda S, Fushimi Y, Ogino S, Hirai T, Izumi T.: One-year lung function decline in sarcoidosis. *Respiratory Investigation* 2024 ; 62(1) : 9–12.7.

(邦 文)

6. 大久保 豪祐, 久保 武, 住吉 真治: Case of July. *画像診断* 2023 ; 43 (8) : 811.
7. 太田 理恵, 山下 直生, 久保 武, 山城 大泰, 森井 奈央, 金森 直美, 住吉 真治: Case of August. *画像診断* 2023 ; 43 (9) : 929.
8. 久保 武: Case of September. *画像診断* 2023 ; 43 (10) : 1039.
9. 大久保 豪祐, 久保 武, 住吉 真治: The Key to Case of July. *画像診断* 2023 ; 43 (10) : 1040–1043.
10. 齋藤 亜矢子, 久保 武: Case of October. *画像診断* 2023 ; 43 (12) : 1183.
11. 太田 理恵, 山下 直生, 久保 武, 山城 大泰, 森井 奈央, 金森 直美, 住吉 真治: The

Key to Case of August. 画像診断 2023 ; 43 (12) : 1184-1186.

12. 久保 武 : The Key to Case of September. 画像診断 2023 ; 43 (13) : 1312-1315.
13. 横田 悠介, 久保 武 : Case of December. 画像診断 2023 ; 43 (14) : 1415.
14. 齋藤 亜矢子, 久保 武 : The Key to Case of October. 画像診断 2023 ; 43 (14) : 1416-1418.
15. 横田 悠介, 久保 武 : The Key to Case of December. 画像診断 2024 ; 44 (2) : 242-244.
16. 鈴木 瑞恵, 桂川 広幸, 久保 武 : 過敏性肺炎. 臨床画像 2023 ; 39 (5) : 510-517.
17. 弓削 瞬介, 三宅 可奈江, 中本 裕士 : 【これからの乳癌検診はこうなる!】乳房専用 PET を用いた乳がん検診. Rad Fan 2023 ; 21 (12) : 58-62.
18. 久保 武 : びまん性肺炎鑑別の考え方 総論, びまん性すりガラス状陰影. 臨床画像 2023 ; 39 (5) : 482-493. 【『臨床画像』2023アワード優秀論文賞 受賞】
〈他施設との共同研究〉
19. 西本 優子, 野間 恵之, 久保 武, 山田 彩 : 胸部 X 線診断再入門—症例から学ぶ読影法—: この気管・気管支の陰影は正常? それとも異常? 画像診断 2023 ; 43 (4) : S99-S104.
20. 高田 知和, 吉田 篤史, 久保 武, 小橋 和世, 本庄 原, 西本 優子, 野間 恵之, 大野 仁嗣 : 多発肺転移との鑑別が問題となった肺ランゲルハンス組織球症の 1 例. 臨床放射線 2023 ; 68 (1) : 51-55.

◇学会

国際学会

一般演題 (ポスター)

1. Ota R, Kataoka M, Iima M, Honda M, Okazawa A, Yamada Y, Takeuchi Y, Toi M, Kubo T, Nakamoto Y : Comparison of DWI score and kinetic score by subtype as prognostic markers in breast cancer patients receiving neoadjuvant systemic therapy. ISMRM & ISMRT 32nd Annual Meeting, 2023.6.3-8, トロント (カナダ)・ハイブリッド開催
2. Ota R, Kataoka M, Iima M, Honda M, Okazawa A, Yamada Y, Takeuchi Y, Takada M, Kubo T, Nakamoto Y : The value of DWI score in predicting Disease-Free Survival for Breast Cancer Patients who underwent Neoadjuvant Systemic Treatment. ISMRM Diffusion Study Group Trainee Day, 2024.2.2, Web 開催

国内学会

特別講演・教育講演

3. 久保 武 : 過敏性肺炎の ATS/JRS/ALAT 診療ガイドライン2020 (2020 ATS/JRS/ALAT Clinical Practice Guideline of Hypersensitivity Pneumonia). 第82回日本医学放射線学会総会, 2023.4.13-16, 横浜・ハイブリッド開催

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

4. 太田 理恵 : シンポジウム13 Diffusion MRI of the Breast. 術前薬物療法後の MRI :

DWI を用いた治療効果判定. 第51回日本磁気共鳴医学会大会, 2023. 9. 22-24, 軽井沢
(長野)・ハイブリッド開催

一般演題 (口演)

5. 金 賢真, 金尾 昌太郎, 野間 恵之, 川瀬 貫互, 野田 敏行, 山下 直生, 安村 純佳, 安尾 俊祐, 鈴木 瑞恵, 弓削 瞬介, 太田 理恵, 今枝 政喜, 横田 悠介, 齋藤 亜矢子, 大久保 豪祐, 谷口 尚範, 久保 武, 森島 学, 住吉 真治: 脳梗塞を契機に発見された僧帽弁 CAT (Calcified amorphous tumor) の1例. 第335回日本放射線医学会関西地方会, 2023. 10. 7, 大阪, 現地開催
6. 弓削 瞬介, 三宅 可奈江, 高田 正泰, 志水 陽一, 北野 香雪, 片岡 正子, 石守 崇好, 川島 雅央, 河口 浩介, 戸井 雅和, 中本 裕士: 浸潤性小葉癌における 18F-FES PET の有用性. 第63回日本核医学会学術総会, 2023. 11. 16-18, 大阪・ハイブリッド開催

一般演題 (ポスター)

7. 太田 理恵, 片岡 正子, 鈴木 瑞恵, 山城 大泰, 森井 奈央, 久保 武: 当院における高解像度拡散強調画像を含む非造影 MRI による乳房病変の画像診断. 第31回日本乳癌学会学術総会, 2023. 6. 29-7. 1, 横浜・ハイブリッド開催

◇研 究 会

特別講演・教育講演

1. 野間 恵之: 画像・病理対応の要点. 伊藤晴海先生講演会 講演 1, 2023. 7. 1, 京都, 現地開催

2. 野間 恵之: 画像解説. 第23回名古屋肺フォーラム, 2023. 7. 29, 名古屋, 現地開催

一般演題 (口演)

3. 野田 敏行, 久保 武, 川瀬 貫互, 山下 直生, 金 賢真, 安尾 俊祐, 鈴木 瑞恵, 弓削 瞬介, 太田 理恵, 横田 悠介, 今枝 政喜, 齋藤 亜矢子, 大久保 豪祐, 金尾 昌太郎, 谷口 尚範, 野間 恵之: 循環器内科かかりつけの胸部異常陰影の一例. 第75回胸部画像検討会, 2023. 5. 27, 大阪, 現地開催
4. 川瀬 貫互, 齋藤 亜矢子, 野田 敏行, 山下 直生, 金 賢真, 安村 純佳, 安尾 俊祐, 鈴木 瑞恵, 弓削 瞬介, 太田 理恵, 今枝 政喜, 横田 悠介, 大久保 豪祐, 金尾 昌太郎, 谷口 尚範, 久保 武, 野間 恵之, 金森 直美, 住吉 真治, 田中 宏和, 南 竜城: 特徴的な画像を呈した十二指腸 Brunner 腺過誤腫の1例. 第334回日本放射線医学会関西地方会, 2023. 6. 24, 大阪, 現地開催
5. 野田 敏行, 横田 悠介, 川瀬 貫互, 山下 直生, 金 賢真, 安尾 俊祐, 鈴木 瑞恵, 弓削 瞬介, 太田 理恵, 今枝 政喜, 齋藤 亜矢子, 大久保 豪祐, 金尾 昌太郎, 谷口 尚範, 久保 武, 野間 恵之: 中枢神経原発 DLBCL. 第43回神経放射線ワークショップ, 2023. 7. 20-22, 鹿児島・ハイブリッド開催
6. 山下 直生, 久保 武, 野間 恵之, 川瀬 貫互, 野田 敏行, 金 賢真, 安村 純佳, 安尾 俊祐, 鈴木 瑞恵, 弓削 瞬介, 太田 理恵, 今枝 政喜, 横田 悠介, 齋藤 亜矢子, 大久保 豪祐, 金尾 昌太郎, 谷口 尚範, 川西 博晃: 癌性腹膜炎を疑ったが, 経過中に典型的な肺病変を呈した結核の一例. 第336回日本放射線医学会関西地方会, 2024. 2. 3, 大阪,

現地開催

7. 鈴木 瑞恵, 金尾 昌太郎, 太田 理恵, 住吉 真治, 森井 奈央, 山城 大秦: 左乳房腫瘍の1例. 第20回関西乳房 MRI 勉強会, 2024. 2. 17, 京都・ハイブリッド開催

【IVR 部門】

◇学 術 雑 誌

(欧 文)

1. Nakai H, Iwakoshi S, Takimoto S, Taniguchi T: Preemptive embolization of the lumbar arteries and inferior mesenteric artery to prevent abdominal aortic aneurysm enlargement associated with type 2 endoleak following endovascular aneurysm repair. *Interventional Radiology* 2023; 8 (3): 146–153.

【Interventional Radiology 優秀論文賞 (金賞) 受賞】

◇学 会

国内学会

一般演題 (口演)

1. 安尾 俊祐, 谷口 尚範, 野田 敏行, 南 暁彦, 山下 直生, 辻 優一, 大西 基文, 横田 悠介, 今枝 政喜, 新井 善雄, 横井 良彦: 傍腎動脈腹部大動脈瘤および胸腹部大動脈瘤に対する BEVAR の初期経験. 第52回日本 IVR 学会総会, 2023. 5. 18–20, 高知, 現地開催

◇その他の講演

1. 谷口 尚範: EVAR 前の分枝塞栓における AZUR Soft 3 D Coil の有用性. *AZUR Soft 3D WEB グループミーティング*, 2023. 9. 27, 大阪・Web 開催
2. 谷口 尚範: HCC に対するレンパチニブとカテーテル治療の併用療法を考える. 肝細胞癌 治療戦略を考える会, 2024. 3. 8, 奈良・ハイブリッド開催

【RI 部門】

◇学 術 雑 誌

(邦 文)

1. 御前 隆, 久保 武: Case of November. *画像診断* 2023; 43 (13): 1311–1311.
2. 御前 隆, 久保 武: The Key to Case of November. *画像診断* 2023; 44 (1): 100–102.

◇学 会

国内学会

特別講演・教育講演

1. 金尾 昌太郎, 太田 理恵, 鈴木 瑞恵, 久保 武: 乳房 MRI における非造影シーケンスの質的診断への寄与. 第33回日本乳癌画像研究会, 2024. 3. 16–3. 17, Web 開催

◇研 究 会

特別講演・教育講演

1. 金尾 昌太郎: MRI 読影セミナー: 乳房 MRI による乳癌術前広がり診断. 第9回乳腺画像・インターベンション研究会, 2023. 10. 21, Web 開催

◇院内集談会

1. 金尾 昌太郎：様々なモダリティによる乳房画像診断－マンモグラフィから，MRI，機能画像まで．放射線研究発表会，2023. 12. 12，外来診療棟5階講堂
2. 金尾 昌太郎：当院におけるアミロイドPET導入に向けた取り組み．天理よろづ相談所病院学術発表会，2024. 2. 22，外来診療棟5階講堂

【技師部門】

◇学 会

国内学会

一般演題（口演）

1. 北村 一司，寺口 昌和：胸部X線動態撮影を用いた肺腫瘍呼吸性移動評価に関する検討：サブグループ解析による適応可能症例の推定．第79回日本放射線技術学会総会学術大会，2023. 4. 13－16，横浜・ハイブリッド開催
2. 山崎 良，柳原 淳人，岡本 一将，堺 菜緒，北村 一司，黒田 大悟，寺口 昌和：胸部動態撮影において再現性が不安定な患者を予測する因子の検証．第79回日本放射線技術学会総会学術大会，2023. 4. 13－16，横浜・ハイブリッド開催
3. 黒田 大悟，次橋 幸男，下村 大樹，平瀬 正人，辻 雄二，高橋 道一：業務の合理化を目指したMRI装置の台数削減の取り組み．第25回日本医療マネジメント学会学術総会，2023. 6. 23－24，横浜・ハイブリッド開催
4. 鈴木 丈琉，北 宗高，小西 高史：下肢血管造影における希釈造影剤の有用性について．第41回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会，2023. 10. 7，大阪，現地開催
5. 宮西 忠史：当院における画像読影補助のトレーニングについて．奈良県診療放射線技師会学術大会2023，2023. 10. 22，橿原（奈良）・ハイブリッド開催

◇研 究 会

特別講演・教育講演

1. 宮西 忠史：Revolution CTを導入して変わらないこと，変わること～通常検査からCoronary CTAまで～．奈良CT Conference 2月定例会，2024. 2. 29，奈良・Web開催
- ##### 一般演題（口演）
2. 日浦 之和：PET撮像施設認証（I）の取得へーファントム実験ー．第51回奈良県RIミーティング，2024. 3. 22，橿原（奈良），現地開催

◇その他の講演

1. 紀太 千恵子：放射線計測に必要な補正係数．第79回日本放射線技術学会総会学術大会，2023. 4. 13－16，横浜・ハイブリッド開催
2. 黒田 大悟：採用する側からのアドバイス．2023年度京都医療科学大学就職懇談会，2023. 6. 3，南丹（京都）・ハイブリッド開催
3. 紀太 千恵子：マンモグラフィの線量測定を改めて基礎から学ぶ．第13回デジタルマンモグラフィを基礎から学ぶセミナー，2023. 9. 1，Web開催
4. 安藤 理裕，北 宗高，長谷川 朗：カテ室の医療安全について考えよう！ 第41回日本

心血管インターベンション治療学会近畿地方会, 2023. 10. 7, 大阪, 現地開催

5. 北村 一司：倫理審査の演習. 日本放射線技術学会2023年度倫理審査相談員講習会, 2023. 10. 15, Web 開催
6. 北村 一司：自分らしく仕事するために, 学会に入ろう. 日本放射線技術学会近畿支部 2023年度 Rising star 計画, 2023. 10. 18, 大阪, 現地開催
7. 山崎 良：造影 MRI の考え方～マルチコントラストにスパイスを！～. 日本放射線技術学会2023年度近畿支部超基礎講座, 2024. 1. 14, 大阪, 現地開催

◇院内集談会

1. 椎名 隆之, 宮西 忠史：4D モーション解析プロトコルの計測精度の検証. 第57回放射線部研究発表会, 2023. 12. 12, 外来診療棟 5 階講堂
2. 長谷川 双葉, 山崎 良：単純 X 線撮影における除去対象の体外異物についての検証. 第57回放射線部研究発表会, 2023. 12. 12, 外来診療棟 5 階講堂
3. 福田 涼香, 森本 明, 北村 一司：患者の羞恥心に考慮したセットアップの検討. 第57回放射線部研究発表会, 2023. 12. 12, 外来診療棟 5 階講堂
4. 鈴木 丈琉, 小西 高史, 北 宗高：下肢血管造影における希釈造影剤の有用性の検討. 第57回放射線部研究発表会, 2023. 12. 12, 外来診療棟 5 階講堂
5. 西岡 宏之：MRI 検査室のインシデント対策. 医療安全管理担当者全体会議, 2024. 2. 7, 外来診療棟

◇一般向け

(雑誌・書籍)

1. 北村 一司：【Digital Radiography Now & Future 2023 多様化するニーズに応える DR システムの最新動向 X 線検査を支える技術の今を知り, 未来を展望する】X 線動画撮影システムの最新動向および将来展望 放射線治療への応用. INNERVISION 2023 ; 38 (12) : 33-36.

病 理 診 断 部

◇学 術 雑 誌

(欧 文)

1. Katsuragawa H, Sumiyoshi S, Ikegami N, Hashimoto S, Haji T, Taguchi Y, Kobashi Y, Haga H, Yoshizawa A : Histopathological significance of connective tissue disease-associated interstitial lung disease in transbronchial lung cryobiopsy specimens. Pathology, Research and Practice 2024 ; 254 : 155078.

〈他施設との共同研究〉

2. Ito T, Ishii T, Takeda H, Sumiyoshi S, Tomofuji K, Wakama S, Makino K, Horie H, Kumagai K, Takai A, Uebayashi EY, Ogiso S, Fukumitsu K, Haga H, Seno H, Hatano E : Comprehensive analyses of the clinicopathological features and genomic

mutations of combined hepatocellular-cholangiocarcinoma. Hepatology Research 2024 ; 54(1) : 103-115.

3. Kishimoto T, Okamoto K, Koda S, Ono M, Umeda Y, Yamano S, Takeda T, Rai K, Kato K, Nishimura Y, Kobashi Y, Kawamura T: Respiratory disease in workers handling cross-linked water-soluble acrylic acid polymer. PLoS One 2023 ; 18(4) : e0284837.

◇学 会

国内学会

一般演題（ポスター）

〈他施設との共同研究〉

1. 渡邊 仁, 長峯 理子, 堂本 裕加子, 石野 孔祐, 中村 緑佐, 住吉 真治, 小西 英一: 質量分析で診断確定し得た移植腎に再発したコンゴー赤染色陽性 DNAJB9 陽性細線維性腎炎の1例. 第112回日本病理学会総会, 2023. 4. 13-15, 下関（山口）・ハイブリッド開催

臨 床 検 査 部

◇書 籍

1. 北川 実美: 生理学的検査 肺機能検査. 臨床検査技師 臨地実習ハンドブック, pp 237-254, 市野 直浩, 坂本 秀生, 藤田 孝 編集, 医歯薬出版（東京）, 2024
2. 川邊 晴樹: 生理学的検査 肺機能検査. 臨床検査技師 臨地実習ハンドブック, pp 243-250, 市野 直浩, 坂本 秀生, 藤田 孝 編集, 医歯薬出版（東京）, 2024

◇学 術 雑 誌

（欧 文）

〈他施設との共同研究〉

1. Hatanaka N, Yamamoto Y, Shiozaki Y, Kuramura E, Nagai N, Kondo A, Kamioka M: Development and evaluation of “The delta plus-minus even distribution check”: A novel patient-based real-time quality control method for laboratory tests. Journal of Applied Laboratory Medicine 2024 ; 9(2) : 316-328.

（邦 文）

2. 松尾 収二: 臨床検査と生化学分析装置—用手法から用装置法の時代へ—. Lab SCOPE 2023 ; 65 : 14-15.
3. 松谷 勇人: 【スーパーソノグラファーが教える検査の極意】日常検査におけるモデリティの活用法 まだまだ使える M モード. 心エコー 2023 ; 24 (7) : 698-703.

〈他施設との共同研究〉

4. 中村 文彦, 中野 正祥, 井戸 健太郎, 上岡 樹生: 著明な高 CK 血症を伴った市中肺炎症例. 日本臨床検査医学会誌 2023 ; 71 (2) : 102-107.

◇学 会

国内学会

特別講演・教育講演

1. 永井 直治：検査技術を次代へつなぐ 血液検査における自己研鑽の重要性. 第39回奈良県医学検査学会, 2023. 6. 4, 天理・Web 開催
2. 下村 大樹：凝固検査における苦慮した事例の対処法と最新のトピックス. 第62回日本臨床衛生検査技師会近畿支部医学検査学会, 2023. 10. 21-22, 和歌山, 現地開催
3. 永井 直治：WHO 分類第5版改訂のポイント(骨髄系腫瘍) WHO 分類第5版 AML, MPN のオーバービュー. 第62回日本臨床衛生検査技師会近畿支部医学検査学会, 2023. 10. 21-22, 和歌山, 現地開催

特別企画(シンポジウム・パネルディスカッション)

4. 倉村 英二：結果報告から考える臨床現場への貢献. 第62回日本臨床衛生検査技師会近畿支部医学検査学会, 2023. 10. 21-22, 和歌山, 現地開催
5. 桑野 和代：臨地実習のカタチ. 第62回日本臨床衛生検査技師会近畿支部医学検査学会, 2023. 10. 21-22, 和歌山, 現地開催

一般演題(口演)

6. 竹原 真帆, 松谷 勇人, 日裏 菜摘, 三宅 誠, 鈴木 眞子, 瀬良 章, 坂井 優, 馬場 萌, 坂本 二郎, 田村 俊寛, 嶋田 昌司, 上岡 樹生：画像記録の際のゲインやコントラストがスペクトルトラッキング法によるストレイン解析に与える影響. 日本心エコー図学会第34回学術集会, 2023. 4. 21-23, 岐阜, 現地開催
7. 中西 琴音, 阿部 教行, 福田 砂織, 上岡 樹生：血液培養より *Weissella confusa*, 脳膿瘍より *Nocardia farcinica* を検出した一症例. 第97回日本感染症学会総会・学術講演会第71回日本化学療法学会学術集会合同学会, 2023. 4. 28, 横浜, 現地開催
8. 高田 旬生：リーダー技師としての若手技師への教育活動. 第71回日本・輸血細胞治療学会学術総会, 2023. 5. 10-13, 幕張(千葉), 現地開催・ハイブリッド開催
9. 木下 真紀, 下村 大樹, 嶋田 昌司, 上岡 樹生, 古賀 正史：8180V の fast mode と variant mode で測定した HbA1c の比は α 鎖・ β 鎖の異常ヘモグロビンの診断に有用である. 第66回日本糖尿病学会年次学術集会, 2023. 5. 12, 鹿児島, 現地開催
10. 余村 求, 倉村 英二, 木下 真紀, 下村 大樹, 嶋田 昌司, 上岡 樹生：UN/Cre 比が低値であった運動後急性腎不全(EIAKI)の1例. 第72回日本医学検査学会, 2023. 5. 20-21, 高崎(群馬), 現地開催
11. 新家 徹也, 南 道也, 川 健司, 松谷 日路子, 阿部 教行, 下村 大樹, 嶋田 昌司, 上岡 樹生：尿糖・尿ケトン体異常値速報の有用性評価. 第72回日本医学検査学会, 2023. 5. 20-21, 高崎(群馬), 現地開催
12. 下村 大樹, 嶋田 昌司, 上岡 樹生：検査加算・検査管理加算・検査判断料における算定状況の検証プロセス. 第72回日本医学検査学会, 2023. 5. 20-21, 高崎(群馬), 現地開催
13. 東 成臣, 永井 直治, 新家 徹也, 下村 大樹, 嶋田 昌司, 上岡 樹生：WT1mRNA に

- による急性骨髄性白血病の再発初期段階を捉える速報基準の設定. 第72回日本医学検査学会, 2023. 5. 20-21, 高崎 (群馬), 現地開催
14. 松谷 勇人, 鈴木 眞子, 瀬良 章, 坂井 優, 竹原 真帆, 馬場 萌, 嶋田 昌司, 上岡 樹生, 坂本 二郎, 三宅 誠: 運動負荷心エコー図検査が治療方針決定に有用であった中等度 AS/中等度 MR の 1 例. 日本超音波医学会第96回学術集会, 2023. 5. 27, さいたま, 現地開催
 15. 藤本 大樹: 時間外血液培養陽性時の対応とその有用性. 第39回奈良県医学検査学会, 2023. 6. 4, 天理・Web 開催
 16. 杉山 慎太郎, 馬場 創汰, 吉岡 明治, 桑野 和代, 松下 陽子: 小伏在静脈における血管内焼灼術の焼灼開始位置の検討. 第48回日本超音波検査学会学術集会, 2023. 6. 10-11, 大阪・ハイブリッド開催
 17. 吉岡 明治: 標準的評価法 + α 病変毎に有用な評価ポイント 下肢静脈瘤. 第48回日本超音波検査学会学術集会, 2023. 6. 10-11, 大阪・ハイブリッド開催
 18. 杉山 寿美華, 吉岡 明治, 桑野 和代, 松下 陽子: 頸動脈ステント留置術施行後に生じるステント内プラークの特徴. 第48回日本超音波検査学会学術集会, 2023. 6. 10-11, 大阪・ハイブリッド開催
 19. 馬場 萌: 先天性心疾患の撮り方 初級編 心房中隔欠損症 (ASD). 第48回日本超音波検査学会学術集会, 2023. 6. 10-11, 大阪, 現地開催・ハイブリッド開催
 20. 瀬良 章, 松谷 勇人, 鈴木 眞子, 竹原 真帆, 坂井 優, 馬場 萌, 松下 陽子, 嶋田 昌司, 上岡 樹生: 複数箇所と同時に発生した Calcified Amorphous Tumor の一例. 第48回日本超音波検査学会学術集会, 2023. 6. 10-11, 大阪・ハイブリッド開催
 21. 下村 大樹, 松本 智子, 松田 将門, 田渕 有香, 鈴木 健史, 西 圭祐, 新井 信夫, 黒野 浩司, 森山 雅人, 上岡 樹生: APTT 延長原因を鑑別する凝固波形パラメータを用いた機械学習予測とクロスミキシングテストの比較. 第24回日本検査血液学会学術集会, 2023. 7. 29, 名古屋, 現地開催
 22. 永井 直治, 下村 大樹, 嶋田 昌司, 上岡 樹生: 多項目自動血球分析装置 XR シリーズの異常細胞フラグgingの性能評価. 第24回日本検査血液学会学術集会, 2023. 7. 29, 名古屋, 現地開催
 23. 河野 紋, 下村 大樹, 松本 智子, 永井 直治, 嶋田 昌司, 上岡 樹生: クロスミキシングテストにおける定量的指標の評価. 第24回日本検査血液学会学術集会, 2023. 7. 29, 名古屋, 現地開催
 24. 加藤 俊哉, 潮崎 裕也, 木下 真紀, 下村 大樹, 嶋田 昌司, 上岡 樹生: HBs 抗原・HCV 抗体初回陽性患者に対して消化器内科紹介案内文を通達する効果の検証. 日本医療検査科学会第55回大会, 2023. 10. 6-8, 横浜, 現地開催
 25. 木下 真紀, 下村 大樹, 嶋田 昌司, 上岡 樹生, 岡村 真太郎, 林野 泰明: 免疫チェックポイント阻害薬による副腎皮質機能不全早期発見に向けた連携システムの構築. 日本医療検査科学会第55回大会, 2023. 10. 6-8, 横浜, 現地開催
 26. 吉岡 明治: 静脈疾患における超音波検査の要点~深部静脈血栓症・下肢静脈瘤を中心

に～. 第8回こしのくに Venous Forum, 2023. 10. 8, 金沢 (石川), 現地開催

27. 高橋 光一郎, 畑中 徳子, 潮崎 裕也, 木下 真紀, 下村 大樹, 嶋田 昌司, 上岡 樹生: Even-check 法は, 1 日の測定検体数が少ない検査項目にも活用可能か. 第62回日本臨床衛生検査技師会近畿支部医学検査学会, 2023. 10. 21-22, 和歌山, 現地開催
28. 高橋 陸, 永井 直治, 下村 大樹, 嶋田 昌司, 上岡 樹生: MCHC 偽高値の原因検索に苦慮した一例. 第62回日本臨床衛生検査技師会近畿支部医学検査学会, 2023. 10. 21-22, 和歌山, 現地開催
29. 杵 菜々子, 豊田 茂美, 桑野 和代, 松下 陽子, 余村 求, 嶋田 昌司, 上岡 樹生: 超音波検査で観察し得た運動後急性腎不全の一例. 第62回日本臨床衛生検査技師会近畿支部医学検査学会, 2023. 10. 21-22, 和歌山, 現地開催
30. 木下 真紀, 下村 大樹, 嶋田 昌司, 上岡 樹生: チーム医療における臨床検査技師とは. 第62回日本臨床衛生検査技師会近畿支部医学検査学会, 2023. 10. 21-22, 和歌山, 現地開催
31. 南 睦, 高田 旬生, 山崎 健太, 上岡 樹生: 赤血球液有効期限延長後 3 ヶ月間の期限切れ廃棄状況 (延長前後 5 年間の比較). 第67回日本輸血・細胞治療学会近畿支部総会, 2023. 11. 18, 京都, 現地開催
32. 上岡 樹生, 中村 文彦, 東 貞行, 野村 祐希: 発熱と食欲低下が続き入院となった42歳男性. 第70回日本臨床検査医学会学術集会, 2023. 11. 18, 長崎, 現地開催
33. 藤川 麻由美, 野寺 裕之, 嶋田 昌司, 末長 敏彦, 上岡 樹生: 急性期脳卒中患者における超音波法を用いた横隔膜運動と嚥下の関連性. 第16回神経筋超音波研究会, 2023. 11. 30, 福岡, 現地開催
34. 吉岡 明治, 山口 聡子, 野寺 裕之, 新出 明代, 嶋田 昌司, 末長 敏彦, 上岡 樹生: 超音波画像と MRI の Fusion Imaging を用いた筋生検の検討. 第53回日本臨床神経生理学会学術大会, 2023. 11. 30-12. 2, 福岡, 現地開催
35. 松田 江身子: 体腔液ワークショップ: 悪性体腔液の正診率の向上をめざして～バーチャルスライドを用いた診断行程の検証～症例出題. 第48回日本臨床細胞学会近畿連合学術集会, 2023. 12. 10, 大阪・ハイブリッド開催
36. 中西 琴音: 微生物検査のスペシャリストを目指して. 第34回生物試料分析科学会年次学術集会, 2024. 3. 24, 大阪, 現地開催

〈他施設との共同研究〉

37. 石井 敬裕, 岩田 恭美, 高松 あずさ, 谷中 美月, 小崎 杏菜, 沖山 早紀, 丸岡 康子, 松尾 収二: ボディビルトレーニング後の検査値; 肝細胞障害, 腎障害のごとき変化. 第62回日本臨床衛生検査技師会近畿支部医学検査学会, 2023. 10. 21-22, 和歌山, 現地開催

(2022年度追加)

38. 田村 早紀, 余村 求, 松村 充子, 倉村 英二, 木下 真紀, 嶋田 昌司, 松尾 収二, 上岡 樹生: 血小板増多症において血清 Ca, IP が偽高値となり得ることに留意する必要性. 第61回日本臨床衛生検査技師会近畿支部医学検査学会, 2022. 12. 3-4, 神戸・ハイブ

リッド開催 【学術奨励賞 受賞】

一般演題（ポスター）

39. 吉岡 明治, 森田 麻由佳, 下村 大樹, 松本 智子, 近藤 博和, 嶋田 昌司, 上岡 樹生：
凝固線溶波形解析（CFWA）を用いた深部静脈血栓症における抗凝固治療経過の評価。
第43回日本静脈学会総会，2023.7.6-7，松山（愛媛），現地開催

◇研 究 会

一般演題（口演）

1. 永井 直治：未診断 MPN 症例を拾い上げることの重要性。造血器腫瘍臨床検査セミナー，2023.6.9，Web 開催
2. 永井 直治：成熟リンパ系腫瘍におけるフローサイトメトリー解析のポイント。BD FACS クリニカルソリューションセミナー2023，2023.6.17，東京，現地開催
3. 松谷 勇人, 鈴木 眞子, 瀬良 章, 坂井 優, 竹原 真帆, 馬場 萌, 坂本 二郎, 三宅 誠：
運動時低酸素血症の原因診断に運動負荷中コントラストエコーが有用であった1例。第
8回負荷心エコー図研究会，2023.7.1，吹田（大阪），現地開催
4. 竹原 真帆, 松谷 勇人, 日裏 菜摘, 鈴木 眞子, 瀬良 章, 坂井 優, 馬場 萌, 坂本 二郎,
三宅 誠, 田村 俊寛, 嶋田 昌司, 上岡 樹生：画像記録の際のゲインやコントラストが
スペクトルトラッキング法によるストレイン解析に与える影響。関西心エコーリサーチ
クラブ，2023.7.8，大阪，現地開催
5. 馬場 創汰：DVT をみつける超音波検査のひと工夫。第37回 OFC 研究会講演会，2023.
7.15，大阪，現地開催
6. 吉岡 明治：DVT に活用できる？可溶性フィブリンの可能性。第37回 OFC 研究会講演
会，2023.7.15，大阪，現地開催
7. 吉岡 明治：講義：下肢静脈瘤エコー（SSV と神経の走行），実技：ハンズオンセミナー
（SSV と神経走行）。第8回かもがわ Venous Forum，2023.7.17，京都，現地開催
8. 永井 直治：成熟リンパ系腫瘍を見逃さないための観察ポイント～形態所見およびフ
ローサイトメトリー検査～。日本臨床衛生検査技師会生涯教育推進研修会滋賀県臨床検
査技師会第2回臨床血液部門形態研修会，2023.9.23，Web 開催
9. 松谷 勇人：誰でも分かる！弁膜症の心エコーの撮り方。ストラクチャークラブ・ジャ
パン ライブデモンストレーション2023，2023.11.3-4，東京，現地開催
10. 松谷 勇人, 三宅 誠：心エコー図検査：左室駆出率，SV，LAVI，ライブデモンストレー
ション。ECHO AWAJI CV IMAGING 2023，2023.11.18-19，淡路（兵庫）・ハイブ
リッド開催
11. 永井 直治：マラリアについての基礎とリンパ系腫瘍の診断 成熟リンパ系腫瘍の観察
ポイント～形態所見およびフローサイトメトリー検査～。大阪府臨床検査技師会血液検
査部門特別講演会①，2023.11.25，大阪，現地開催
12. 田村 早紀：脂質・蛋白由来の濁り対策 結果報告。ミナリスメディカル主催 実験結
果報告会，2023.11.30，大阪，現地開催
13. 中本 聖次郎：脂質・蛋白由来の濁り対策 C 班結果報告。ミナリスメディカル主催 実

験結果報告会, 2023. 11. 30, 大阪, 現地開催

14. 馬場 萌: TAVI 術中の TTE. 第 1 回 K-SHD 研究会, 2023. 12. 9, 大阪, 現地開催
15. 吉岡 明治: 糖尿病足病変の診療における臨床検査技師の関わり～血流評価を担う検査室～. 第22回糖尿病の足病変を考える会, 2024. 1. 27, 奈良, 現地開催
16. 永井 直治: 異常細胞 (血液疾患) を見逃さないために 白血球分画とサスペクトフラグの設定を考える. 第 1 回ヘマトロジー有効活用セミナー, 2024. 3. 22, 吹田 (大阪)・ハイブリッド開催
17. 河野 紋: 日当直に遭遇する凝固検査異常データへの対応. 積水メディカル社主催 血液・凝固セミナー, 2024. 3. 30, 奈良, 現地開催

◇その他の講演

1. 松谷 勇人: 虚血性心疾患 8 - 15. 超音波検査士 循環器・基礎認定試験対策ゼミナール 第 2 回, 2023. 4. 20, Web 開催
2. 下村 大樹: 検査データからみえる後天性 TTP の特徴. TTP Conference2023, 2023. 6. 2, 大阪, 現地開催
3. 川邊 晴樹: 肺機能検査の症例検討セミナー～一緒に学ぼう呼吸器疾患～. 心電図研修所合同会社主催セミナー, 2023. 6. 20, Web 開催
4. 下村 大樹: 検査技師が導く診療支援フォーラム TTP を知る, 凝固線溶検査を中心に. Special Lecture (サノフィ株式会社主催), 2023. 7. 12, Web 開催
5. 高橋 陸: 赤血球関連項目の有効活用. SYSMEX 奈良県血液セミナー, 2023. 7. 22, Web 開催
6. 木下 真紀: 総論 3 教育訓練および安全管理. 第86回 POC セミナー, 2023. 7. 31, Web 開催
7. 松谷 勇人: 経胸壁 3 D プローブを活用した弁膜症のエコー診断のコツ. 的確な心エコー図検査 '23 Summer, 2023. 8. 9, Web 開催
8. 吉岡 明治: 下肢静脈瘤～依頼目的に対する good or excellent～／症例検討～あなたならどうする? ～. 第145回医用超音波講義講習会, 2023. 8. 27, 東京, 現地開催
9. 川邊 晴樹: 呼吸機能検査における新人教育と学生指導 ～検査技術を次代につなぐ～当院における学生指導の現状. 第20回自動呼吸機能検査研究会, 2023. 9. 2, Web 開催
10. 竹原 真帆: 講師からの挑戦状! 判断に困った時の心電図を読み解くにはコレ! ～京奈からの 3 番勝負!!! ～症例抄読. 日本臨床衛生検査技師会推進事業研修会生理検査分野南部合同研修会, 2023. 9. 2, 木津川 (京都), 現地開催
11. 高橋 陸: 血液像の観察のポイント. 奈良県臨床検査技師会生涯教育研修会血液勉強会, 2023. 9. 8, 天理・Web 開催
12. 川邊 晴樹: 肺機能検査の症例検討セミナー～一緒に学ぼう呼吸器疾患～ 第 2 回心電図研修所合同会社主催セミナー, 2023. 9. 12, Web 開催
13. 下村 大樹: クロスミキシングテスト 実践セミナー. 東海 KOAG セミナー2023, 2023. 9. 14, 名古屋, 現地開催
14. 松谷 勇人: 運動負荷中コントラストエコーが有用であった CTEPH/PFO の 1 例. エ

コーが変わる月1回の負荷イイ話 4th シーズン第6回, 2023. 9. 19, Web 開催

15. 松谷 勇人：肺高血圧84-90. 超音波検査士 循環器・基礎認定試験対策ゼミナール第12回, 2023. 9. 21, Web 開催
16. 松谷 勇人：実技指導. 心臓超音波撮像向上委員会 (アボットメディカルジャパン合同会社 主催), 2023. 11. 11, 大阪, 現地開催
17. 川邊 晴樹：閉塞性肺疾患の精密検査 CV 測定手技編. 第30回琵琶湖セミナー in 大阪, 2023. 11. 18-19, 大阪・ハイブリッド開催
18. 松尾 収二：臨床検査をつくり育む. 第47回日立自動分析研究会, 2023. 12. 3, 大阪, 現地開催
19. 加世田 奈津子：臨床検査による診察作法を身につける～Reversed CPC～52歳女性。49歳で多発性脳梗塞を発症, その際, 卵巣チョコレート嚢胞と子宮腺筋症を指摘された症例です。第47回日立自動分析研究会 解説者 2, 2023. 12. 3, 大阪, 現地開催
20. 松谷 勇人：心カテに入るためにこれだけは知っておきたい心エコー検査. 心カテに入るためにこれだけは知っておきたい心エコー検査, 2023. 12. 4, Web 開催
21. 川邊 晴樹：肺機能検査の症例検討セミナー. 心電図研修所合同会社主催セミナー, 2023. 12. 8, Web 開催
22. 田村 早紀：臨床化学 精度管理報告. 奈良県臨床検査技師会生涯教育研修会臨床化学・免疫血清 精度管理報告会, 2023. 12. 15, Web 開催
23. 松谷 勇人：VSD とその周辺疾患を識る 房室中隔欠損症. 日本心エコー図学会第28回冬期講習会, 2024. 1. 21, 大阪, 現地開催
24. 東 成臣：症例報告会 破碎赤血球を伴った一例. 奈良県臨床検査技師会生涯教育研修会血液分野, 2024. 1. 30, Web 開催
25. 松下 陽子：小児の超音波検査～腹部領域～. 奈良県臨床検査技師会生涯教育研修会画像分野定期勉強会, 2024. 1. 31, Web 開催
26. 小林 昌弘：ハンズオン 神経伝導 (初級). 第17回脳波・筋電図セミナー ハンズオン講師, 2024. 2. 3, 京都, 現地開催
27. 川邊 晴樹：肺機能検査の症例検討セミナー～一緒に学ぼう呼吸器疾患～第1回. 心電図研修所合同会社主催セミナー シーズン2024年, 2024. 2. 21, Web 開催
28. 山田 勇喜：日臨技・奈臨技サーベイ解説 (呼吸). 奈良県臨床検査技師会生涯教育研修会機能分野サーベイ解説会, 2024. 2. 22, Web 開催
29. 永井 直治：楽しく形態を学ぼう 症例解説. 令和5年度日本臨床衛生検査技師会近畿支部血液検査研修会, 2024. 2. 25, 京都, 現地開催
30. 山崎 健太：症例発表. 奈良県臨床検査技師会生涯教育研修会輸血部門症例検討会2024, 2024. 2. 27, Web 開催
31. 川邊 晴樹：苦手克服！呼吸機能検査～症例編～. 奈良県臨床検査技師会生涯教育研修会生理, 2024. 3. 1, Web 開催
32. 松谷 勇人：エキスパートに聞く, 日常臨床における私のストレイン計測法 (右室ストレインも含めて). 第17回 GLS MANIA (ファイザー株式会社主催), 2024. 3. 7, Web

開催

33. 松尾 収二：最近経験したユニークな事例. 令和5年度西宮市医師会講演会, 2024. 3. 9, 西宮（兵庫）, 現地開催
34. 松谷 勇人：心エコー初学者必見！きれいな心エコーを撮るために 必要な知識と技術. 心電図研修所合同会社主催セミナー, 2024. 3. 14, Web 開催

◇院内集談会

1. 岩本 英恵, 松谷 勇人：心アミロイドーシスと高血圧性左室肥大の鑑別における apical sparing pattern 解析の新しい方法と従来法との比較. 2023年度臨床検査部・臨床工学部研究発表会, 2024. 3. 4, 外来診療棟5階講堂
2. 藤本 夏綺：ルミパルス L2400を用いた血中タクロリムス測定試薬の基礎的検討. 2023年度臨床検査部・臨床工学部研究発表会, 2024. 3. 4, 外来診療棟5階講堂
3. 全 菜々子：甲状腺腫瘍の超音波クラス分類の検討. 2023年度臨床検査部・臨床工学部研究発表会, 2024. 3. 4, 外来診療棟5階講堂
4. 山村 信也, 新家 徹也, 川 健司, 阿部 教行：尿中有形線分分析機における異型細胞疑いのためのロジック作成. 2023年度臨床検査部・臨床工学部研究発表会, 2024. 3. 4, 外来診療棟5階講堂
5. 安浪 輝芳, 松谷 勇人：当院における加算平均心電図施行患者の背景調査. 2023年度臨床検査部・臨床工学部研究発表会, 2024. 3. 4, 外来診療棟5階講堂

◇企業内講演

1. 松尾 収二：日常検査データの読み方あれこれ. シスメックス社内研修会, 2023. 5. 30, 神戸, 現地開催
2. 松尾 収二：これからの品質管理のあり方. ファルコバイオシステムズ社内研修会, 2023. 6. 22, 京都, 現地開催
3. 松尾 収二：医療における検査データの活用方法, そして, 臨床医として検査データに望むこと. 日立ハイテクノロジーズ社内研修会, 2023. 6. 26, 日立（茨木）, 現地開催
4. 松尾 収二：極異常値・パニック値の意義と対応の仕方ー検査データが生き物となるときー. シスメックス社内研修会, 2023. 10. 26, 神戸, 現地開催

臨床工学部

◇学術雑誌

（邦 文）

1. 小林 靖雄：これを読んだら血液加温器の性能が丸ごと分かります. Perfusion saloon 2023 ; 14 : 21 - 25.

◇学 会

国内学会

一般演題（口演）

1. 穂山 正弥, 中野 雄太, 杉村 宗典, 清水 一茂, 清水 貞則, 村山 真規, 西内 英, 山上 新太郎, 佐藤 友啓: EnSiteX Omnipolar Technology Near Field での周波数解析を用いた心房細動再発症例の伝導 Gap に関する検討. カテーテルアブレーション関連秋季大会2023, 2023. 11. 17-19, 福岡, 現地開催
2. 植田 悠太, 清水 一茂, 橋本 武昌, 外嶋 彩香, 村田 めぐみ, 村田 和哉, 水越 りな, 岩永 博登, 小林 靖雄: 経腸栄養開始に伴い一時的に高カリウム (K) 血症となった脳梗塞後維持透析患者の1例. 第29回近畿臨床工学会, 2023. 12. 9-10, 姫路 (兵庫), 現地開催
3. 小林 美菜, 橋本 武昌: 認知症を有する患者の自己抜針事故を経験して. 第48回奈良透析学術総会, 2024. 2. 4, 奈良, 現地開催
4. 外嶋 彩香, 澤井 崇, 清水 一茂, 橋本 武昌, 金子 嘉志: 当院の腹膜透析治療における臨床工学技士の役割. 第48回奈良透析学術総会, 2024. 2. 4, 奈良, 現地開催
5. 岩永 博登, 穂山 正弥, 中野 雄太, 杉村 宗典, 清水 一茂, 清水 貞則, 村山 真規, 澤井 崇, 長岡 俊治, 長岡 真理子, 西内 英, 山上 新太郎, 佐藤 友啓, 近藤 博和, 田村 俊寛: 当院における Aveir™ の初期経験とレートレスポンスの評価. 第16回植込みデバイス関連冬季大会, 2024. 2. 9-11, 広島, 現地開催

一般演題（ポスター）

6. 穂山 正弥, 山上 新太郎, 西内 英, 中野 雄太, 杉村 宗典, 清水 一茂, 清水 貞則: CARTO3Ver7.2 を用いた心房細動に対するアブレーションにおける透視削減への試み. 第69回日本不整脈心電学会学術大会, 2023. 7. 6-9, 札幌 (北海道), 現地開催
7. 外嶋 彩香, 橋本 武昌, 澤井 崇, 長岡 俊治, 小林 靖雄, 金子 嘉志: 当院の腹膜透析治療における臨床工学技士の役割. 第33回日本臨床工学会, 2023. 7. 21-23, 広島・ハイブリッド開催
8. 長岡 俊治, 小林 靖雄, 外嶋 彩香, 杉邑 芳樹, 梶田 貴司: ビーリンサイトの投与に輸液ポンプ IP-100 の専用モードを使用することで薬剤を節約するための取組み. 第33回日本臨床工学会, 2023. 7. 21-23, 広島・ハイブリッド開催
9. 清水 貞則, 松本 智子, 北川 貴大, 小林 靖雄, 下村 大樹, 曾山 奉教: 凝固線溶波形解析による体外循環中の新たな抗凝固線溶管理モニタリング法 (その3) トラネキサム酸が凝固線溶機能に与える影響. 第48回日本体外循環技術医学会大会, 2023. 10. 20-21, 仙台 (宮城), 現地開催
10. 北川 貴大, 松本 智子, 小林 靖雄, 清水 貞則, 下村 大樹, 曾山 奉教: 凝固線溶波形解析による体外循環中の新たな抗凝固線溶管理モニタリング法 (その2) 抗凝固剤併用が凝固線溶機能に与える影響. 第48回日本体外循環技術医学会大会, 2023. 10. 20-21, 仙台 (宮城), 現地開催
11. 村山 真規, 中野 雄太, 清水 貞則, 清水 一茂, 穂山 正弥, 杉村 宗典, 西内 英, 佐藤

友啓, 山上 新太郎: 順行性伝導のみ再伝導を認めた三尖弁輪 Kent 束に対し弁下への通電が奏功した 1 例. カテーテルアブレーション関連秋季大会2023, 2023. 11. 17-19, 福岡, 現地開催

◇その他の講演

1. 外嶋 彩香: 各種モニタの情報を活用する. 新人さんのための医療機器安全セミナー, 2023. 6. 25, 橿原 (奈良)・Web 開催
2. 小林 靖雄: VTE 予防するには臨床工学技士 (CE) が必須です. 奈良県臨床工学技士会勉強会, 2023. 8. 5, 天理, 現地開催
3. 穂山 正弥: Non-PV foci に対する ICPM を用いた Auto iPASO Map について. 奈良 CE の集い, 2023. 12. 4, Web 開催
4. 清水 一茂: グラフィックモニターを診る. 第21回奈良県人工呼吸器安全セミナー, 2024. 3. 2, 奈良, 現地開催

◇院内集談会

1. 植田 悠太, 清水 一茂: 経腸栄養開始に伴い高 K 血症となった慢性維持透析患者の症例. 2023年度臨床検査部・臨床工学部研究発表会, 2024. 3. 4, 外来診療棟 5 階講堂
2. 小林 美菜, 橋本 武昌: 認知症を有する患者の自己抜針事故を経験して. 2023年度臨床検査部・臨床工学部研究発表会, 2024. 3. 4, 外来診療棟 5 階講堂
3. 村山 真規, 穂山 正弥: 通常型房室結節回帰性頻拍で Ventricular-triggered atrial pacing (VTAP) 法が有用であった 1 例. 2023年度臨床検査部・臨床工学部研究発表会, 2024. 3. 4, 外来診療棟 5 階講堂

リハビリテーション部

◇学 会

国内学会

一般演題 (口演)

1. 赤坂 美佳, 後藤 総介, 岩佐 精志, 櫻井 美和子, 岡本 敦, 田巻 庸道, 近藤 博和: 術前 6 分間歩行距離は術後入院期間に影響を及ぼしているか—当院の心臓弁膜症術後患者を対象に—. 第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 2023. 7. 15-16, 横浜, 現地開催
2. 後藤 健一: 人工知能チャットボットと学会発表熟練者の論文要約能力の比較. 第32回奈良県理学療法士学会, 2023. 7. 30, 奈良, 現地開催
3. 後藤 健一: Machine Learning Approaches for Predicting Outcomes in Fracture Rehabilitation: A Scoping Review. 第11回日本運動器理学療法学会学術大会, 2023. 10. 13-15, 福岡, 現地開催
4. 岩佐 精志: 外来心リハ患者の QOL を改善する要因についてのスコーピングレビュー—改善の要因は運動以外に何があるのか—. 第 9 回日本心臓リハビリテーション学会近

畿支部地方会, 2024. 2. 11, 大阪, 現地開催

一般演題 (ポスター)

5. 伊藤 木, 後藤 総介, 岩佐 精志, 市川 桂子, 岡本 敦, 田巻 庸道, 近藤 博和: 運動アドヒアランスの低下した心不全症例に対してベルト電極式骨格筋電気刺激 (B-SES) により代替介入を行った経験. 第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 2023. 7. 15-16, 神奈川, 現地開催
6. 赤坂 美佳: IMPELLA5.5 挿入下に離床を進めたことで, ADL の低下を予防できた心室中隔穿孔 (VSP) 合併の一症例. 日本心臓リハビリテーション学会 第9回近畿支部地方会, 2024. 2. 11, 大阪, 現地開催

◇研 究 会

一般演題 (口演)

1. 岩佐 精志: 病院と地域, 私たちはどのように情報を共有し繋がれば良いのか—3 度の心臓外科手術後に心不全となり, 訪問看護が導入となった症例を通して—. 第18回天理よろづ相談所病院リハビリテーション研究発表会, 2023. 11. 25, 天理, 現地開催
2. 中嶋 たま: 脳梗塞により, 多彩な高次脳機能障害を呈した患者が, がん治療のため自宅退院を目指した症例—患者・家族の新たな生活を多職種で支える—. 第18回天理よろづ相談所病院リハビリテーション研究発表会, 2023. 11. 25, 天理, 現地開催

◇その他の講演

1. 村上 康朗: 糖尿病足病変のある患者のリハビリテーション. 第21回チームで考える糖尿病医療の会, 2023. 4. 15, 奈良・ハイブリッド開催
2. 公文 梨花: リスク管理と急変時対応. 奈良県作業療法士スキルアップセミナー, 2023. 6. 8, Web 開催
3. 村上 康朗: 糖尿病・糖尿病性腎症の運動療法. 令和5年度 糖尿病性腎症重症化予防保健指導者人材育成事業, 2023. 7. 11-12, 奈良・Web 開催
4. 村上 康朗: 糖尿病に対する運動療法の効果について. 糖尿病支援セミナー in Wakayama, 2023. 7. 30, 和歌山・Web 開催
5. 村上 康朗: 糖尿病の病態. 2023代謝系理学療法学, 2023. 10. 19, 大和高田 (奈良), 現地開催
6. 村上 康朗: 高齢者の糖尿病. 2023代謝系理学療法学, 2023. 11. 2, 大和高田 (奈良), 現地開催
7. 村上 康朗: 糖尿病をもつ人の評価. 2023代謝系理学療法学, 2023. 11. 16, 大和高田 (奈良), 現地開催
8. 村上 康朗: 運動処方と指導の考え方. 2023年度 CDE スキルアップセミナー in NARA, 2023. 11. 28, 奈良・Web 開催
9. 岩佐 精志: ツインの心臓リハビリテーションのご紹介. 第8回診療連携講演会, 2023. 12. 7, 外来診療棟5階講堂, 現地開催
10. 村上 康朗: チーム医療と地域連携. 2023代謝系理学療法学, 2024. 1. 11, 大和高田 (奈良), 現地開催

11. 田岡 久嗣：呼吸理学療法の実践について（評価，介入方法についての講義），令和5年度奈良県理学療法士協会主催研修会，2024.1.13-14，橿原（奈良）・ハイブリッド開催
12. 田岡 久嗣：リハビリテーションサマリーで何を伝えたらいいかについて，アンケート調査に基づいた発表，令和5年度奈良県理学療法士協会主催研修会，2024.1.13-14，橿原（奈良）・ハイブリッド開催
13. 鈴木 拓真：フィジカルアセスメントについて，令和5年度奈良県理学療法士協会主催研修会，2024.1.14，奈良・ハイブリッド開催
14. 櫻井 美和子：糖尿病の理学療法，関西医療大学理学療法学科3年総合理学療法学講義，2024.1.17，熊取（大阪），現地開催

◇一般向け

（雑誌・書籍）

1. 公文 梨花，前岡 伸吾：【関節痛 リウマチ・膠原病診療に強くなる】関節リウマチのケア 当事者主体のリウマチサロンの取り組み，治療 2023；105（7）：900-903.
（講演）
2. 村上 康朗：糖尿病に対する運動療法，2023年度CDEなら認定講習会，2023.9.3・2024.2.4，橿原（奈良），現地開催
3. 村上 康朗：心不全と併存疾患の予防と治療，循環器病対策スキルアップセミナー，2023.10.12，奈良・Web開催
4. 岩佐 精志：外来での心臓リハビリテーション，循環器病対策スキルアップセミナー，2024.1.11，Web開催
5. 村上 康朗：糖尿病足病変に対するリハビリテーション，第22回 糖尿病の足病変を考える会，2024.1.27，奈良・ハイブリッド開催

緩和ケアセンター

◇その他の講演

1. 久須美 房子：e-learningの復習，第112回まほろばPEACE緩和ケア研修会，2023.8.6，生駒（奈良）・Web開催
2. 久須美 房子，松尾 理代，池嶋 三賀，松村 尚子，阿部 修子，藤本 加代子：e-learningの復習，第114回まほろばPEACE緩和ケア研修会，2023.9.3，天理，現地開催
3. 明保 洋之：骨転移とその症状緩和，第114回まほろばPEACE緩和ケア研修会，2023.9.3，天理，現地開催
4. 明保 洋之：全人的苦痛に対する緩和ケア，第114回まほろばPEACE緩和ケア研修会，2023.9.3，天理，現地開催
5. 徳岡 泰紀：療養の場所の選択と地域連携，第114回まほろばPEACE緩和ケア研修会，2023.9.3，天理，現地開催

◇院内集談会

1. 久須美 房子：緩和ケアのきほん. レジデント教育講義, 2023. 9. 25, 西病棟画像カンファレンス1
2. 久須美 房子：がん終末期の鎮静～緩和ケアセット更新の紹介. 2023年度 TSC 研修会シリーズ・春 みんなで歩もう緩和ケア～その13～, 2024. 3. 1, 外来診療棟5階講堂

神経筋疾患センター

◇書籍

1. 野寺 裕之：診断, 鑑別診断, 検査. 筋萎縮性側索硬化症 (ALS) 診療ガイドライン2023, pp33-59, 日本神経学会 監修, 筋萎縮性側索硬化症診療ガイドライン作成委員会 編集, 南江堂 (東京), 2023
2. 野寺 裕之：ICU からコンサルトがきたら? 呼吸筋麻痺と神経筋疾患. 救急, プライマリケアでの神経診療がわかる, できる, pp205-209, 安藤 貴司 編, 羊土社 (東京), 2023
3. 野寺 裕之：血管炎性ニューロパチー. 脳神経疾患 最新の治療 2024-2026, pp250-251, 北川 一夫, 青木 正志, 小林 俊輔 編集, 南江堂 (東京), 2023
4. 野寺 裕之：腕神経叢障害. 脊椎脊髄・神経筋の診療症候学の基本, pp243-259, 園生 雅弘 編集, 三輪書店 (東京), 2023

◇学術雑誌

(欧文)

〈他施設との共同研究〉

1. Higashihara M, Yamazaki H, Izumi Y, Kobayashi M, Nodera H, Oishi C, Iwata A, Murayama S, Kaji R, Sonoo M: Far-field potential of the compound muscle action potential as a reliable marker in amyotrophic lateral sclerosis. Muscle & Nerve 2023; 68(3): 257-263.

(邦文)

2. 野寺 裕之：慢性疼痛の内科治療. Brain and Nerve 2023; 75 (3): 227-234.
3. 野寺 裕之：【筋疾患の病態と臨床】筋疾患の超音波診断. 脳神経内科 2023; 99 (2): 164-169.

◇学会

国内学会

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

1. 野寺 裕之：神経伝導・筋電図検査での自動判別システムの開発. 第64回日本神経学会学術大会, 2023. 5. 31-6. 3, 千葉・ハイブリッド開催
2. 野寺 裕之：ALS の診断・臨床検査 UPDATE. 第64回日本神経学会学術大会, 2023. 5. 31-6. 3, 千葉・ハイブリッド開催

3. 野寺 裕之：針筋電図放電の自動判別. 第5回日本メディカル AI 学会学術集会, 2023. 6. 17-18, 東京・ハイブリッド開催
 4. 野寺 裕之：AI を用いた臨床神経生理データ解析入門. 第53回日本臨床神経生理学会学術大会, 2023. 11. 30-12. 2, 福岡・ハイブリッド開催
- 一般演題（ポスター）
5. Nodera H, Suenaga T: Data augmentation improves machine learning-based identification of needle EMG resting discharges. 第64回日本神経学会学術大会, 2023. 5. 31-6. 3, 千葉・ハイブリッド開催
 6. 野寺 裕之, 末長 敏彦：針筋電図放電の判別に有用な音声データ増幅手法の検討. 第5回日本メディカル AI 学会学術集会, 2023. 6. 17-18, 東京・ハイブリッド開催

◇研 究 会

特別講演・教育講演

1. 野寺 裕之：糖尿病性神経障害のアップデート：簡易な基準で足病変を予測する. 第22回糖尿病の足病変を考える会, 2024. 1. 27, 奈良・ハイブリッド開催

◇その他の講演

1. 野寺 裕之：臨床医がAIの世界で生きるためのブルーオーシャン戦略. 東北大学医療 AI 人材育成拠点プログラム第4回医学 AI セミナー, 2023. 8. 22, 仙台（宮城）・ハイブリッド開催
2. 野寺 裕之：神経伝導・筋電図検査ケーススタディ. 脳神経内科連携セミナー, 2024. 1. 20, 大阪, Web 開催
3. 野寺 裕之：神経障害性疼痛の薬物治療. 高齢者社会の医療を考える, 2024. 1. 25, 奈良・Web 開催

◇一 般 向 け

（雑誌・書籍）

1. 野寺 裕之：ALS 医療 ALS の診断と臨床検査. 難病と在宅ケア 2023 ; 29 (9) : 38 - 41.

先天性心疾患センター

◇学 会

国際学会

一般演題（口演）

1. Nishiuchi S, Yamagami S, Sato T, Sutani T, Hagiwara Y, Onoue T, Ogata H, Kawai R, Nakagawa S, Yamane K, Sakamoto J, Tamaki Y, Enomoto S, Miyake M, Kondo H, Tamura T : Long-Term Outcomes of Catheter Ablation for Atrial Tachyarrhythmias in Grown-Up Congenital Heart Disease. APHRS 2023 第16回アジア太平洋ハートリズム学会, 2023. 9. 1-3, 香港, 現地開催

国内学会

一般演題（口演）

2. Miyake M, Noguchi Y, Sakamoto J, Kondo H, Arai Y, Doi H, Tamura T : 40-year survival after Glenn procedure without subsequent Fontan procedure in patients with single-ventricle physiology. 第25回日本成人先天性心疾患学会, 2024. 1. 6-8, 東京, 現地開催
3. 野口 祐, 三宅 誠, 土井 拓, 江原 英治, 小澤 秀登, 鍵崎 康治, 小形 光, 河合 龍馬, 佐藤 友啓, 中川 頌子, 山上 新太郎, 西内 英, 坂本 二郎, 山根 啓一郎, 田巻 庸道, 榎本 操一郎, 近藤 博和, 田村 俊寛 : 房室中隔欠損症術後遠隔期に進行した三尖弁狭窄症に対して手術加療した1例. 第25回成人先天性心疾患学会総会, 2024. 1. 6-8, 東京, 現地開催
4. 松田 匡雄, 西内 英, 山上 新太郎, 佐藤 友啓, 小形 光, 野口 祐, 河合 龍馬, 中川 頌子, 山根 啓一郎, 坂本 二郎, 田巻 庸道, 榎本 操一郎, 三宅 誠, 近藤 博和, 田村 俊寛 : Successful management of ventricular tachycardia in a case of unrepaired pulmonary atresia with ventricular septal defect. 第88回日本循環器学会学術総会, 2024. 3. 8-10, 神戸, 現地開催

◇研 究 会

一般演題（口演）

1. 野口 祐, 土井 拓, 三宅 誠 : 房室中隔欠損症術後遠隔期に進行した三尖弁および大動脈弁狭窄症に対する治療方針に苦慮した1例. 第10回まほろばACHD 談話会, 2023. 6. 24, 橿原 (奈良), 現地開催
2. 水原 ルーク, 野口 祐, 三宅 誠 : 治療方針に苦慮した二次孔欠損型 ASD の一例. 天神京カンファレンス, 2023. 12. 9, 大阪, 現地開催
3. 水原 ルーク, 野口 祐, 三宅 誠 : 治療方針に苦慮した二次孔欠損型 ASD の一例. 第1回 K-SHD 研究会, 2023. 12. 9, 大阪, 現地開催
4. 野口 祐, 三宅 誠, 土井 拓, 新井 善雄, 田村 俊寛 : 成人期にバルサルバ洞破裂を来した心室中隔欠損の I 型の1例. 第11回まほろばACHD 談話会, 2023. 12. 10, 大阪, 現地開催
5. 尾上 隆大, 三宅 誠, 天野 佑, 松島 弘季, 水原 ルーク, 奥田 豊生, 酢谷 俊太, 萩原 悠斗, 松田 匡雄, 本吉 司, 小形 光, 野口 祐, 佐藤 友啓, 河合 龍馬, 中川 頌子, 山上 新太郎, 西内 英, 山根 啓一郎, 坂本 二郎, 田巻 庸道, 榎本 操一郎, 近藤 博和, 田村 俊寛 : バルサルバ洞動脈瘤破裂を生じた心室中隔欠損の一例. 第22回京都心血管フォーラム, 2024. 1. 6, 京都, 現地開催

薬 剤 部

◇書 籍

1. 中島 康裕：処方箋に基づく調剤 無菌的混合操作. 薬学生のための病院・薬局実務実習テキスト 2024年版, pp93-95, 薬学教育協議会病院・薬局実務実習近畿地区調整機構 監修, 日本病院薬剤師会近畿ブロック／日本薬剤師会大阪・近畿ブロック 編集, じほう (大阪), 2024
2. 黒松 誠：薬物療法の実践 免疫アレルギー疾患. 薬学生のための病院・薬局実務実習テキスト 2024年版, pp232-239, 薬学教育協議会病院・薬局実務実習近畿地区調整機構 監修, 日本病院薬剤師会近畿ブロック／日本薬剤師会大阪・近畿ブロック 編集, じほう (大阪), 2024
3. 金松 誠：薬物療法の実践 感染症. 薬学生のための病院・薬局実務実習テキスト 2024年版, pp240-248, 薬学教育協議会病院・薬局実務実習近畿地区調整機構 監修, 日本病院薬剤師会近畿ブロック／日本薬剤師会大阪・近畿ブロック 編集, じほう (大阪), 2024

◇学 術 雑 誌

(邦 文)

1. 池西 政幸, 川上 祥代, 西川 彩葉, 畠中 英理子, 石井 康世, 角田 すみ代, 福原 真美, 辻井 悟, 待本 貴文, 奥野 智之：長期中心静脈栄養症例の鉄過剰に対する鉄非含有微量元素院内製剤投与における臨床経過とその評価. Medical Nutritionist of PEN Leaders 2023 ; 7 (2) : 147-153. 【優秀論文賞 受賞】
2. 樽野 麻依, 梶田 貴司, 西島 美佳, 雪矢 良輔, 黒松 誠, 西川 豊, 奥野 智之, 金子 嘉志：電子カルテ上で閲覧可能な注射薬配合変化検索システムの構築と有用性. 日本病院薬剤師会雑誌 2023 ; 59 (6) : 610-617.
3. 雪矢 良輔, 梶田 貴司, 抱 恵子, 三宅 啓史, 八田 和大, 奥野 智之：関節リウマチ患者におけるエタネルセプトバイオ後続品切り替え後の有効性と安全性に関する評価. 日本病院薬剤師会雑誌 2024 ; 60 (3) : 254-259.

◇学 会

国内学会

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

1. 雪矢 良輔：アドヒアランス向上のためのMTX 導入時の取り組み～見えた課題と解決策～. 第45回日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2024. 1. 27-28, 和歌山, 現地開催
- 一般演題 (ポスター)
2. 池西 政幸, 岩前 邦明, 大鳥 徹, 奥野 智之：加齢にともなう腎機能変化が血清中リチウム濃度に及ぼす影響. 第17回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会, 2023. 10. 28-29, 名古屋, 現地開催
 3. 田中 通, 黒松 誠, 西川 豊, 梶田 貴司, 奥野 智之：パルボシクリブ+フルベストラント併用療法の治療期間に及ぼす影響因子の探索. 第33回日本医療薬学会年会, 2023.

11.3-14, 仙台（宮城），現地開催

4. 高垣 俊貴，松野 美都，森田 彩花，黒松 誠，梶田 貴司，奥野 智之：再発難治性びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫に対する Pola-BR 療法の後方視的検討．第45回日本病院薬剤師会近畿学術大会，2024. 1. 27-28，和歌山，現地開催

◇研 究 会

特別講演・教育講演

1. 雪矢 良輔：関節リウマチ診療におけるリウマチ登録薬剤師の役割．令和5年度リウマチの治療とケア教育研修会，2023. 10. 29，奈良，現地開催

◇その他の講演

1. 雪矢 良輔：関節リウマチ診療において薬剤師が出来ること，すべきこと．第3回 JRAPP 薬薬連携セミナー，2023. 6. 21，奈良・Web 開催
2. 雪矢 良輔：RA 治療においてこれから求められる薬剤師の役割—薬剤師による MTX 指導を奈良から広げる—．Yamato RA Pharma Meeting，2023. 7. 26，天理・Web 開催
3. 雪矢 良輔：これから薬剤師に求められる関節リウマチ患者に対する抗リウマチ薬の管理．第18回奈良 RA サイトカイン治療研究会，2023. 8. 19，奈良・ハイブリッド開催
4. 雪矢 良輔：薬剤師による MTX 指導から見えた成果と課題～MTX 皮下注製剤の可能性を考える～．メトジェクト皮下注 web 講演会，2024. 2. 5，大阪・Web 開催
5. 雪矢 良輔：RA 治療におけるモニタリングに対する薬剤師の役割．第2回 NARA 塾 10th，2024. 2. 10，奈良・ハイブリッド開催

◇院内集談会

1. 金松 誠：AMR（薬剤耐性）対策について．感染合同カンファレンス，2024. 2. 21，西病棟4階カンファレンス室，Web 開催
2. 奥野 智之：医療用麻薬のきまりごと．2023年度 TSC 研修会シリーズ・春 みんなで歩もう緩和ケア～その13～，2024. 3. 1，外来診療棟5階講堂
3. 戎浦 規文：医療用麻薬のきまりごと～疼痛緩和のための適正使用～．2023年度 TSC 研修会シリーズ・春 みんなで歩もう緩和ケア～その13～，2024. 3. 1，外来診療棟5階講堂

看 護 部

◇学 術 雑 誌

（邦 文）

1. 玉井 定子：【在宅療養が困難になりつつある患者のスクリーニングと調整法】患者に関する気づきから始める！ 外来での在宅療養支援のスクリーニング．外来看護 2023；28（2）：86-97.
2. 田中 英行：子どものけいれん対応 地域から病院までのシームレスな看護をめざして 救急外来における熱性けいれんの対応．小児看護 2024；47（2）：220-225.

◇学 会

国内学会

特別企画（シンポジウム・パネルディスカッション）

1. 安藤 理裕, 北 宗高, 長谷川 朗: カテ室の医療安全について考えよう! 第41回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会, 2023. 10. 7, 大阪, 現地開催

一般演題（口演）

2. 村田 ちか子, 嶋崎 明子, 井岡 洋子, 谷村 千鶴: 初産婦に対するオンライン母親学級後期における有用性の検証. 第25回日本母性看護学会学術集会, 2023. 5. 28, 東京・ハイブリッド開催
3. 萩原 ひさゑ, 明道 薫, 山口 美栄子: 手術室での抗癌剤暴露対策の取り組み. 第10回日本手術看護学会近畿地区大会, 2023. 6. 24, Web 開催
4. 尾崎 真悠, 岡 千尋, 佐治 恭子, 森継 知恵美: 経皮的カテーテル心筋焼灼術を受ける患者の不安への看護～術前術後訪問を行った結果からの報告～. 第31回日本心血管インターベンション治療学会, 2023. 8. 4, 福岡・ハイブリッド開催
5. 高田 幸恵, 松井 利江, 山中 政子, 奥田 眞紀子: 終末期白血病患者の在宅療養移行支援における病棟看護師の思考と行動. 第54回日本看護学会学術集会, 2023. 9. 29-30, 大阪・ハイブリッド開催
6. 長谷川 朗, 森継 知恵美, 田村 俊寛, 近藤 博和, 榎本 操一郎: カテ室での多職種との急変時体制の再構築. 第41回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会, 2023. 10. 7, 大阪, 現地開催
7. 尾崎 真悠: ハイリスク医療行為 末梢静脈確保に必要な知識. 奈良県診療放射線技師会学術大会2023, 2023. 10. 22, 橿原 (奈良), ハイブリッド開催
8. 矢島 さつき: 血液がん化学療法の副作用による便秘への対策～便秘評価尺度, 下剤アルゴリズムを使用して～. 2023年度奈良県看護学会, 2023. 12. 9, 橿原 (奈良)・Web 開催
9. 赤坂 優佳, 片岡 美喜枝: コロナ病棟でのメンタルヘルスケアの取り組み. 2023年度奈良県看護学会, 2023. 12. 9, 橿原 (奈良)・Web 開催
10. 矢島 さつき, 近藤 昭栄, 高田 幸恵: 血液内科病棟での便秘対策—便秘評価尺度 下剤アルゴリズムを使用して—. 2023年度奈良県看護学会, 2023. 12. 9, 橿原 (奈良)・Web 開催
11. 大野 麻由: PNS 定着要因に着目した業務改善. 日本マネジメント学会第18回奈良支部学術集会, 2024. 2. 17, 奈良, 現地開催
12. 角田 すみ代, 辻井 悟, 福原 真美: 災害時想定した管理方法の問いかけから今後のHPN管理を考える. 第15回静脈経腸栄養管理指導者協議会学術集会, 2024. 3. 16, 奈良, 現地開催

◇その他の講演

1. 水嶋 親美: 当院の外来化学療法室における副作用マネジメントについて講演. 泌尿器悪性腫瘍セミナー in 天理, 2023. 6. 8, 天理・ハイブリッド開催

2. 田口 千里：訪問看護実践能力向上のためのクリニカルラダーの活用. 令和5年度訪問看護管理者研修, 2023. 6. 10, 橿原（奈良）, 現地開催
3. 田口 千里：実態調査報告とクリニカルラダーについて. 2023年度奈良県看護協会 看護職能Ⅰ・Ⅱ委員会 交流会, 2023. 9. 23, 橿原（奈良）, 現地開催
4. 松尾 理代：緩和ケア認定看護師の取り組みからのアドバンス・ケア・プランニング. 令和5年度第13回天理市看護職連携会議研修会, 2023. 11. 18, 天理, 現地開催
5. 池嶋 三賀：看護師だからできる！がん性疼痛の緩和ケア. 日総研看護セミナー 録画配信, 2024. 2. 14, 大阪・Web 開催
6. 松尾 理代：緩和ケア. 奈良文化高等学校衛生看護専攻科「緩和ケア」講演会, 2024. 2. 22, 大和高田（奈良）, 現地開催
7. 田中 英行：小児のフィジカルアセスメント. 第8回日本重症心身障害福祉協会認定 重症心身障害看護師 近畿地区研修会, 2024. 3. 6, Web 開催
8. 松尾 理代：ホスピスマインドの種を蒔きつづけて. 奈良県のホスピスとがん医療をすすめる会 第92回勉強会, 2024. 3. 10, 奈良, 現地開催

◇院内集談会

1. 村田 ちか子, 嶋崎 明子, 井岡 洋子, 谷村 千鶴：初産婦に対するオンライン母親学級における有用性の検証. 2023年度憩の家看護発表会, 2024. 2. 17, 本館5階看護研修室
2. 椋木 奈美：A病棟の退院支援における看護師の実態調査. 2023年度憩の家看護発表会, 2024. 2. 17, 本館5階看護研修室
3. 小野 加寿代, 瀧川 裕子, 丹生 淳子：A病棟看護師と退院調整看護師の協働による病棟独自の退院支援調整システム. 2023年度憩の家看護発表会, 2024. 2. 17, 本館5階看護研修室
4. 高田 幸恵：終末期白血病患者の在宅療養移行支援における病棟看護師の思考と行動. 2023年度憩の家看護発表会, 2024. 2. 17, 本館5階看護研修室
5. 村上 せつ子：医療処置がある患者の退院調整に向けて～B病棟での退院調整の取り組み～. 2023年度憩の家看護発表会, 2024. 2. 17, 本館5階看護研修室
6. 奥田 誠子：退院調整における多職種との情報共有と課題～カンファレンスとりハビリ連絡板を通して～. 2023年度憩の家看護発表会, 2024. 2. 17, 本館5階看護研修室
7. 小林 美樹：脳卒中で言語障害を伴った高齢患者のSCUにおける意思決定支援. 2023年度憩の家看護発表会, 2024. 2. 17, 本館5階看護研修室
8. 直井 静香：心不全末期患者にACPを開始できた要因を明らかにする～患者の言動を全人的苦痛に分類し振り返る～. 2023年度憩の家看護発表会, 2024. 2. 17, 本館5階看護研修室
9. 小川 朋子：Text Miningを用いた新人看護師の学習意欲低下要因に関する研究. 2023年度憩の家看護発表会, 2024. 2. 17, 本館5階看護研修室
10. 萩原 ひさゑ：手術室での抗がん剤曝露対策の取り組み. 2023年度憩の家看護発表会, 2024. 2. 17, 本館5階看護研修室
11. 峯 紅：急性期内科病棟でのせん妄発症予防とケア. 2023年度憩の家看護発表会, 2024.

2. 17, 本館 5 階看護研修室

12. 前川 ゆかり：問題解決試行を用いた業務改善の実践報告～申し送り短縮を導入し患者の安全確保を考える～. 2023年度憩の家看護発表会, 2024. 2. 17, 本館 5 階看護研修室
13. 矢島 みどり：感染症病棟での IPNS を用いたタイムマネジメントの試み～PNS マインドに対する意識の変化～. 2023年度憩の家看護発表会, 2024. 2. 17, 本館 5 階看護研修室

◇一般向け

(講演)

1. 小野 加寿代：2023年度看護早期実習. 天理大学医療学部看護科, 2023. 7. 18, 天理, 現地開催
2. 松尾 理代：在宅支援, 看取りのケア. 天理大学医療学部緩和ケア論, 2023. 7. 20, 天理, 現地開催
3. 阿部 修子：全ての医療にかかわる医師のための緩和研修. 第114回まほろば PEACE 緩和ケア研修会, 2023. 9. 3, 天理, 現地開催
4. 河野 しづゑ：産科救急. 奈良県消防学校, 2023. 9. 29, 宇陀 (奈良), 現地開催
5. 阿部 修子：看取りのケア. 奈良県看護協会 2023年看護師復職支援研修, 2023. 10. 6, 橿原 (奈良), 現地開催
6. 中山 とく美：慢性呼吸器疾患患者への生活支援, 事例相談, COPD 末期患者の症状緩和と家族支援, ACP. 奈良県看護協会訪問看護総合支援センター 現場指導事業, 2024. 3. 27, 香芝 (奈良), 現地開催

栄 養 部

◇学会

国内学会

一般演題 (口演)

1. 山本 雄大, 井上 啓子, 犬塚 麻友, 味岡 実咲, 河口 直輝, 高柳 香耶乃, 岩切 友麻：市販洋菓子 (シュークリーム・ドーナツ) のリン含有量の測定. 第70回日本栄養改善学会学術総会, 2023. 9. 1-3, 名古屋・ハイブリッド開催

◇研究会

一般演題 (口演)

1. 岡田 真由子：心臓リハビリテーションチームにおける管理栄養士の取り組み. 第17回関西中部心不全栄養療法研究会, 2023. 10. 27, 大阪・ハイブリッド開催

◇その他の講演

1. 森川 久恵：病院管理栄養士の仕事について. 奈良県内管理栄養士養成施設合同ワークショップ, 2023. 10. 28, 奈良・Web 開催
2. 森川 久恵：必見！病院管理栄養士！～患者さんと共にあゆむ道～. 京都女子大学臨地実習 (学内), 2024. 3. 13, 京都, 現地開催

◇院内集談会

1. 越智 ますみ, 松田 泉紀: 入院患者の食事選択と栄養管理について. 看護師新人研修会, 2023. 4. 13, 本館 5 階支援室
2. 森川 久恵: 早期栄養介入管理について. 院内 CE 勉強会, 2023. 5. 30, 東西病棟 2 階血液浄化センター
3. 清水 佐幸: 食事に含まれるビタミン B1 はどれくらい? NST チーム会, 2023. 12. 22, 西病棟 4 階会議室 1
4. 岡田 真由子: 心臓リハビリテーションチームにおける管理栄養士の取り組み. 心臓リハビリチーム会, 2024. 2. 6, 外来診療棟南館 5 階中会議室

医療安全管理室

◇学術雑誌

(邦 文)

1. 樽野 麻依, 梶田 貴司, 西島 美佳, 雪矢 良輔, 黒松 誠, 西川 豊, 奥野 智之, 金子 嘉志: 電子カルテ上で閲覧可能な注射薬配合変化検索システムの構築と有用性. 日本病院薬剤師会雑誌 2023 ; 59 (6) : 610 - 617.
2. 梶田 貴司, 西島 美佳, 戎浦 規文, 松岡 里枝, 田中 通, 大橋 彩花, 大河原 亜梨沙, 雪矢 良輔, 樽野 麻依, 黒松 誠, 西川 豊, 有賀 巖雄, 奥野 智之, 金子 嘉志: B 型肝炎ウイルス再活性化対策ガイドライン遵守向上に対する医療安全専任薬剤師の貢献. 日本病院薬剤師会雑誌 2023 ; 59 (7) : 726 - 732.

医学研究所

◇学術雑誌

(欧 文)

1. Maekawa F, Kishimori C, Hayashida M, Nakagawa M, Obayashi H, Fukutsuka K, Sakamoto S, Takeoka K, Iioka F, Sumiyoshi S, Kobashi Y, Ohno H: Two-step development of t(14 ; 18)(q 32 ; q 21) followed by t(3 ; 14)(q 27 ; q 32) involving the same IGH allele to generate t(3 ; 14 ; 18)(q 27 ; q 32 ; q 21) in follicular lymphoma, grade 3A. Tenri Medical Bulletin 2023 ; 26(1) : 20-31.
2. Ohno H: Hematological neoplasms associated with *ALK* fusion genes. Tenri Medical Bulletin 2023 ; 26(1) : 32-53.
3. Ohno H: Bone marrow, spleen, and liver-type diffuse large B-cell lymphoma. Tenri Medical Bulletin 2023 ; 26(1) : 65-68.
4. Ohno H: Long-term spontaneous regression of follicular lymphoma. Tenri Medical

Bulletin 2023 ; 26(1) : 72–75.

5. Ohno H, Abe N, Maekawa F, Hayashida M, Kishimori C, Fukutsuka K, Inao T, Kotani S, Sumiyoshi S : Concurrent development of advanced-stage mantle cell lymphoma and tuberculous pleural effusion. Tenri Medical Bulletin 2023 ; 26(2) : 99–109.
6. Ohno H, Ueo T : Sequential presentation of Hashimoto thyroiditis and idiopathic thrombocytopenic purpura followed by pernicious anemia and autoimmune atrophic gastritis with Helicobacter pylori infection : A potential case of autoimmune polyglandular syndrome type 3B. Tenri Medical Bulletin 2023 ; 26(2) : 132–136.

〈他施設との共同研究〉

7. Sato A, Kobayashi M, Yusa N, Ogawa M, Shimizu E, Kawamata T, Yokoyama K, Ota Y, Ichinohe T, Ohno H, Mori Y, Sakaida E, Kondo T, Imoto S, Nannya Y, Mitani K, Tojo A : Clinical and prognostic features of Langerhans cell histiocytosis in adults. Cancer Science 2023 ; 114(9) : 3687–3697.
8. Takeyama M, Furukawa S, Ogiwara K, Tamura S, Ohno H, Higasa S, Shimonishi N, Nakajima Y, Onishi T, Nogami K : Coagulation potentials of plasma-derived factors VIIa and X mixture (Byclot[®]) evaluated by global coagulation assay in patients with acquired haemophilia A. Haemophilia 2024 ; 30(1) : 249–252.
9. Hosoi H, Hori Y, Fukutsuka K, itsuo Osuga M, Koh Y, Mushino T, Hanaoka N, Yamamoto N, Ohno H, Sonoki T : Detection of the JAK2 V617F Mutation in Urinary Cell-free DNA in Patients with Myeloproliferative Neoplasms. Internal Medicine 2023 ; doi : 10.2169/internalmedicine. 2837–23.

(邦 文)

10. 大野 仁嗣 : MALT リンパ腫の予後指標. 血液内科 2023 ; 86 (4) : 455 – 461.
11. 大林 準, 種田 和清, 岡田 明信, 岡田 三枝, 松村 充子 : 特定健診における特定保健指導の対象となる受検者の特徴に関する横断的研究. 天理医学紀要 2023 ; 26 (2) : 89 – 98.

◇学 会

国内学会

一般演題 (口演)

1. 茶木 善成, 林田 雅彦, 前川 ふみよ, 竹岡 加陽, 小橋 陽一郎, 大野 仁嗣 : 2つのクローンからなる末梢性 T 細胞リンパ腫, 非特異型の背景に血管免疫芽球性 T 細胞リンパ腫の潜在が疑われた症例. 第33回日本サイトメトリー学会学術集会, 2023. 7. 22 – 23, Web 開催
2. 林田 雅彦 : 認定試験到達目標 (カリキュラム) の改定に向けて. 第33回日本サイトメトリー学会学術集会, 2023. 7. 22 – 23, Web 開催

一般演題（ポスター）

3. 竹岡 加陽, 岸森 千幸, 中川 美穂, 福塚 勝弘, 林田 雅彦, 住吉 真治, 大野 仁嗣:
Two cases of diffuse large B-cell lymphoma (DLBCL)/high-grade B-cell lymphoma (HGBCL) with $t(3;8)(q27;q24)/BCL6::MYC$. 第63回日本リンパ網内系学会・総会, 2023. 6. 22-24, 大宮 (埼玉), 現地開催
4. 前川 ふみよ, 竹岡 加陽, 林田 雅彦, 坂本 真一, 住吉 真治, 大野 仁嗣: Polymerase chain reaction(PCR)targeting genomic DNA to detect *ALK* rearrangements with various partners in *ALK*+ hematological neoplasms. 第63回日本リンパ網内系学会・総会, 2023. 6. 22-24, 大宮 (埼玉), 現地開催
5. 林田 雅彦, 前川 ふみよ, 福塚 勝弘, 中川 美穂, 岸森 千幸, 竹岡 加陽, 大野 仁嗣:
Chronic lymphocytic leukemia (CLL) associated with $t(14;18)(q32;q21)$ identified by G-banding and/or *BCL2::IGH* by FISH: Report of 4 cases. 第63回日本リンパ網内系学会・総会, 2023. 6. 24, 大宮 (埼玉), 現地開催
6. 大野 仁嗣, 竹岡 加陽, 前川 ふみよ, 中川 美穂, 岸森 千幸, 福塚 勝弘, 林田 雅彦, 住吉 真治: Diffuse large B-cell lymphoma (DLBCL) associated with $t(9;14)(p13;q32)$: Report of 6 patients. 第63回日本リンパ網内系学会・総会, 2023. 6. 23-25, 大宮 (埼玉), 現地開催

◇研究会

一般演題（口演）

〈他施設との共同研究〉

1. 細井 裕樹, 堀 善和, 福塚 勝弘, 大菅 光男, 洪 泰浩, 蒸野 寿紀, 山本 信之, 大野 仁嗣, 園木 孝志: 骨髄増殖性腫瘍患者の尿由来 cell-free DNA を用いた *JAK2 V617F* 変異の検出. 第8回 Liquid Biopsy 研究会, 2024. 2. 2-2. 3, 東京, 現地開催

◇その他の講演

1. 林田 雅彦: 造血器腫瘍における MRD 測定 of 概要・意義・実践について 「CLL の MRD 測定における技師の役割」. 血液疾患検査セミナー, 2023. 6. 14, 札幌, 現地開催
2. 茶木 善成, 林田 雅彦: Toxic shock syndrome (TSS) 診断における TCRV β レパトア解析の応用. 第11回ベックマン・コールター関西 FCM ユーザー会, 2023. 9. 2, 大阪, 現地開催
3. 茶木 善成, 林田 雅彦: フローサイトメトリーによるリンパ系腫瘍の解析. 認定サイトメトリー技術者 認定試験講習会, 2023. 11. 25, 守口 (大阪), 現地開催
4. 林田 雅彦: マルチカラーフローサイトメトリー. 認定サイトメトリー技術者 認定試験講習会, 2023. 11. 25, 守口 (大阪), 現地開催
5. 茶木 善成, 前川 ふみよ, 竹岡 加陽, 林田 雅彦: 免疫関連遺伝子再構成の基礎知識—遺伝子の発見とクロナリティ診断への歩み—. 奈良県臨床検査技師会 遺伝子・染色体部門主催講習会 免疫関連遺伝子再構成の基礎知識と現状—今さら聞いてみた—, 2024. 1. 20, 橿原 (奈良) ・ハイブリッド開催

患者総合支援センター

◇その他の講演

1. 河合 のり子：急性期病院における相談・連携の実際と課題—アンケート調査結果をふまえて—。公益財団法人天理よろづ相談所 天理よろづ相談所病院 患者総合支援センター 地域医療連携講演会，2023. 5. 18，天理・ハイブリッド開催
2. 大花 正也：天理よろづ相談所病院は，今後どのような連携を目指すべきか。公益財団法人天理よろづ相談所 天理よろづ相談所病院 患者総合支援センター 地域医療連携講演会，2023. 5. 18，天理・ハイブリッド開催
3. 河合 のり子：退院支援看護師の役割及び退院支援実際を理解する。奈良県看護協会研修会，2023. 6. 1，橿原（奈良），現地開催
4. 河合 のり子，深谷 弘和：退院調整部門の役割を理解する。奈良県看護協会研修会，2023. 6. 12，橿原（奈良），現地開催

◇一般向け

（講演）

1. 河合 のり子，中村 富美，竹本 薫，畝本 智美，木村 瑞，寺内 和代：「これからノート」の普及・啓発。天理市西南部地域包括支援センター 通いの場 天理市式上公民館，2023. 5. 29，天理，現地開催
2. 河合 のり子，奥田 眞紀子，守山 ひとみ，折口 真子：「これからノート」の普及・啓発。天理市中部地域包括支援センター 地域ケア広場，2023. 7. 27，天理，現地開催
3. 河合 のり子，竹本 薫，奥田 眞紀子，畝本 智美：「これからノート」の普及・啓発。天理市東部地域包括支援センター 長滝町公民館，2023. 10. 4，天理，現地開催
4. 河合 のり子，中村 富美，奥田 眞紀子，木村 瑞：「これからノート」の普及・啓発。天理市北部地域包括支援センター 四ノ坪サロン，2023. 11. 30，天理，現地開催
5. 河合 のり子，奥田 眞紀子：「これからノート」とアドバンスケアプランニング。天理市入退院調整ルール会議，2024. 1. 18，天理，現地開催
6. 河合 のり子，奥田 眞紀子，下川 久仁子，飯塚 真子，寺内 和代：「これからノート」の普及・啓発。天理市中部地域包括支援センター 地域ケア広場，2024. 2. 19，天理，現地開催
7. 河合 のり子，奥田 眞紀子，堀田 陽子，畝本 智美，寺内 和代：「これからノート」の普及・啓発。天理市東部地域包括支援センター たちばな住宅集会所，2024. 2. 29，天理，現地開催
8. 河合 のり子，奥田 眞紀子，竹本 薫，木村 瑞，寺内 和代：「これからノート」の普及・啓発。天理市北部地域包括支援センター あすならホーム山の辺，2024. 3. 28，天理，現地開催

心 理 相 談 室

◇院内集談会

1. 中尾 佳奈代：新人看護職者のストレスマネジメント．新人看護職員研修「ストレスマネジメント」2023. 5. 31, 外来診療棟 5 階講堂
2. 中尾 佳奈代：フレッシュパートナー研修ストレスマネジメント．実地指導者研修「ストレスマネジメント」2023. 9. 15, 外来診療棟 5 階講堂
3. 保坂 信広, 中尾 佳奈代, 高堂 善志朋, 宇田 まゆみ：院内勉強会マインドフルネスの「いろは」リラックスからパフォーマンス向上まで．メンタルヘルスケア2024. 1. 30, 外来診療棟 5 階講堂

◇一 般 向 け

(講 演)

1. 宇田 まゆみ：TFT 専門家養成初級アルゴリズムレベル．TFT 専門家養成初級アルゴリズムレベル2023. 7. 8-9, 奈良 (大和高田), 現地開催

◇企業内講演

1. 宇田 まゆみ：子どもの心と感染症への対応．かなえ保育園職員研修 2024. 1. 20, 奈良 (大和高田), 現地開催

白 川 分 院

◇学 会

国内学会

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

【リハビリテーション部】

1. 後藤 総介, 中村 洋貴, 吉田 陽亮：循環器病対策基本法への理学療法士の関わり「パブリックコメントを契機とした奈良県理学療法士協会の取り組み」．日本呼吸・循環器合同理学療法学会学術大会2023, 2023. 9. 2-9. 3, 東京・ハイブリッド開催
2. 後藤 総介, 近藤 博和：超急性期から維持期へ；シームレスな心不全疾病管理のための地域連携の取り組み「奈良県における循環器疾患に対するリハビリテーションの課題と地域連携—施設連携と同職種間連携．第9回日本心臓リハビリテーション学会近畿支部地方会, 2024. 2. 11, 大阪, 現地開催

一般演題 (口演)

【内 科】

3. 關 匡彦, 次橋 幸男：在宅医による救急医療への関わりとこれからの課題．第26回日本臨床救急医学会総会・学術集会, 2023. 7. 27-29, 東京, 現地開催

【精神神経科】

4. 岩本 裕, 浅野 雅稔, 澤田 里美, 溝越 泰壽, 橋本 和典：薬剤性を疑う音楽性幻聴の

ために自殺企図に至った一例. 第132回近畿精神学会, 2023. 7. 8, 大津 (滋賀), 現地開催
【リハビリテーション部】

5. 濱崎 祐輔, 森 光, 後藤 総介, 岡本 敦, 前岡 伸吾, 西村 理: 当院回復期リハビリテーション病棟における転倒・転落の要因分析—転倒・転落の要因に年齢は関係ないのか?—. 第32回奈良県理学療法士学会, 2023. 7. 30, 奈良, 現地開催
6. 後藤 総介, 岡本 敦, 前岡 伸吾, 大西 美江, 西村 理: 回復期リハビリテーション病棟で発生した COVID-19のクラスターへのリハビリテーション部門の関わりに関する報告—第6波で得た教訓を第8波にどのように活かしたか—. 第32回奈良県理学療法士学会, 2023. 7. 30, 奈良, 現地開催
7. 後藤 総介, 中村 洋貴, 吉田 陽亮, 岩佐 精志, 梅津 俊介, 藤原 大輔, 笠井 佑哉: 回復期リハ病棟における心臓リハの現状と課題—奈良県アンケート調査より—. 第9回日本心臓リハビリテーション学会近畿支部地方会, 2024. 2. 11, 大阪, 現地開催
8. 岡田 佳奈子: 高次脳機能障害患者とその家族の想いに沿った自宅退院の支援. 回復期リハビリテーション病棟協会第43回研究大会 in 熊本, 2024. 3. 8-9, 熊本, 現地開催
9. 濱崎 祐輔, 森 光, 後藤 総介, 岡本 敦, 前岡 伸吾, 西村 理: 入院中の転倒は入院時 FIM と関連するののか—回復期リハ病院における5年間のコホート研究より—. 回復期リハビリテーション病棟協会第43回研究大会 in 熊本, 2024. 3. 8-9, 熊本, 現地開催

【看護部】

10. 松岡 昭英: オープンダイアログ勉強会を通して得られた変化やその要因. 第48回日本精神看護学術集会, 2023. 6. 2-3, 札幌 (北海道)・ハイブリッド開催
11. 松本 衛, 小川 朋子: 「薬を飲まなければ眠れない」という強い思いを抱く患者への不眠に対する関わり. 2023年度奈良県看護学会, 2023. 12. 9, 橿原 (奈良)・Web 開催
12. 青木 智世, 落合 真弓, 清水 怜奈, 早見 めぐみ, 中村 義徳: バイオフィルム対策を中心に看護ケアを行い順調な治癒経過を示した多発性褥瘡患者事例の検討. 第21回日本褥瘡学会近畿地方会学術集会, 2024. 3. 3, 京都, 現地開催
13. 藤橋 篤男, 落合 真弓, 八尾 喜代子: 回復リハビリテーション病棟における多職種協働の取り組み—現状の評価と職種による視点の違いからの考察—. 回復期リハビリテーション病棟協会第43回研究大会, 2024. 3. 8-9, 熊本, 現地開催

一般演題 (ポスター)

【内 科】

14. 關 匡彦, 次橋 幸男, 藤田 茉莉子, 中村 義徳, 日村 好宏: 他院 ER から帰宅当日に在宅導入を行った一例. 第5回日本在宅医療連合学会大会, 2023. 6. 24, 新潟, 現地開催
15. 橋本 修治: リード線効果による, 脳波における頭部外電極の活性化と遠隔電場電位. 第53回日本臨床神経生理学会学術大会, 2023. 11. 30-12. 2, 福岡・ハイブリッド開催

〈他施設との共同研究〉

16. 友田 陽子, 十川 純平, 幸原 伸夫, 橋本 修治, 池田 昭夫: 本学会関連講習会 (関西脳波・筋電図セミナー) 受講者のアンケート調査: コロナ禍の影響と今後のあり方. 第53回日本臨床神経生理学会学術大会, 2023. 11. 30-12. 2, 福岡・ハイブリッド開催

【精神神経科】

17. 宮崎 茉衣, 水井 亮, 川西 悠加, 土居 史磨, 神川 浩平, 岡崎 康輔, 山室 和彦, 浦谷 光裕, 太田 豊作, 飯田 順三, 牧之段 学: 成人期自閉スペクトラム症における感覚異常と事象関連電位の関連について. 第64回日本児童青年精神医学会総会, 2023. 11. 14-16, 弘前 (青森)・ハイブリッド開催

◇研 究 会

特別講演・教育講演

【内 科】

1. 橋本 修治: オームの法則による電気神経生理学の基礎—膜電池, EPSP, 電流双極子, 脳磁場の発生機序—. 第34回臨床神経生理研究会 (九州), 2023. 8. 12, 福岡・Web 開催
一般演題 (口演)

【リハビリテーション部】

2. 辰己 真由香: クモ膜下出血により失語と注意障害を呈した方の社会復帰を支援した症例—脳卒中相談窓口との連携の必要性—. 第18回天理よろづ相談所病院リハビリテーション研究発表会, 2024. 11. 25, 天理, 現地開催
3. 吉村 暢浩: 在宅世話どりセンターに引き継いだ患者を通して, ST の関わり方を振り返った. 第18回天理よろづ相談所病院リハビリテーション研究発表会, 2024. 11. 25, 天理, 現地開催

◇その他の講演

【内 科】

1. 橋本 修治, 瀬川 義朗, 佐々木 一郎: SNAP と CMAP の波形について考える—初期陽性波を中心に— (講義と実演). 第17回脳波筋電図セミナー, 2024. 2. 3, 京都, 現地開催
2. 橋本 修治: リード線効果から考える電気神経生理学— (1) 電位 0 V の不関電極は存在するのか? (2) 遠隔電場電位の発生機序—. F 波共同研究プロジェクト, 2024. 3. 11, 大阪・Web 開催
3. 橋本 修治: TMA 症候群: 神経内科医が知っておくべき病態. Medixpost 企画—Meet the Expert Seminar #2—, 2024. 3. 26, 京都・Web 開催

【リハビリテーション部】

4. 後藤 総介: 理学療法士が知っておくべき心不全について. 令和 5 年度奈良県理学療法士協会主催 循環器病対策スキルアップセミナー, 2023. 8. 10, Web 開催
5. 後藤 総介: 心不全の理学療法. 奈良県理学療法士協会主催研修会「循環器リハビリテーション」, 2024. 1. 27, 橿原 (奈良)・ハイブリッド開催
6. 後藤 総介: 循環器病患者に対する地域包括ケアシステム体制の構築に向けて. 令和 5 年度第 1 回推進リーダーフォローアップ研修会, 2024. 1. 28, 田原本 (奈良), 現地開催

【栄養部】

7. 黒田 結菜: 食事療法. CDE なら, 2023. 9. 3, 奈良, 現地開催
8. 黒田 結菜: 食事療法. CDE なら, 2024. 2. 4, 奈良, 現地開催

◇院内集談会

【看護部】

1. 藤橋 篤男：回復期リハビリテーション病棟における多職種協働の取り組み～現状の評価と職種による視点の違いからの考察～. 2023年度憩の家看護発表会, 2024. 2. 17, 本館5階看護研修室

◇一般向け

(講演)

【看護部】

1. 原 里美：在宅移行期を支える看護演習. 天理大学看護学部, 2023. 10. 6, 天理, 現地開催

◇企業内講演

【リハビリテーション部】

1. 後藤 総介：高齢化社会の心不全診療における心不全療養指導士の役割～理学療法士の立場から～. ヴィアトリス心不全 Web セミナー, 2023. 8. 31, 奈良・Web 開催

在宅世話どりセンター

◇学術雑誌

(欧文)

〈他施設との共同研究〉

1. Yasunaka M, Tsugihashi Y, Hayashi S, Iida H, Hirose M, Shirahige Y, Kurita N ; ZEVIIOUS Group. : Relationship of life expectancy with quality of life and health-related hope among Japanese patients receiving home medical care : The Zaitaku Evaluative Initiatives and Outcome Study. PLoS One 2023 ; 18(12) : e 0295672.

◇学会

国内学会

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

1. 次橋 幸男：医療・介護レセプトデータから在宅医療を評価する臨床研究. 第5回日本在宅医療連合学会大会, 2023. 6. 24-25, 新潟, ハイブリッド開催
2. 中村 義徳：局所摩擦ずれ緩和シート TASS® II の臨床使用経験. 第25回日本褥瘡学会学術集会, 2023. 9. 1-2, 神戸, 現地開催
3. 中村 義徳：なぜ持続的摩擦・ずれ緩和シートは開発されたのか？ 第25回日本褥瘡学会学術集会, 2023. 9. 1-2, 神戸, 現地開催
4. 中村 義徳：なぜ持続的摩擦・ずれ緩和シートは開発されたのか？ 第31回日本慢性期医療学会, 2023. 10. 19-20, 大阪, 現地開催

一般演題 (口演)

5. 次橋 幸男, 赤羽 学, 中西 康裕, 西岡 祐一, 柿沼 倫弘, 今村 知明：看取りを支える在宅医療に関連する地域性, 患者及び医療機関側の要因分析 大規模レセプトデータを

用いた現状分析. 第5回日本在宅医療連合学会大会, 2023. 6. 24-25, 新潟・ハイブリッド開催

6. 次橋 幸男, 中西 康裕, 西岡 祐一, 野田 龍也, 明神 大也, 赤羽 学, 今村 知明: 死亡前30日以内に開始された在宅医療が死亡前の医療費及び介護費に与える影響. 第82回日本公衆衛生学会総会, 2023. 11. 2, つくば (茨城), 現地開催

◇研 究 会

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

1. 次橋 幸男: わい和い NARA 在宅サポート研究会. 奈良県における在宅医療・ケアの将来予測と地域をつなぐところと技術, 2023. 6. 3, 橿原 (奈良), 現地開催

◇その他の講演

1. 次橋 幸男: 奈良県医療経営人材養成プログラム総合コース. 面倒見のいい病院 その成り立ち, 指標の見方と活用方法, 2023. 12. 2, 橿原 (奈良), 現地開催
2. 中村 義徳: 在宅現場で褥瘡の予防を〜床ずれ危険度チェック表で連携〜. 宇陀在宅医療を推進する会 研修会, 2024. 1. 17, 宇陀 (奈良), 現地開催
3. 次橋 幸男: 感染症ケアマネジメント 2024. 平成30年奈良県介護支援専門員協会 令和6年1月会員研修, 2024. 1. 20, 橿原 (奈良), 現地開催
4. 中村 義徳: 褥瘡ケアのアップデート〜基礎から応用まで〜. 奈良県医師会 在宅医療研修会, 2024. 3. 22, 橿原 (奈良)・ハイブリッド開催

◇院内集談会

1. 中村 義徳: 褥瘡の基本〜特に DESIGN-R2020〜. 第1回白川褥瘡・創傷勉強会, 2023. 9. 19, 白川分院講義室, 現地開催
2. 中村 義徳: 褥瘡Ⅱ〜DESIGN-R_2020 からケアへ. 第2回白川褥瘡・創傷勉強会, 2023. 12. 8, 白川分院講義室, 現地開催

◇一 般 向 け

(雑誌・書籍)

1. 次橋 幸男: 地域包括ケア時代の「価値」に触れる技術 医療人に求められる教養・リベラルアーツ (第1回) 医療人の教養・リベラルアーツがなぜ求められるのか. Nursing Business 2023; 17 (1): 64-67.
2. 次橋 幸男: 地域包括ケア時代の「価値」に触れる技術 医療人に求められる教養・リベラルアーツ (第2回). 地域包括ケア時代に求められる面倒見のいい病院機能. Nursing Business 2023; 17 (3): 244-247.
3. 次橋 幸男: 地域包括ケア時代の「価値」に触れる技術 医療人に求められる教養・リベラルアーツ (第3回) 価値を伝える双方向のリーダーシップ. Nursing Business 2023; 17 (5): 440-443.
4. 次橋 幸男: 地域包括ケア時代の「価値」に触れる技術 医療人に求められる教養・リベラルアーツ (第4回) 価値に触れる交渉. Nursing Business 2023; 17 (7): 638-641.
5. 次橋 幸男: 地域包括ケア時代の「価値」に触れる技術 医療人に求められる教養・リベ

ラルアーツ(第5回)データという「価値」を味方につける. Nursing Business 2023 ; 17 (9) : 824-827.

6. 次橋 幸男：地域包括ケア時代の「価値」に触れる技術 医療人に求められる教養・リベラルアーツ(第6回)医療に求められる価値. Nursing Business 2023 ; 17(11) : 1012-1015.

(講演)

7. 中村 義徳：在宅医療の仕組みとルール. 特定非営利活動法人N ネット 第22回通常総会, 2023. 6. 18, 奈良, 現地開催
8. 次橋 幸男：奈良県のホスピスとがん医療をすすめる会. 在宅医療につながるがん診療を広げるには, どうすれば良いか? 奈良県のがん在宅医療の現状と将来について, 2023. 9. 3, 奈良, 現地開催

◇学 会 賞

次橋 幸男：日本プライマリ・ケア連合学会優秀査読者賞(和文誌) 受賞(2023年6月)

Ⅶ 庶 務 の 概 要

1. 当年度の許可及び承認に関する事項

(令和5年4月～令和6年3月)

事 項	指定（許可年月日）
特定集中治療室管理料3の「注5」に規定する早期栄養介入管理加算	令和5年6月1日
がん患者指導管理料ニ	令和5年6月1日
不整脈手術（左心耳閉鎖術（胸腔鏡下によるもの））	令和5年7月1日
ウイルス・細菌核酸多項目同時検出	令和5年7月1日
紹介受診重点医療機関入院診療加算	令和5年9月1日
脳卒中ケアユニット入院医療管理料の「注5」に規定する早期栄養介入管理加算	令和5年10月1日
補聴器適合検査	令和5年10月1日
子宮附属器腫瘍摘出術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対して行う場合）	令和5年11月1日
特定集中治療室管理料3の「注4」に規定する早期離床・リハビリテーション加算	令和6年1月1日
人工中耳植込術	令和6年1月1日
植込型骨導補聴器（直接振動型）植込術	令和6年1月1日
人工内耳植込術	令和6年1月1日
植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	令和6年1月1日
緩和ケア診療加算	令和6年3月1日
個別栄養食事管理加算	令和6年3月1日
不整脈手術 左心耳閉鎖術（経カテーテル的手術によるもの）	令和6年3月1日

2. 各種学会・団体による施設認定一覧

(令和6年3月31日現在)

日本医学放射線学会	専門医制度修練機関
日本脳神経外科学会	専門医指定訓練施設
日本内科学会	認定医教育病院
日本麻酔科学会	専門医研修施設
日本病理学会	病理専門医研修認定施設「B」
日本外科学会	専門医修練施設
日本臨床検査医学会	臨床検査専門医研修施設
日本消化器内視鏡学会	専門医指導施設
日本整形外科学会	専門医研修施設
日本眼科学会	専門医研修施設
日本耳鼻咽喉科学会	専門医研修施設
日本消化器外科学会	専門医修練施設（関連施設）

日本小児科学会	専門医研修施設
日本泌尿器科学会	専門医教育施設
日本皮膚科学会	専門医主研修施設
日本産科婦人科学会	専攻医指導施設
日本形成外科学会	認定施設
日本消化器病学会	専門医認定施設
日本肝臓学会	専門医認定施設
日本呼吸器外科学会	専門医基幹施設
日本呼吸器学会	認定施設
日本血液学会	血液研修施設
日本呼吸器内視鏡学会	専門医認定施設
日本循環器学会	専門医研修施設
日本集中治療医学会	専門医研修施設
日本核医学会	専門医教育病院
日本超音波医学会	専門医研修施設
日本糖尿病学会	教育施設
日本透析医学会	専門医認定施設
日本口腔外科学会	専門医准研修機関
日本神経学会	専門医教育施設
日本プライマリ・ケア連合学会	家庭医療後期研修プログラム
日本乳癌学会	認定医・専門医認定施設
日本放射線腫瘍学会	認定施設
日本心血管インターベンション治療学会	研修施設
日本医療薬学会	認定薬剤師制度研修施設
心臓血管外科専門医認定機構	基幹施設
日本臨床細胞学会	施設認定
日本周産期・新生児医学会	専門医暫定研修施設
日本脳卒中学会	研修教育病院
日本老年精神医学会	専門医認定施設
日本感染症学会	研修施設
日本精神神経学会	専門医研修施設
日本I V R学会	専門医修練施設
日本がん治療認定医機構	認定研修施設
日本小児循環器学会	専門医修練施設
日本輸血・細胞治療学会	認定医指定施設
日本不整脈心電学会	専門医研修施設
日本脳神経血管内治療学会	研修施設
日本リウマチ学会	教育施設

日本内分泌学会	認定教育施設
日本頭頸部外科学会	専門医研修施設
日本医療薬学会	がん専門薬剤師研修施設
ステントグラフト実施基準管理委員会	実施施設（胸部・腹部）
血管内レーザー焼灼術実施・管理委員会	実施施設
ASO 施設認定	実施施設
認定輸血検査技師制度	指定施設
認定臨床微生物検査技師制度	研修施設
日本臨床衛生検査技師会	精度保証施設
日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会	エキスパンダー実施施設
	インプラント実施施設
日本心臓血管麻酔学会	専門医認定施設
日本在宅医学会	研修施設認定
経カテーテル的大動脈弁置換術関連学会	大動脈弁置換術実施施設
日本臨床栄養代謝学会	NST 稼動施設
日本輸血・細胞治療学会	I&A 認証施設
日本婦人科腫瘍学会	指定修練施設認定
日本内分泌外科学会	認定研修施設
日本産婦人科内視鏡学会	専門医制度認定施設
日本肝胆膵外科学会	認定修練施設
日本気管食道科学会	専門医制度研修施設
日本検査血液学会骨髓検査技師制度	研修認定施設
日本肥満学会	認定肥満症専門病院
日本脈管学会	脈管専門医認定施設
浅大腿動脈ステントグラフト実施基準管理委員会	実施施設
補助人工心臓関連学会協議会インペラ部会	IMPELLA 実施施設
日本臨床腫瘍学会	認定研修施設
日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構	実施施設（協力施設）
日本緩和医療学会	認定研修施設
日本成人先天性疾患学会	総合修練施設
日本内視鏡外科学会	認定施設
日本病態栄養学会	専門医研修施設
日本耳科学会	認可研修施設

日本心エコー図学会

日本脳神経外傷学会

日本病院総合診療医学会

日本大腸肛門病学会

日本経カテーテル心臓弁治療学会

専門医研修施設

認定研修施設

認定研修施設

認定施設

TAVR 専門施設認定基準